



**2022年度 後期**  
**学生による授業改善アンケート集計結果**

**日本赤十字看護大学 看護学部（大宮）**

## 目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】	.....	3
2. 授業改善アンケート質問項目一覧	【演習】	.....	4
3. 授業改善アンケート質問項目一覧	【実習】	.....	5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】	.....	6
5. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】	.....	7
6. 教員からのコメント一覧	【講義】	.....	41
7. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】	.....	44
8. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】	.....	45
9. 教員からのコメント一覧	【演習】	.....	61
10. 授業改善アンケート結果	【実習－全体】※	.....	63
11. 授業改善アンケート結果	【実習－科目別】※	.....	64
12. 教員からのコメント一覧	【実習】	.....	74

---

※ 「■問9（実習目標到達）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）（右下の表）」の縦軸の数値は正しい表記になっていません。また、当科目の位置（赤色部分）が表記されていない科目があります。ご了承ください。

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

### アンケート質問項目一覧【実習】 匿名式

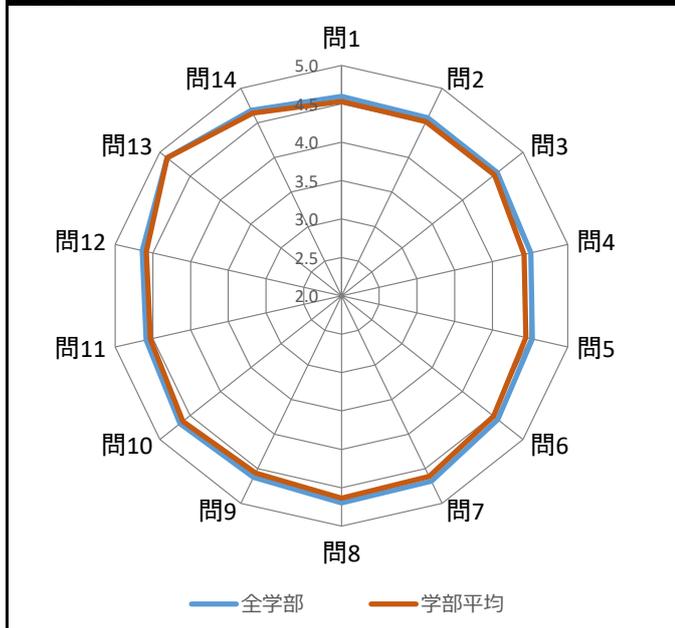
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	教員は、学生の考えを尊重しながら指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	教員と実習指導者の連携が取れていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
16	学生は、体調管理に努めた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、 2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
17	良いと思った点や改善してほしいことなどについて、具体的あるいは建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	さいたま看護学部		履修者数	2312	回答率	
			紙	1942	84%	84%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1175 (Blue), 648 (Green), 101 (Yellow)						4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1173 (Blue), 628 (Green), 116 (Yellow)						4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1205 (Blue), 586 (Green), 121 (Yellow)						4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	1088 (Blue), 636 (Green), 174 (Yellow)						4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1134 (Blue), 593 (Green), 167 (Yellow)						4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	1192 (Blue), 591 (Green), 127 (Yellow)						4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1326 (Blue), 510 (Green), 81 (Yellow)						4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1329 (Blue), 533 (Green), 68 (Yellow)						4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1273 (Blue), 526 (Green), 109 (Yellow)						4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	1329 (Blue), 509 (Green), 88 (Yellow)						4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1238 (Blue), 541 (Green), 131 (Yellow)						4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1287 (Blue), 530 (Green), 105 (Yellow)						4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	1734 (Blue), 187 (Green)						4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1344 (Blue), 516 (Green), 64 (Yellow)						4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.57	4.63

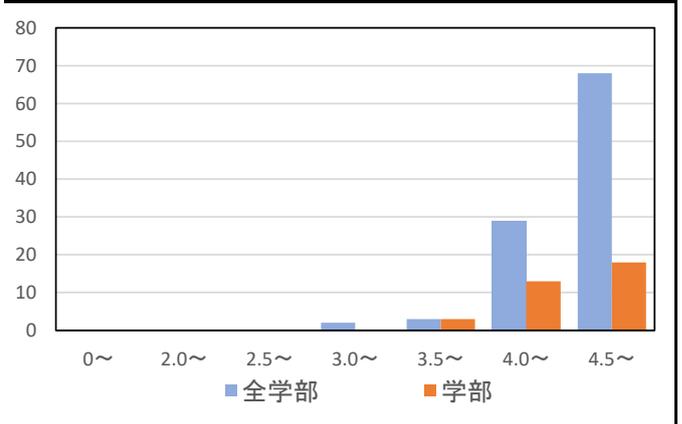
■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Light Blue)	2	そうは思わない
(Orange)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布

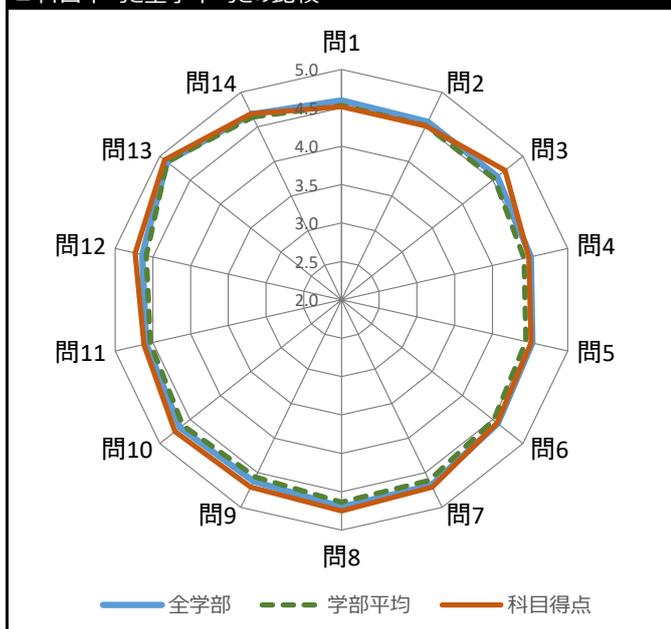


科目名	生命倫理	[2B0010]	履修者数	87	回答率	
教員名	田村 未希		紙	68	78.2%	78.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.51	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.51	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.71	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.49	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.51	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.57	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.71	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.75	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.71	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.75	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.62	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.74	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.93	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing counts for 1-5]						4.69	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.66	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

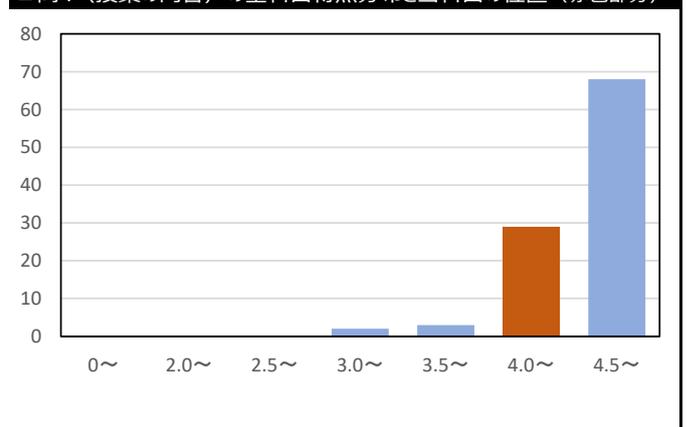


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

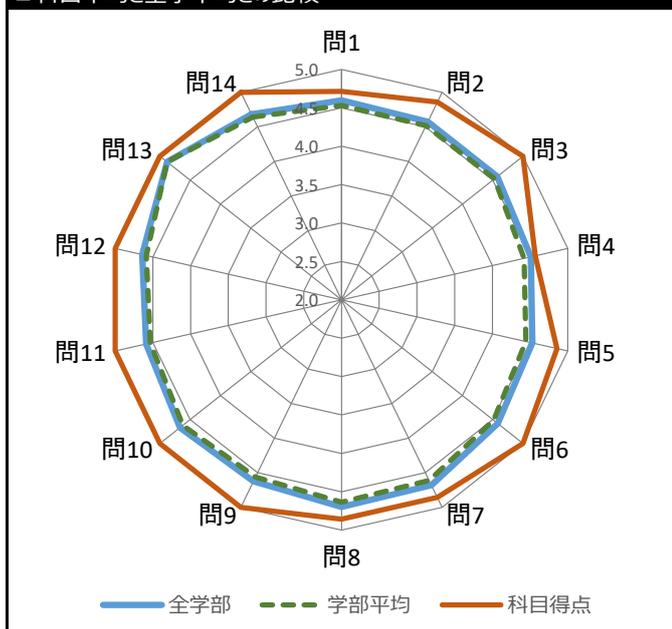


科目名	哲学と倫理	[2B0020]	履修者数	7	回答率	
教員名	田村 未希		回 紙	7	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 5 blue, 2 green]						4.71	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green]						4.86	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 7 blue]						5.00	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 4 blue, 3 green]						4.57	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green]						4.86	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 7 blue]						5.00	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 6 blue, 1 green]						4.86	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 6 blue, 1 green]						4.86	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 7 blue]						5.00	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 7 blue]						5.00	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 7 blue]						5.00	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 7 blue]						5.00	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 7 blue]						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue]						5.00	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.91	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

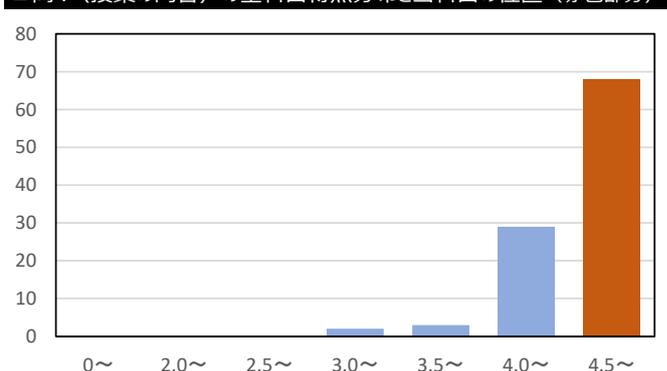


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

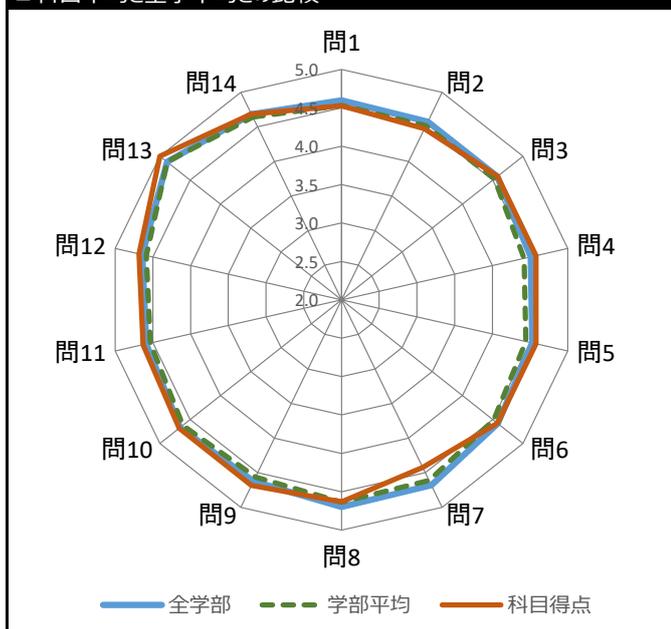


科目名	臨床心理学	[2B0040]	履修者数	21	回答率	
教員名	遠藤 公久		紙	19	90.5%	90.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 11 blue, 7 green, 1 yellow]						4.53	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked bar chart showing 10 blue, 8 green, 1 yellow]						4.47	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked bar chart showing 11 blue, 8 green]						4.58	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked bar chart showing 11 blue, 8 green]						4.58	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked bar chart showing 13 blue, 5 green, 1 yellow]						4.58	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked bar chart showing 13 blue, 5 green, 1 yellow]						4.58	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked bar chart showing 11 blue, 5 green, 3 yellow]						4.42	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked bar chart showing 12 blue, 7 green]						4.63	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked bar chart showing 13 blue, 6 green]						4.68	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 13 blue, 6 green]						4.68	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked bar chart showing 12 blue, 7 green]						4.63	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked bar chart showing 13 blue, 6 green]						4.68	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked bar chart showing 19 blue]						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked bar chart showing 13 blue, 6 green]						4.68	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.62	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

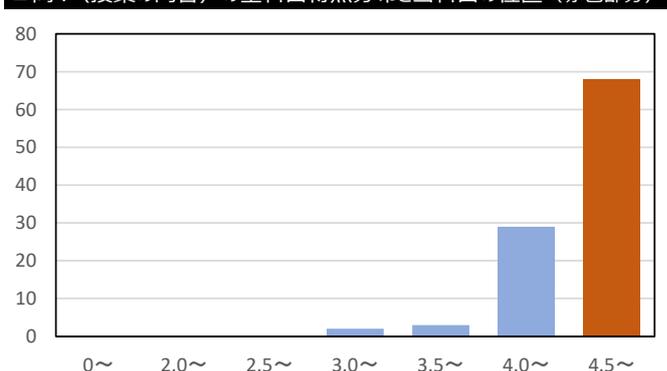


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

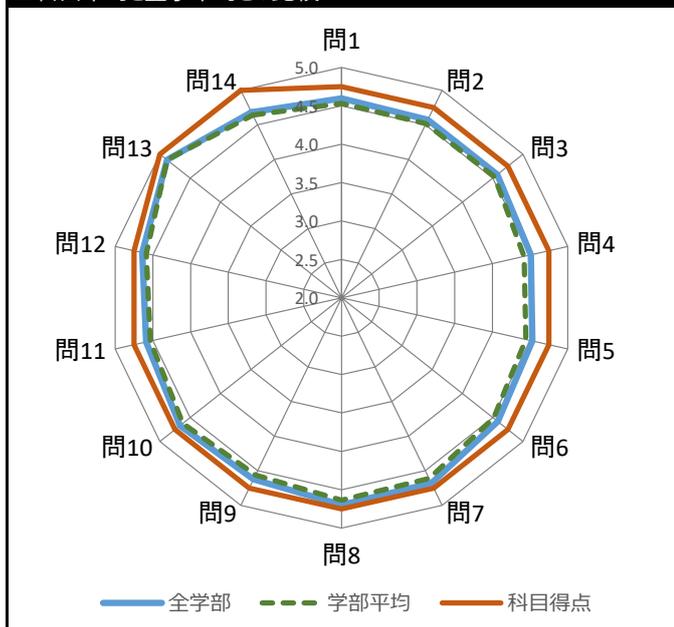


科目名	教育学概論	[2B0050]	履修者数	5	回答率	
教員名	渋谷 真樹		紙	4	80.0%	80.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 3 responses for '3' and 1 for '4']						4.75	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 4 responses for '4']						5.00	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.79	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

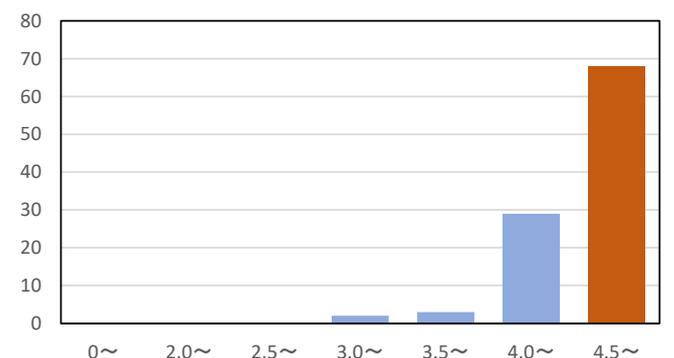


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Red]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

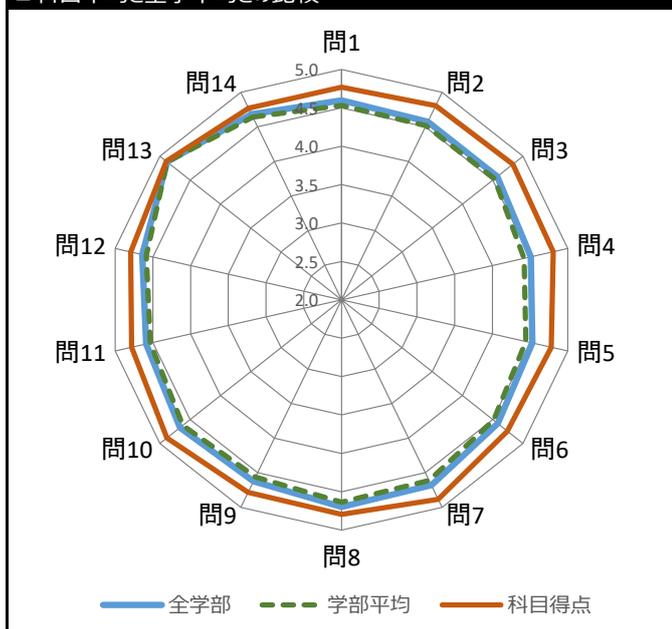


科目名	身体運動理論	[2B0070]	履修者数	82	回答率	
教員名	白井 美穂		紙	78	95.1%	95.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 60% blue, 18% green]						4.77	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 63% blue, 15% green]						4.81	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 65% blue, 13% green]						4.83	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 63% blue, 15% green]						4.81	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 63% blue, 13% green]						4.78	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 61% blue, 14% green, 3% yellow]						4.74	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 69% blue, 9% green]						4.88	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 62% blue, 16% green]						4.79	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 61% blue, 17% green]						4.78	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 69% blue, 9% green]						4.88	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 62% blue, 15% green]						4.78	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 62% blue, 16% green]						4.79	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 70% blue, 8% green]						4.90	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 63% blue, 13% green]						4.77	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.81	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

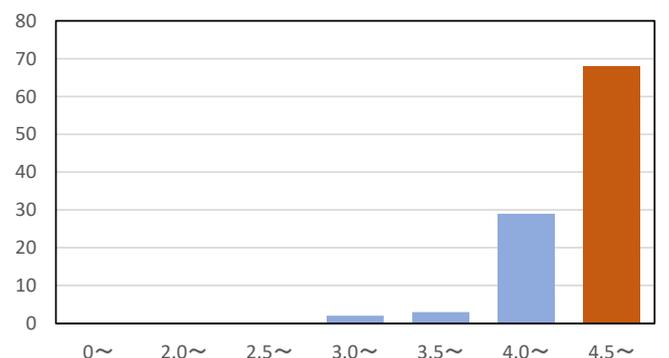


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

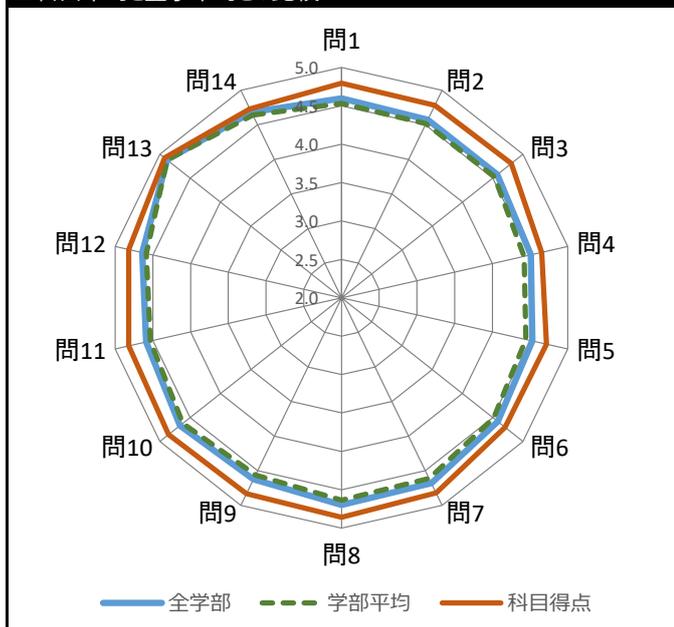


科目名	社会学概論	[2C0010]	履修者数	87	回答率	
教員名	鷹田 佳典		紙	78	89.7%	89.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.79	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.78	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.81	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree', 17% 'Agree', and 5% 'Disagree']						4.65	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 14% 'Agree', and 4% 'Disagree']						4.72	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 14% 'Agree', and 3% 'Disagree']						4.71	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.82	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree' and 11% 'Agree']						4.86	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.83	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 9% 'Agree']						4.86	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.82	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.82	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 72% 'Strongly agree' and 6% 'Agree']						4.92	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.73	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.79	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

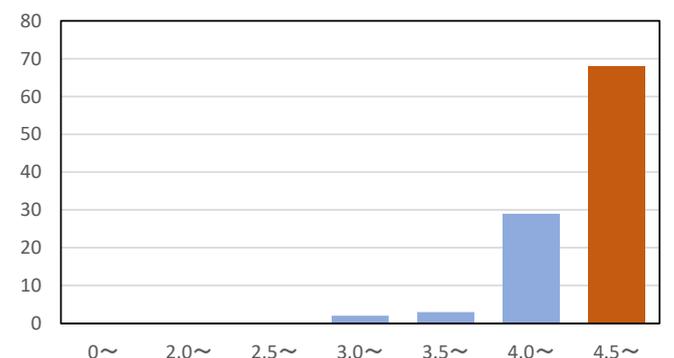


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

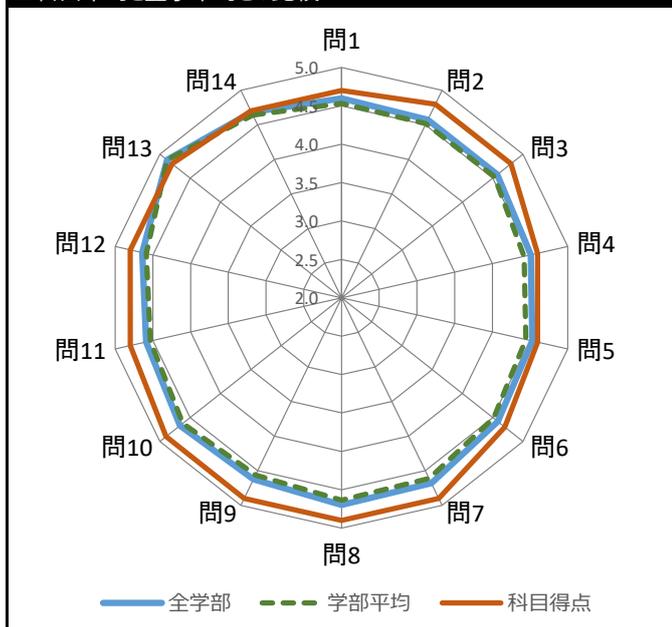


科目名	臨床社会学	[2C0020]	履修者数	10	回答率	
教員名	鷹田 佳典		紙	10	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 6 blue, 4 green]						4.60	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 6 blue, 4 green]						4.60	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.78	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

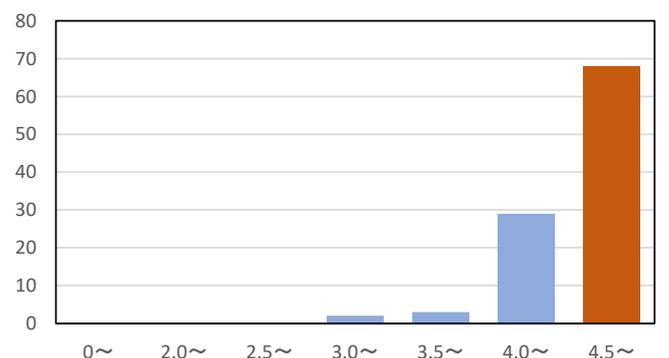


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

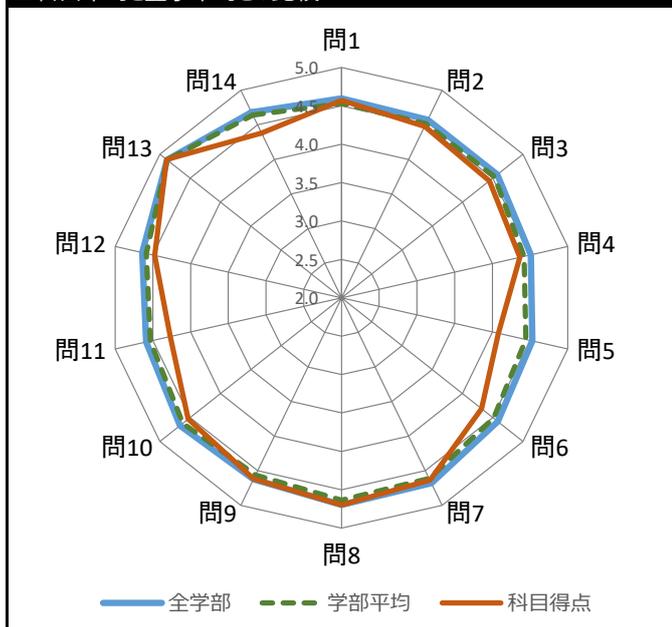


科目名	日本国憲法	[2C0040]	履修者数	74	回答率	
教員名	川口 かしみ		回 紙	63	85.1%	85.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.57	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.48	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.44	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.37	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.08	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.32	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.63	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.70	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.62	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.53	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.27	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.48	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.89	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.38	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.48	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

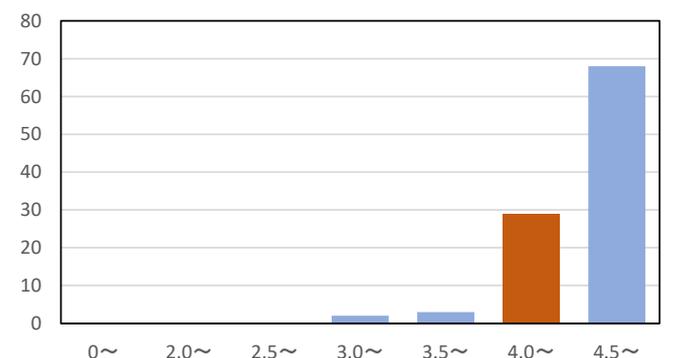


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

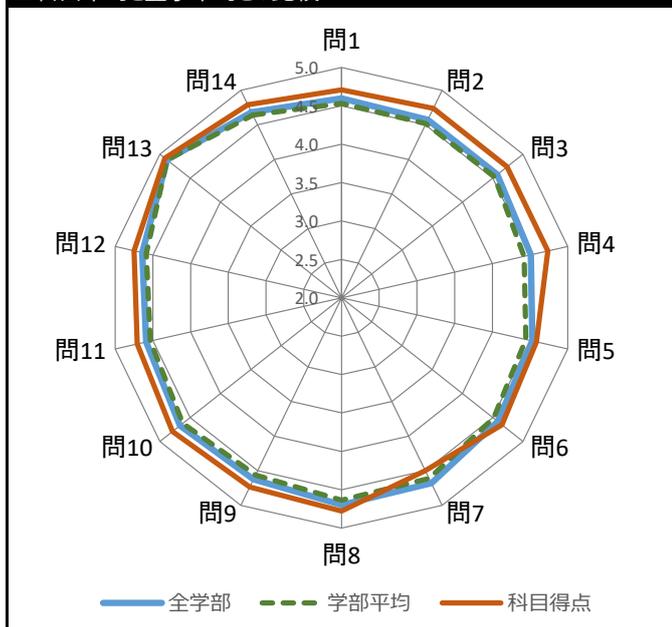


科目名	生活環境論	[2C0050]	履修者数	87	回答率	
教員名	永井 健太		回 紙	72	82.8%	82.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.71	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.74	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.74	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.74	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.58	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.65	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.50	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.78	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.74	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.79	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.71	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.75	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.92	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.79	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.72	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

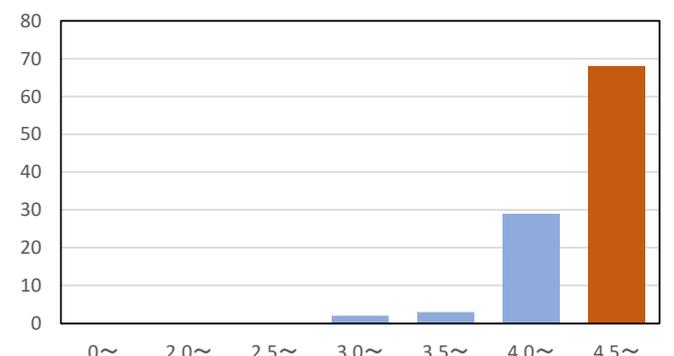


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

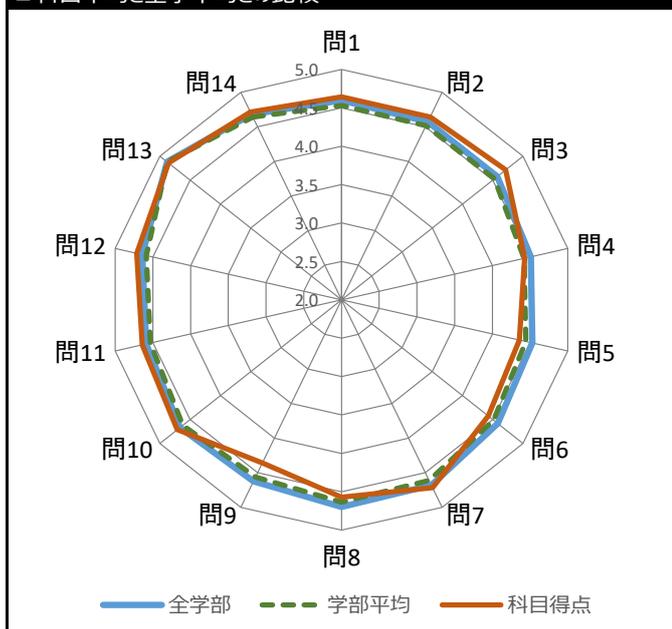


科目名	数学	[2D0010]	履修者数	18	回答率	
教員名	岩田 光弘		回 紙	14	77.8%	77.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 blue, 5 green]						4.64	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 9 blue, 5 green]						4.64	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 7 blue, 6 green, 1 yellow]						4.43	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green, 3 yellow]						4.36	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 7 blue, 6 green, 1 yellow]						4.43	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 8 blue, 6 green]						4.57	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 7 blue, 5 green, 2 yellow]						4.36	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 9 blue, 5 green]						4.64	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 12 blue, 2 green]						4.86	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 10 blue, 4 green]						4.71	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.61	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

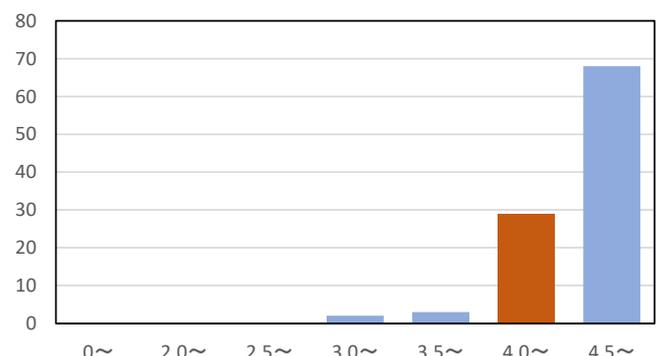


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

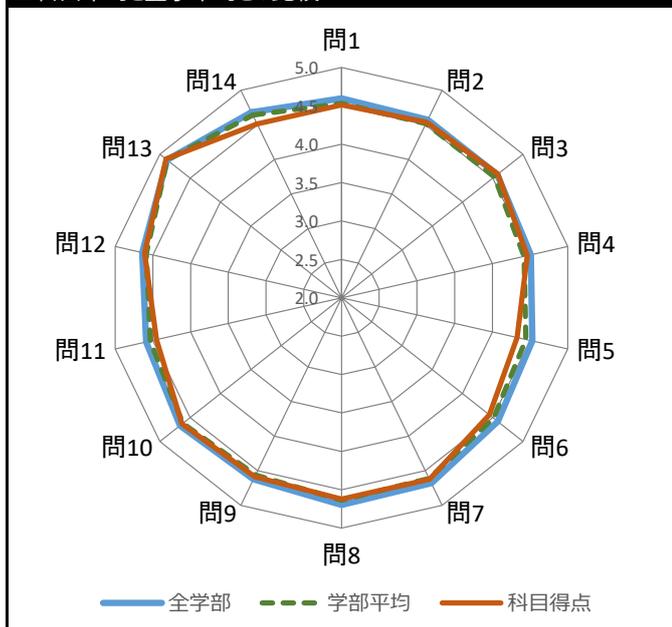


科目名	情報学概論	[2E0010]	履修者数	86	回答率	
教員名	鷹田 佳典		回 紙	82	95.3%	95.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.51	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.54	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.59	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.46	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.33	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.44	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.62	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.62	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.59	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.63	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.45	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.61	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.90	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.51	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.56	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

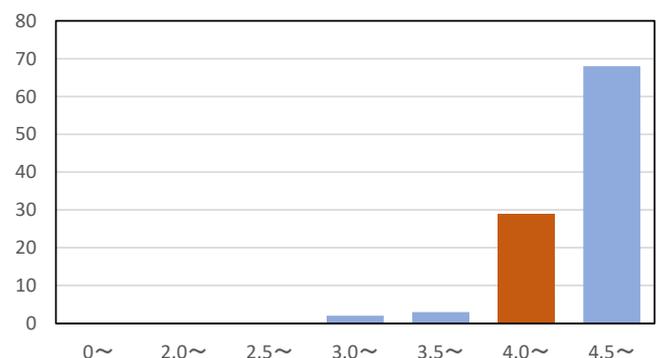


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

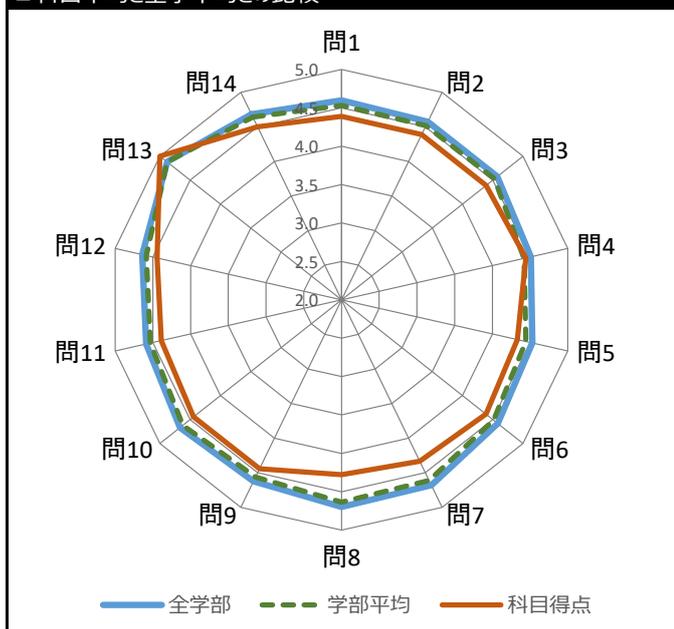


科目名	情報科学	[2E0020]	履修者数	20	回答率	
教員名	川崎 洋平		紙	18	90.0%	90.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 8 blue, 9 green, 1 yellow]						4.39	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 8 blue, 9 green, 1 yellow]						4.39	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 9 green, 1 yellow]						4.39	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 9 blue, 8 green, 1 yellow]						4.44	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 8 blue, 8 green, 2 yellow]						4.33	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 8 blue, 9 green, 1 yellow]						4.39	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 8 blue, 8 green, 2 yellow]						4.33	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 8 blue, 7 green, 3 yellow]						4.28	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 9 blue, 8 green, 1 yellow]						4.44	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 9 blue, 8 green, 1 yellow]						4.44	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 8 blue, 9 green, 1 yellow]						4.39	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 9 blue, 8 green, 1 yellow]						4.44	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 18 blue]						5.00	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 9 blue, 9 green]						4.50	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.44	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

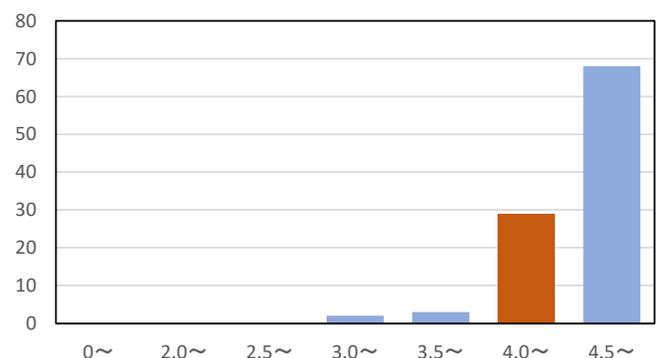


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

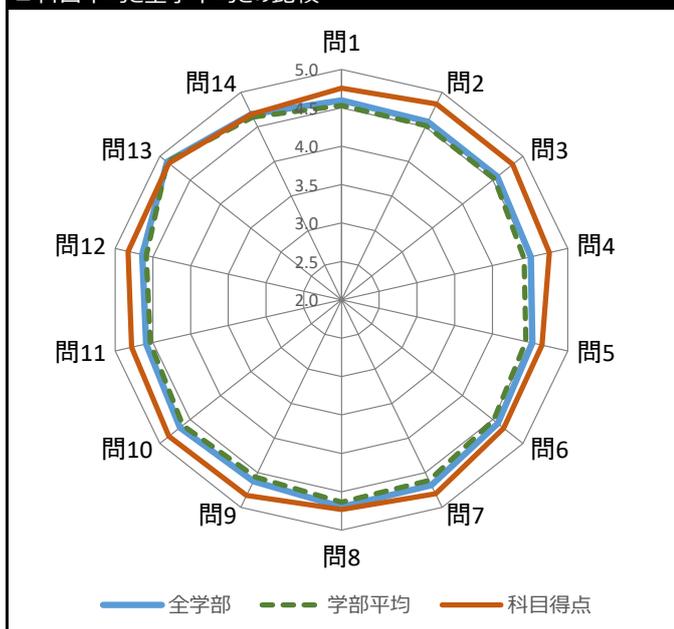


科目名	英語RW II	[2F0031]	履修者数	46	回答率	
教員名	川崎 修一		回答数	紙	41	89.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
89.1%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.76	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.83	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.83	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.76	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.66	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.68	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.80	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.73	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.83	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.85	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.78	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.83	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.85	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.68	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.78	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

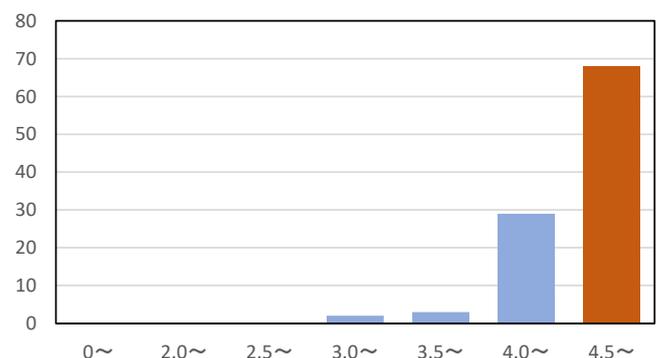


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

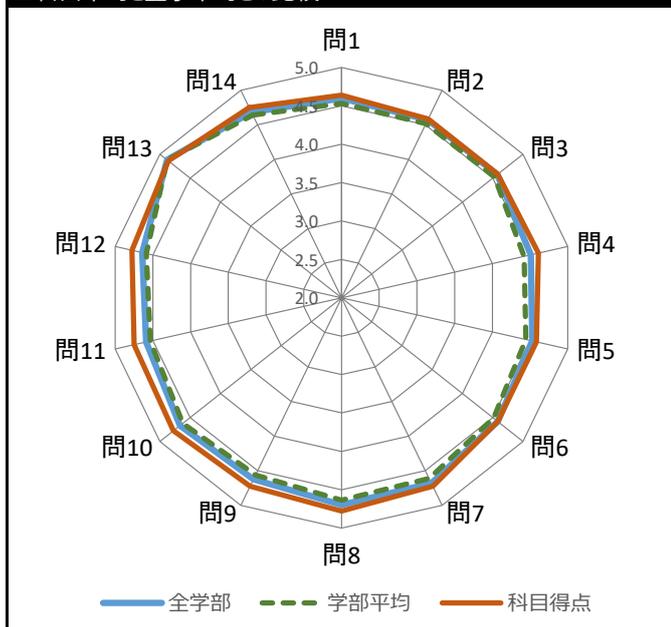


科目名	英語RW II	[2F0032]	履修者数	41	回答率	
教員名	遠藤 花子		紙	36	87.8%	87.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 24 (blue), 11 (green), 2 (yellow)]						4.64	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 23 (blue), 11 (green), 2 (yellow)]						4.58	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 25 (blue), 8 (green), 2 (yellow)]						4.58	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 23 (blue), 12 (green), 2 (yellow)]						4.61	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 24 (blue), 9 (green), 3 (yellow)]						4.58	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 23 (blue), 11 (green), 2 (yellow)]						4.58	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 27 (blue), 8 (green), 2 (yellow)]						4.72	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 29 (blue), 6 (green), 2 (yellow)]						4.78	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 27 (blue), 8 (green), 2 (yellow)]						4.72	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 29 (blue), 6 (green), 2 (yellow)]						4.78	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 28 (blue), 7 (green), 2 (yellow)]						4.75	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 29 (blue), 6 (green), 2 (yellow)]						4.78	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 32 (blue), 3 (green), 2 (yellow)]						4.86	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 28 (blue), 7 (green), 2 (yellow)]						4.75	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.69	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

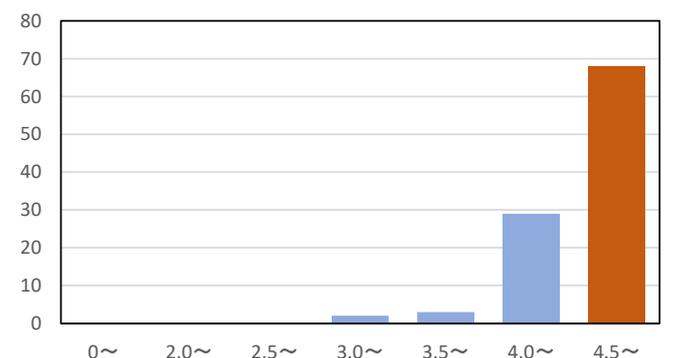


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

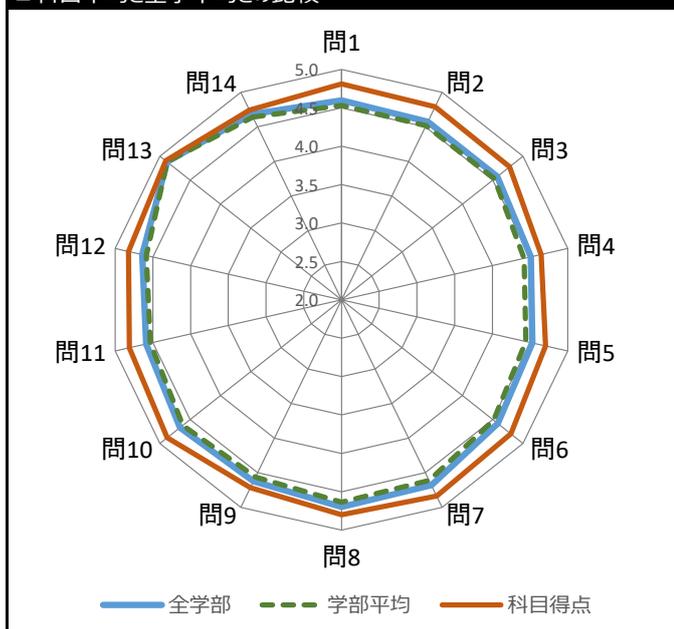


科目名	人体の構造と機能Ⅲ	[2H0030]	履修者数	87	回答率	
教員名	白井 美穂		紙	85	97.7%	97.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 69% blue, 16% green]						4.81	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 69% blue, 15% green]						4.79	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 67% blue, 17% green]						4.78	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 59% blue, 23% green]						4.65	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 64% blue, 17% green, 4% yellow]						4.71	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 69% blue, 15% green]						4.80	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 71% blue, 14% green]						4.84	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 68% blue, 17% green]						4.80	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 64% blue, 17% green]						4.71	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 75% blue, 10% green]						4.88	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 70% blue, 14% green]						4.81	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 70% blue, 15% green]						4.82	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 77% blue, 8% green]						4.91	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 66% blue, 17% green]						4.74	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.79	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

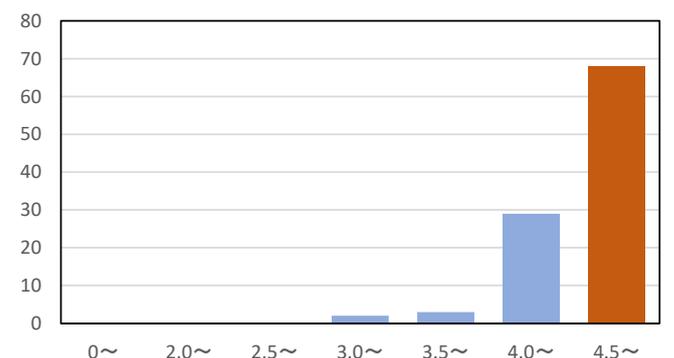


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

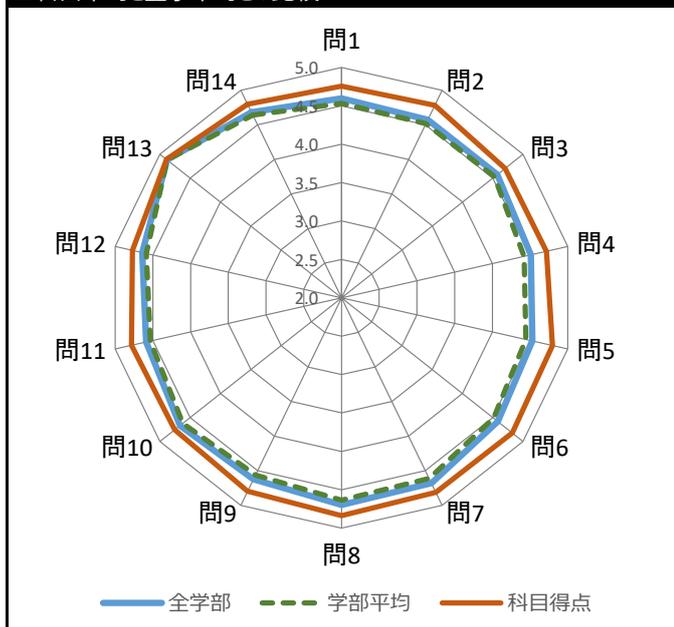


科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	[2H0040]	履修者数	86	回答率	
教員名	白井 美穂		回 紙	74	86.0%	86.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 57 (blue), 16 (green), 3 (yellow)]						4.76	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 60 (blue), 12 (green), 4 (yellow)]						4.78	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 55 (blue), 16 (green), 3 (yellow)]						4.70	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 57 (blue), 13 (green), 4 (yellow)]						4.72	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 62 (blue), 9 (green), 3 (yellow)]						4.80	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 62 (blue), 11 (green), 3 (yellow)]						4.82	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 62 (blue), 10 (green), 3 (yellow)]						4.81	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 63 (blue), 10 (green), 3 (yellow)]						4.84	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 62 (blue), 9 (green), 3 (yellow)]						4.80	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 59 (blue), 12 (green), 3 (yellow)]						4.76	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 60 (blue), 12 (green), 3 (yellow)]						4.78	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 59 (blue), 13 (green), 3 (yellow)]						4.77	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 67 (blue), 6 (green), 3 (yellow)]						4.89	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 63 (blue), 7 (green), 4 (yellow)]						4.80	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.79	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

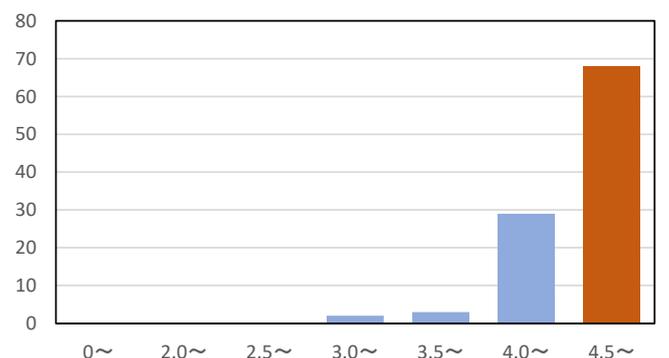


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

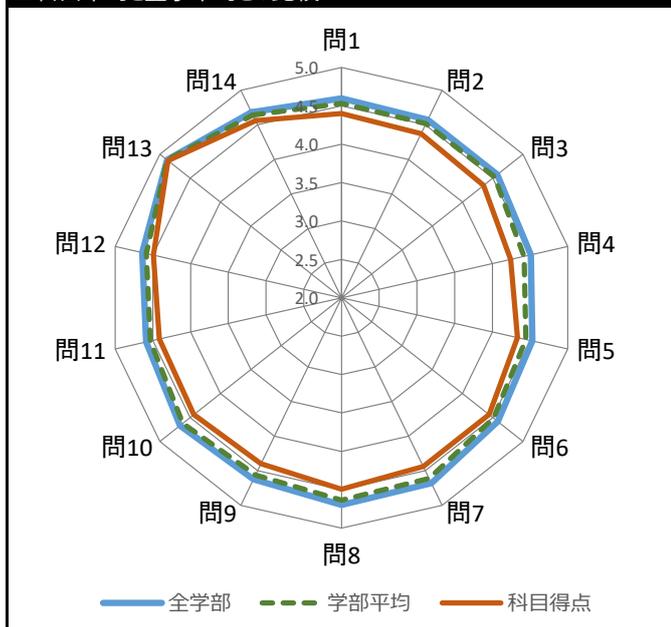


科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	[2H0070]	履修者数	89	回答率	
教員名	岡田 彩子		回 紙	75	84.3%	84.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 37% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.40	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 36% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 8% 'Disagree']						4.37	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 37% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 9% 'Disagree']						4.35	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 32% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 10% 'Disagree']						4.24	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 35% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 10% 'Disagree']						4.33	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.44	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.44	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.49	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 5% 'Disagree', 3% 'No answer']						4.40	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.44	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.41	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 4% 'Disagree']						4.49	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 8% 'Disagree']						4.87	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.56	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.45	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

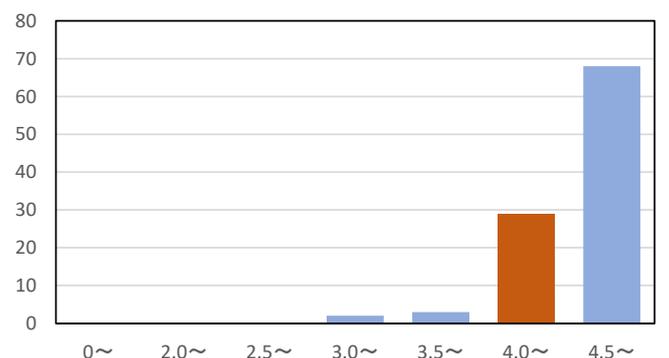


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

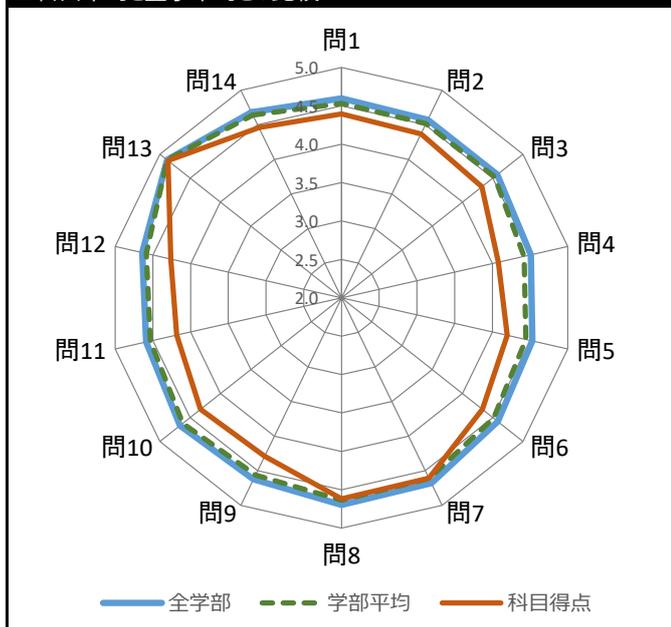


科目名	薬理学	[2H0100]	履修者数	89	回答率	
教員名	町田 充		回答数	紙	76	85.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
85.4%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 36 (Blue), 35 (Green), 4 (Yellow)]						4.39	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 34 (Blue), 36 (Green), 6 (Yellow)]						4.37	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 30 (Blue), 39 (Green), 6 (Yellow)]						4.32	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 26 (Blue), 35 (Green), 11 (Yellow), 3 (Orange)]						4.08	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 28 (Blue), 36 (Green), 11 (Yellow)]						4.20	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 33 (Blue), 35 (Green), 8 (Yellow)]						4.33	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 48 (Blue), 26 (Green)]						4.61	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 48 (Blue), 27 (Green)]						4.62	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 35 (Blue), 30 (Green), 9 (Yellow)]						4.29	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 35 (Blue), 32 (Green), 8 (Yellow)]						4.33	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 34 (Blue), 26 (Green), 12 (Yellow), 4 (Orange)]						4.18	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked Bar Chart: 35 (Blue), 26 (Green), 15 (Yellow)]						4.26	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 66 (Blue), 10 (Green)]						4.87	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 39 (Blue), 33 (Green), 4 (Yellow)]						4.46	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.38	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

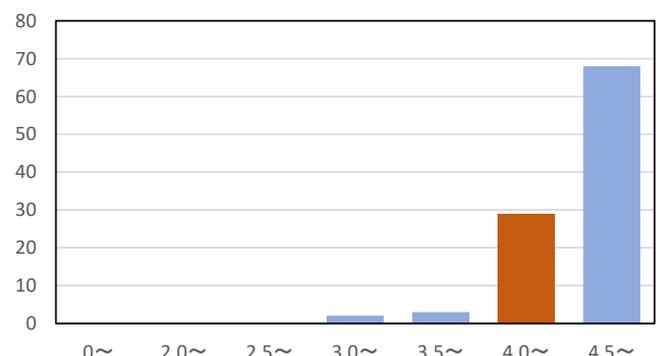


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

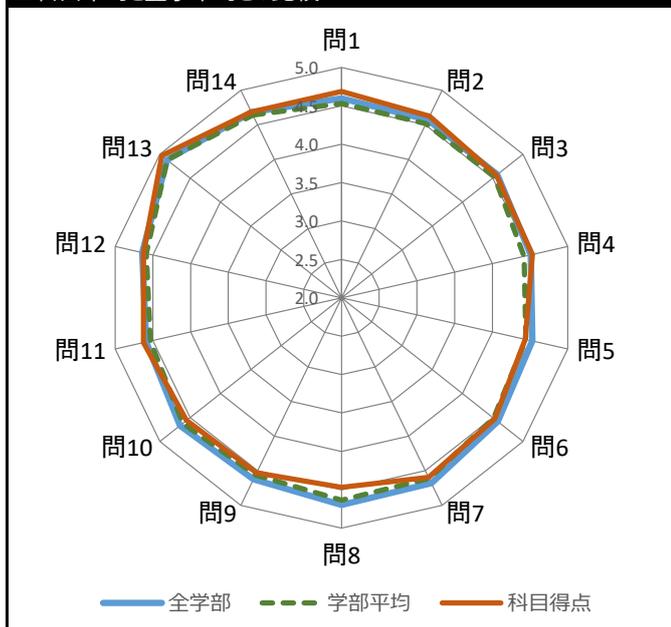


科目名	疫学	[2H0110]	履修者数	34	回答率	
教員名	川崎 洋平		紙	32	94.1%	94.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 23 responses for 'Strongly agree' and 8 for 'Agree']						4.69	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 21 responses for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.63	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.56	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.53	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 18 responses for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.44	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.53	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 22 responses for 'Strongly agree' and 7 for 'Agree']						4.59	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 19 responses for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.47	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 20 responses for 'Strongly agree' and 9 for 'Agree']						4.53	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 19 responses for 'Strongly agree' and 12 for 'Agree']						4.56	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 21 responses for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.63	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 21 responses for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.63	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 31 responses for 'Strongly agree']						4.97	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 22 responses for 'Strongly agree' and 10 for 'Agree']						4.69	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.60	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

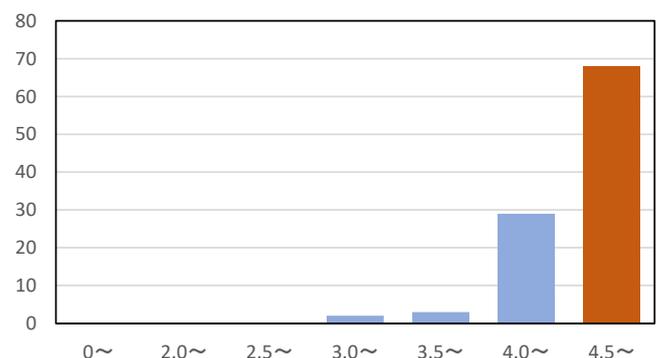


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

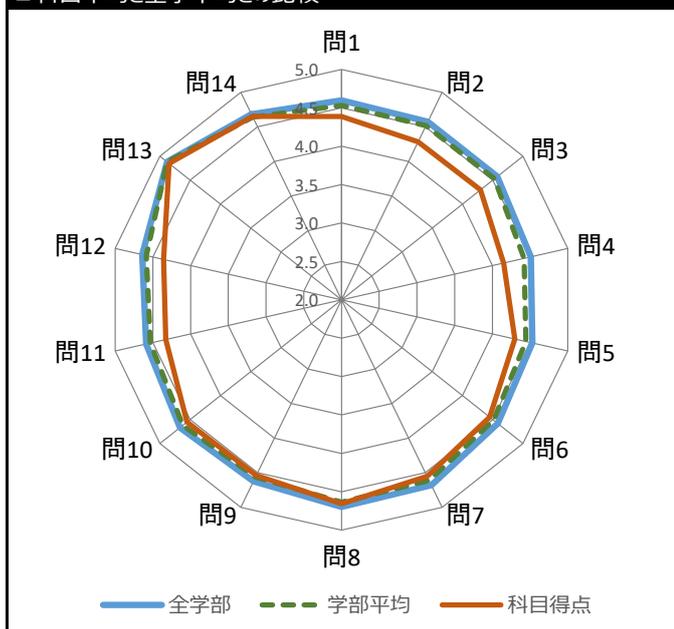


科目名	遺伝と遺伝カウンセリング	[2H0130]	履修者数	87	回答率	
教員名	渡邊 淳		回 紙	67	77.0%	77.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing counts: 38, 20, 7]						4.39	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing counts: 34, 23, 5, 5]						4.28	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing counts: 37, 17, 9, 4]						4.30	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing counts: 31, 20, 12, 3]						4.15	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing counts: 35, 21, 8]						4.30	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing counts: 39, 21, 6]						4.45	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing counts: 47, 14, 3]						4.55	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing counts: 49, 13, 5]						4.66	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing counts: 46, 13, 6]						4.54	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing counts: 44, 17, 5]						4.55	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing counts: 41, 15, 6, 3]						4.33	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing counts: 43, 11, 10, 3]						4.36	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing counts: 59, 6]						4.85	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing counts: 47, 16, 2]						4.65	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.45	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

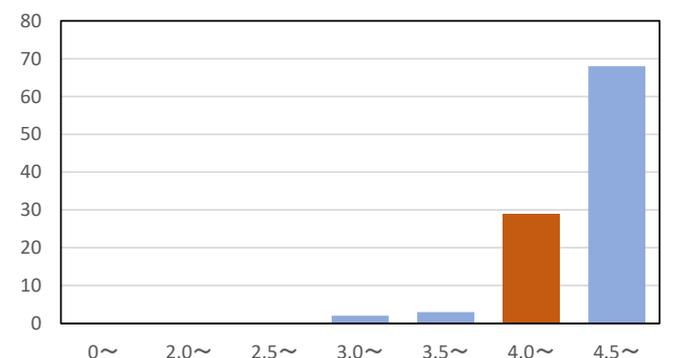


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

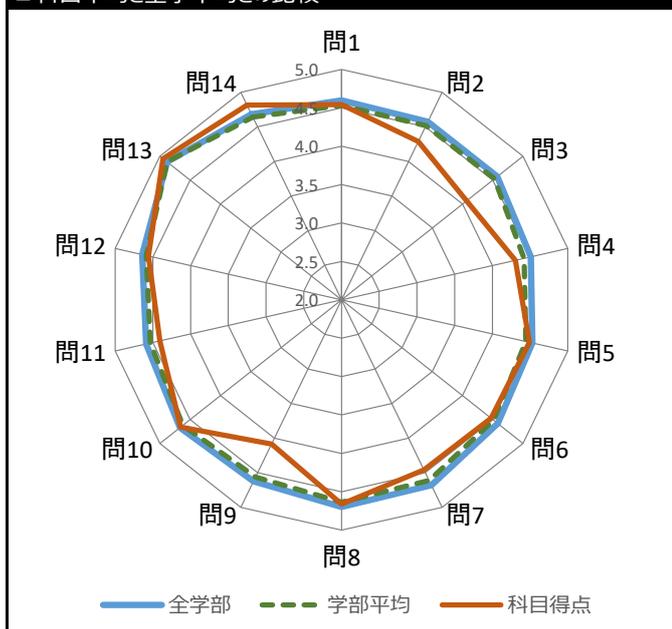


科目名	栄養学	[2H0140]	履修者数	87	回答率	
教員名	田中 明穂		紙	59	67.8%	67.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 37 (Blue), 17 (Green), 5 (Yellow)]						4.54	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 31 (Blue), 18 (Green), 7 (Yellow), 2 (Orange)]						4.29	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 27 (Blue), 18 (Green), 7 (Yellow), 5 (Orange), 2 (Red)]						4.07	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 31 (Blue), 20 (Green), 5 (Yellow), 2 (Orange)]						4.31	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 38 (Blue), 14 (Green), 5 (Yellow), 2 (Orange)]						4.49	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 36 (Blue), 17 (Green), 4 (Yellow), 2 (Orange)]						4.47	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 38 (Blue), 14 (Green), 4 (Yellow), 2 (Orange)]						4.46	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 42 (Blue), 14 (Green), 3 (Yellow)]						4.66	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 32 (Blue), 11 (Green), 8 (Yellow), 5 (Orange), 3 (Red)]						4.08	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 42 (Blue), 14 (Green), 3 (Yellow)]						4.66	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 35 (Blue), 16 (Green), 6 (Yellow), 1 (Orange)]						4.41	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked Bar Chart: 40 (Blue), 13 (Green), 5 (Yellow)]						4.56	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 56 (Blue), 3 (Yellow)]						4.95	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 49 (Blue), 9 (Green)]						4.81	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.48	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

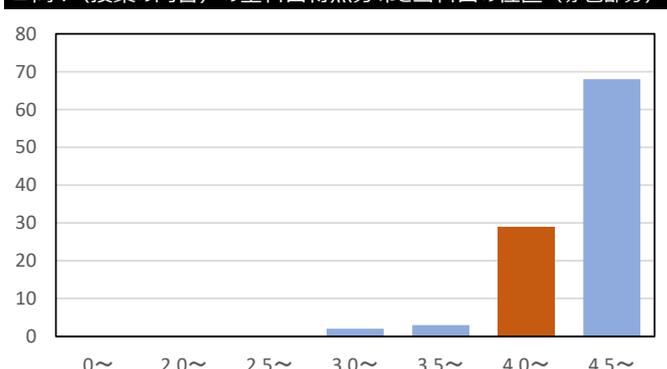


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

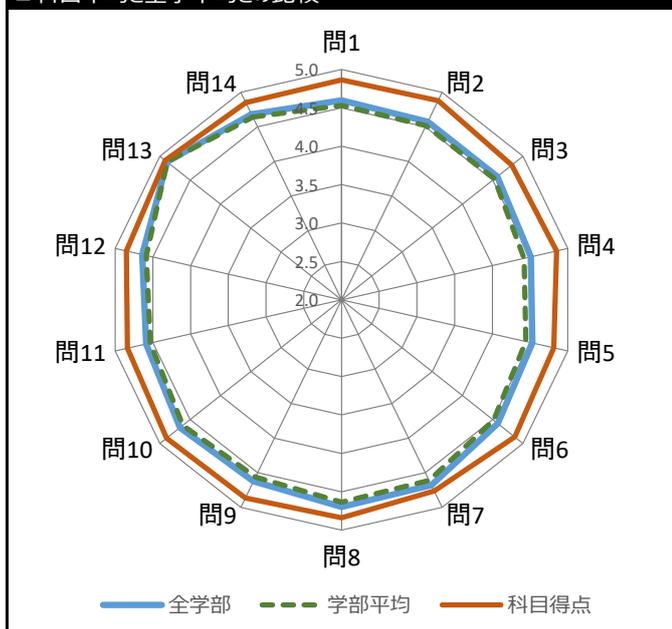


科目名	看護援助論Ⅱ(生命の維持)	[2K0020]	履修者数	87	回答率	
教員名	仁昌寺 貴子		回答数	紙	81	93.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
93.1%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 70% blue, 11% green]						4.86	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 71% blue, 10% green]						4.88	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 68% blue, 11% green]						4.81	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 69% blue, 12% green]						4.85	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 67% blue, 13% green]						4.81	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 70% blue, 11% green]						4.86	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 65% blue, 13% green, 3% orange]						4.77	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 69% blue, 11% green]						4.84	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 71% blue, 9% green]						4.86	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 72% blue, 9% green]						4.89	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 69% blue, 11% green]						4.84	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 69% blue, 12% green]						4.85	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 74% blue, 7% green]						4.91	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 71% blue, 9% green]						4.85	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.85	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

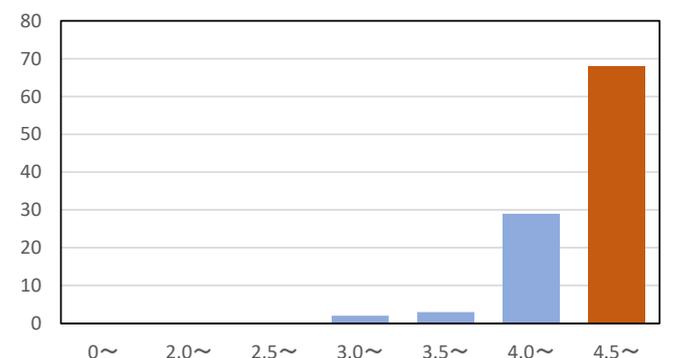


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

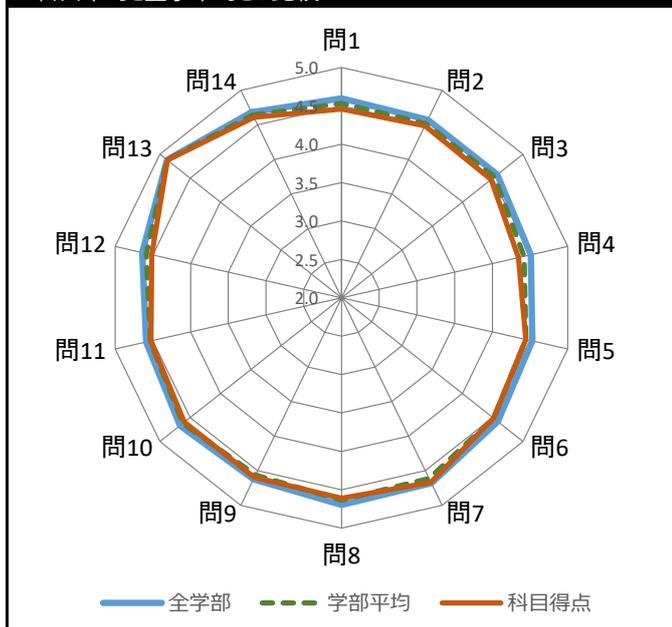


科目名	看護援助論VI(セクシュアリティ)	[2K0060]	履修者数	87	回答率	
教員名	佐藤 いずみ		回答数	紙	72	82.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
82.8%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.46	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.49	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.47	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.35	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.44	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.51	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.67	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.61	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.60	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.60	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.53	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.51	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.61	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.55	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

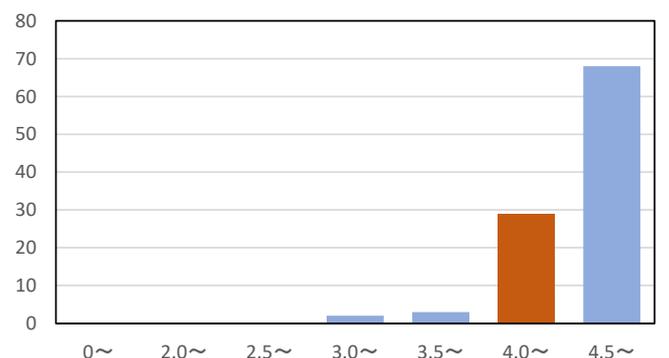


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 $\leq$ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

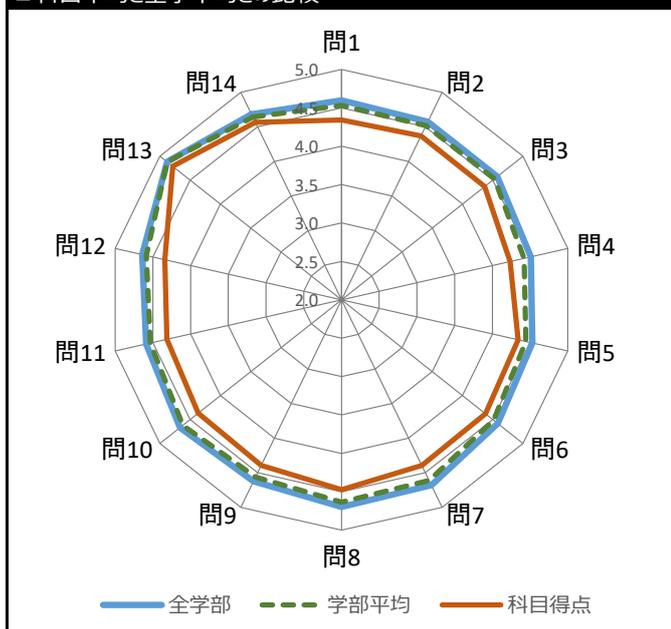


科目名	コミュニティ演習	[2L0030]	履修者数	88	回答率	
教員名	成木 弘子		紙	76	86.4%	86.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 33% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.34	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 34% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.37	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 36% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 8% 'Disagree']						4.37	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 30% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 8% 'Disagree']						4.24	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 35% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.34	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 36% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.38	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 35% 'Strongly agree', 37% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.39	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 37% 'Strongly agree', 38% 'Agree']						4.47	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 38% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 3% 'Disagree']						4.39	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 36% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.37	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 35% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.32	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 36% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.34	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 16% 'Agree']						4.79	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 29% 'Agree']						4.57	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.41	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

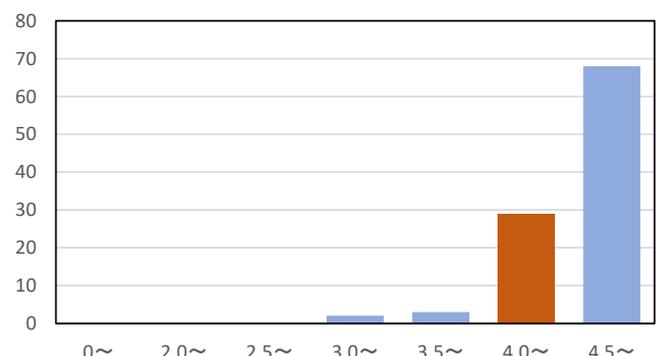


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

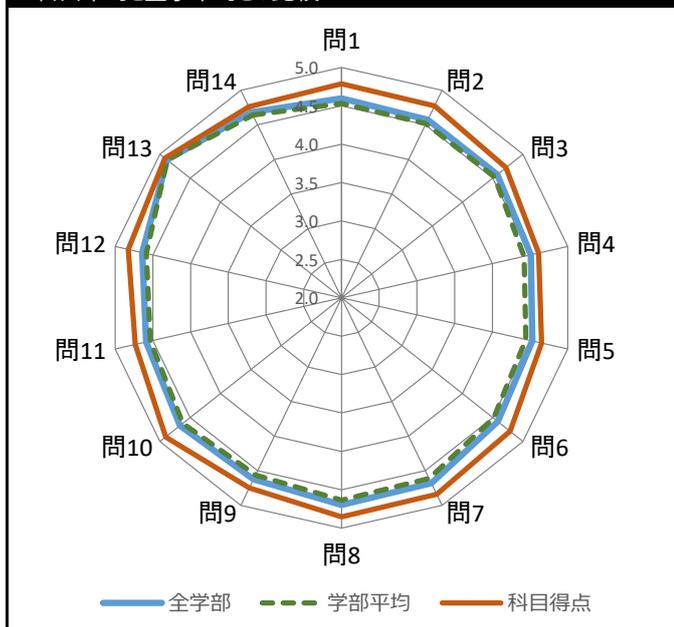


科目名	コミュニティケア I (地域看護学)	[2L0040]	履修者数	92	回答率	
教員名	成木 弘子		回答数	紙	75	81.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
81.5%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 60% blue, 14% green]						4.79	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 59% blue, 15% green]						4.77	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 59% blue, 12% green, 3% orange]						4.72	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 51% blue, 20% green, 3% orange]						4.61	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 53% blue, 19% green]						4.65	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 61% blue, 12% green]						4.79	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 65% blue, 8% green]						4.84	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 65% blue, 9% green]						4.85	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 61% blue, 10% green, 3% orange]						4.75	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 68% blue, 7% green]						4.91	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 58% blue, 14% green, 3% orange]						4.73	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 62% blue, 13% green]						4.83	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 69% blue, 6% green]						4.92	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 61% blue, 11% green]						4.76	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.78	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

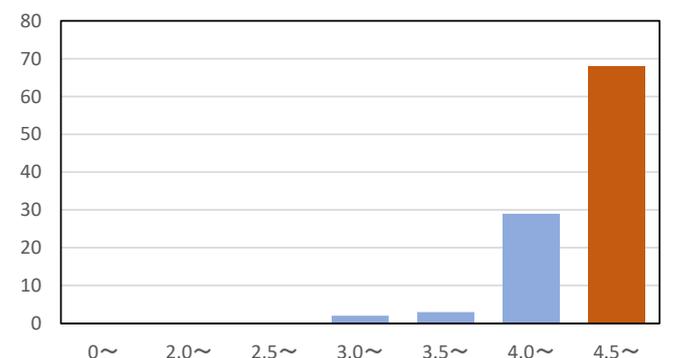


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

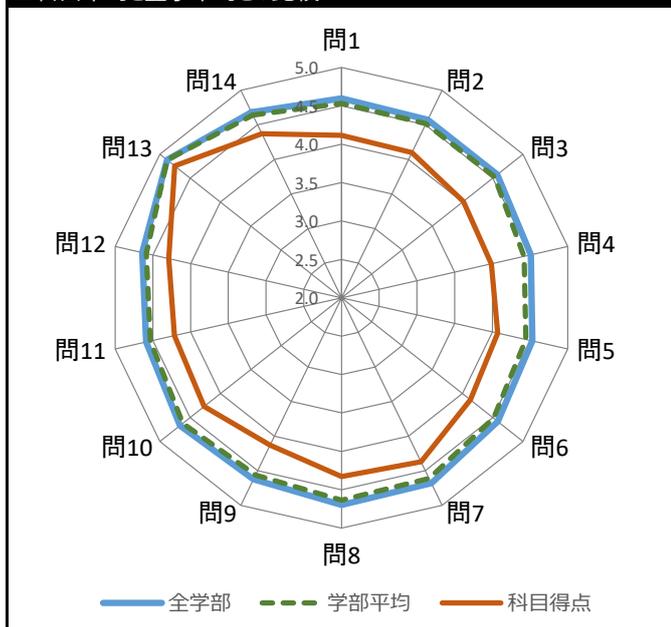


科目名	コミュニケアⅣ(公衆衛生看護活動論)	[2L0070]	履修者数	90	回答率	
教員名	藤川 あや		回答数	紙	70	77.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
77.8%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	26	29	12	3			4.11	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	25	30	12	3			4.10	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	25	27	12	6			4.01	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	24	24	18				3.99	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	24	31	12				4.07	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	26	29	13				4.13	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	34	29	6				4.37	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	33	28	8				4.33	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	27	28	12	3			4.13	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	30	30	9				4.27	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	29	28	12				4.21	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	33	24	11				4.29	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	59	6	4				4.76	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	37	25	6				4.37	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.22	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

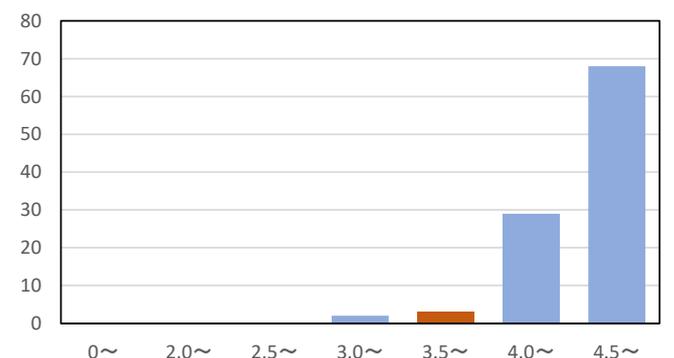


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	そう思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

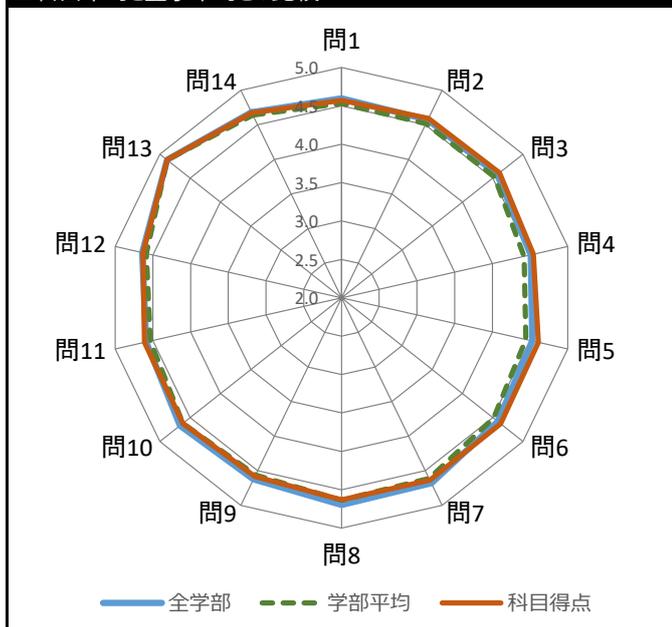


科目名	発達看護学 I ①	[2N0030]	履修者数	90	回答率	
教員名	喜多 里己		回答数	紙	77	85.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
85.6%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.57	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.59	4.52	4.57
3	教員の話し方 (声量、スピード、マイクの使い方など) は適切だった。							4.61	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.55	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.61	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.63	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.64	4.61	4.68
8	シラバス (または講義予定表) に沿った授業が行われていた。							4.63	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.58	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.62	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.61	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.63	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9 割以上、4:8 ~ 7 割程度、3:6 ~ 5 割程度、2:4 割程度、1:3 割以下) だった。							4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.68	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.63	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

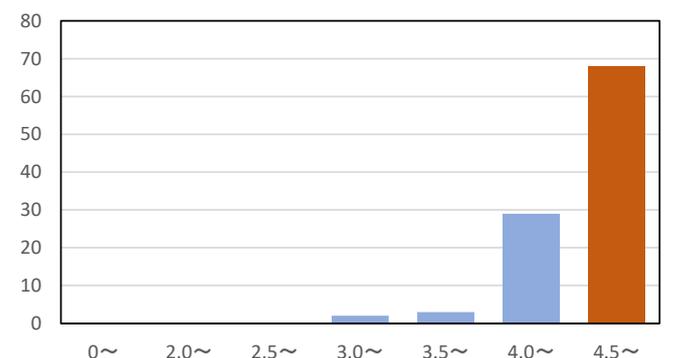


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

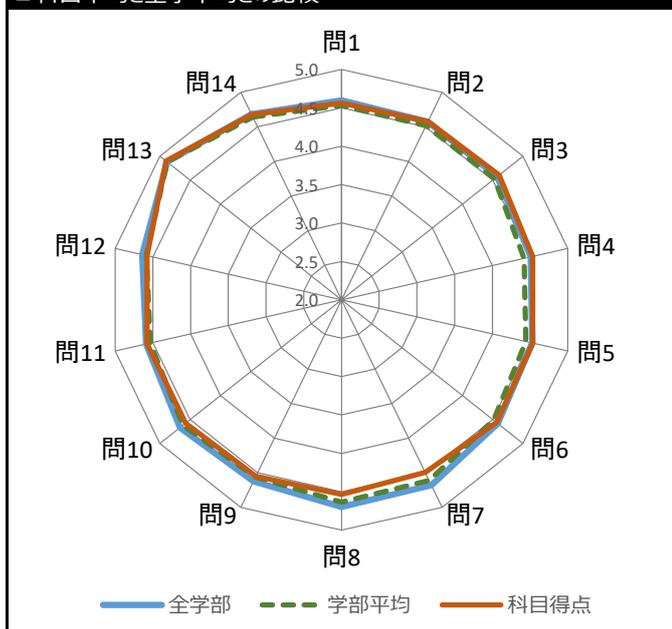


科目名	発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)	[2N0050]	履修者数	89	回答率	
教員名	吉野 純		回答数	紙	71	79.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
79.8%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree']						3	4.56	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']							4.58	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']							4.61	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree' and 27% for 'Agree']						3	4.54	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree']						4	4.54	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree']						3	4.56	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 40% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						5	4.49	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 42% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree']						4	4.54	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						4	4.55	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						3	4.58	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						3	4.58	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree']						3	4.58	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 65% for 'Strongly agree']						5	4.90	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 50% for 'Strongly agree' and 19% for 'Agree']							4.68	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.59	4.57	4.63	

■ 科目平均と全学平均との比較

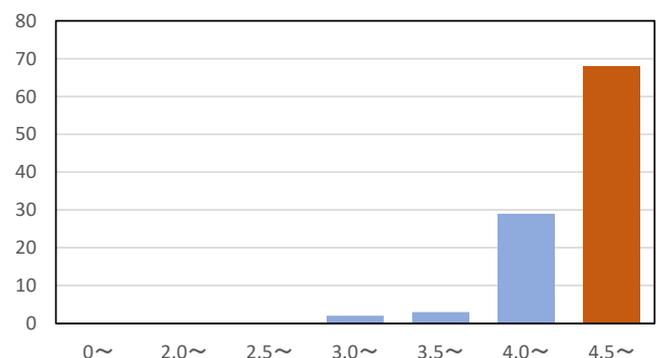


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

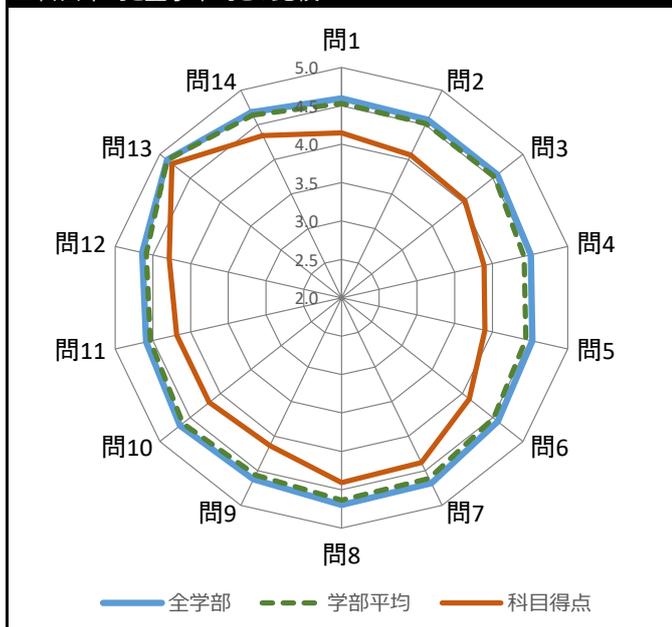


科目名	発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)	[2N0070]	履修者数	89	回答率	
教員名	太田 喜久子		回答数	紙	81	91.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	29	37	13				4.15	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	29	32	16	4			4.06	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	26	36	15	4			4.04	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	21	34	22	4			3.89	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	24	33	18	4			3.90	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	27	40	10	4			4.11	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	39	35	6				4.38	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	41	33	6				4.41	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	31	34	13				4.14	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	34	31	13	3			4.19	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	33	33	12	3			4.19	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	34	37	9				4.28	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	66	14					4.80	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	37	37	5				4.35	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.21	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

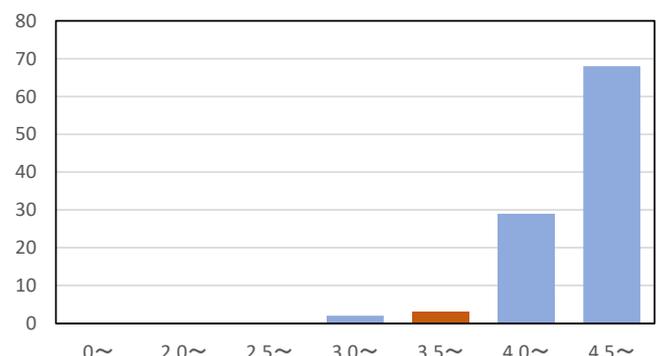


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

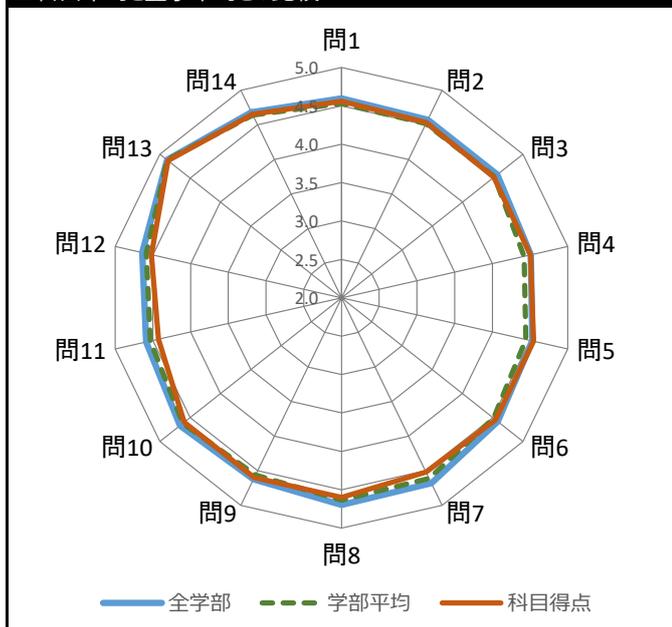


科目名	精神保健看護学 I (理論)	[200010]	履修者数	89	回答率	
教員名	小宮 敬子		回答数	紙	75	84.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
84.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree']						4.56	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 29% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.53	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree', 6% for 'Disagree']						4.52	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 44% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.51	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 46% for 'Strongly agree' and 25% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.55	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.55	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 43% for 'Strongly agree' and 28% for 'Agree', 4% for 'Disagree']						4.52	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.60	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 47% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.60	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 48% for 'Strongly agree' and 24% for 'Agree', 3% for 'Disagree']						4.60	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 41% for 'Strongly agree' and 27% for 'Agree', 5% for 'Disagree']						4.43	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 45% for 'Strongly agree' and 26% for 'Agree']						4.52	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 66% for 'Strongly agree' and 8% for 'Disagree']						4.87	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 51% for 'Strongly agree' and 22% for 'Agree']						4.65	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.57	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

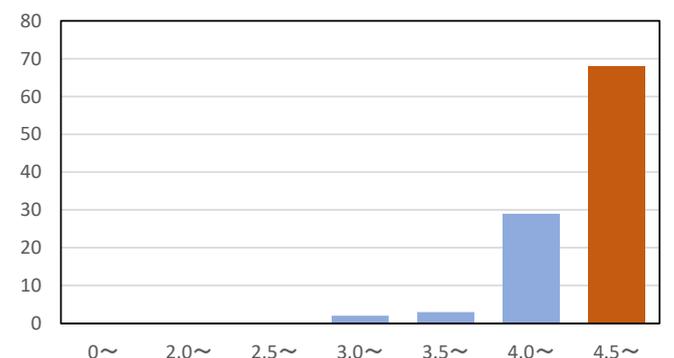


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

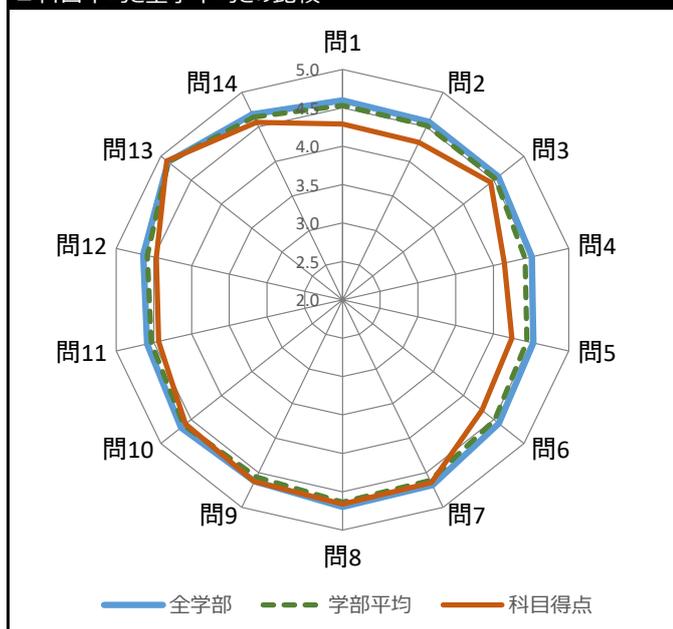


科目名	看護管理学	[2Q0010]	履修者数	87	回答率	
教員名	大和田 恭子		回答数	紙	62	71.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
71.3%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.29	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.27	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.45	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.15	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.25	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.31	4.52	4.58
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.65	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.66	4.64	4.70
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.63	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.60	4.62	4.67
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.44	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.47	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.90	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.56	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.47	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

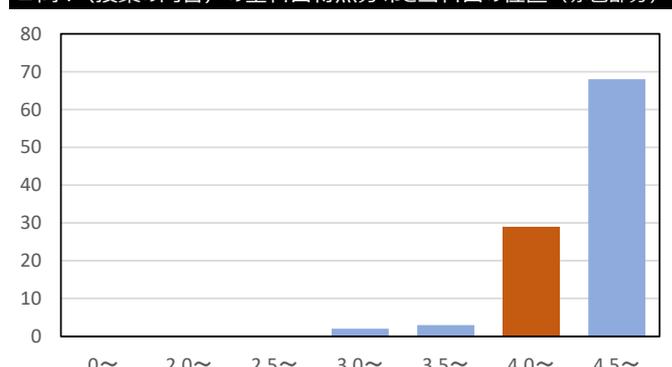


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

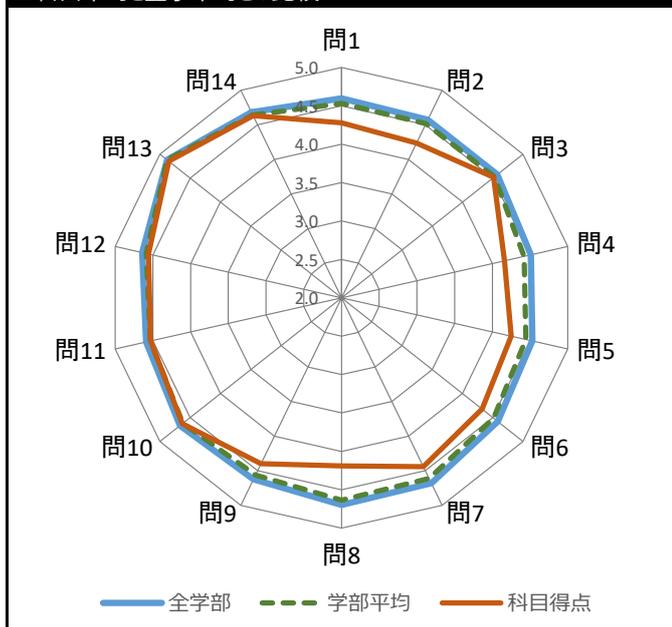


科目名	看護教育学	[2Q0020]	履修者数	87	回答率	
教員名	岡田 彩子		回 紙	68	78.2%	78.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 30% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.28	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 30% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 8% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.24	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 38% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.51	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 30% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 14% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.16	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 31% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 9% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.25	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 31% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 7% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.32	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 6% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.44	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 34% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 8% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.19	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 35% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 6% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.40	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.63	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 42% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 6% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.53	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 5% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.56	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.85	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.63	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.43	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

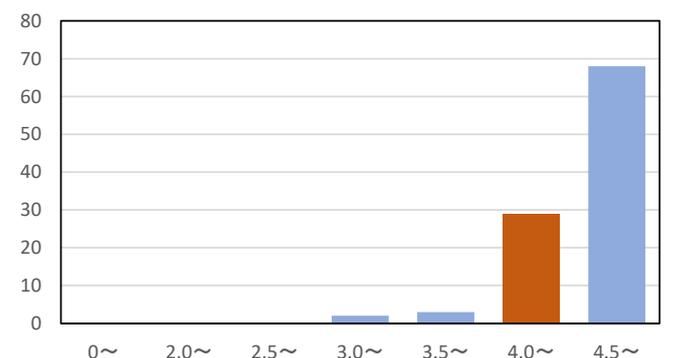


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

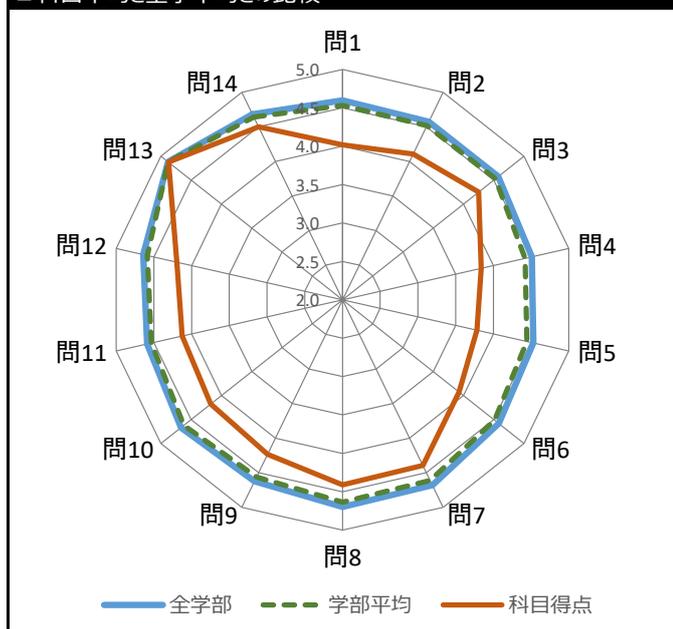


科目名	研究方法論Ⅱ	[2S0020]	履修者数	87	回答率	
教員名	吉野 純		紙	56	64.4%	64.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	20	23	8	4			4.02	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	22	22	9	2			4.11	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	27	20	6	2			4.25	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。	19	20	8	7	2		3.84	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。	20	15	11	6	3		3.78	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。	24	15	9	5	3		3.93	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	35	14	3	2			4.39	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	33	17	3	2			4.41	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	30	16	5	3	2		4.23	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。	28	15	9	3			4.18	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	26	18	7	3	2		4.13	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	27	19	6	2	2		4.20	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	50	5					4.88	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	35	16	3	2			4.50	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.20	4.57	4.63

■ 科目平均と全学部平均との比較

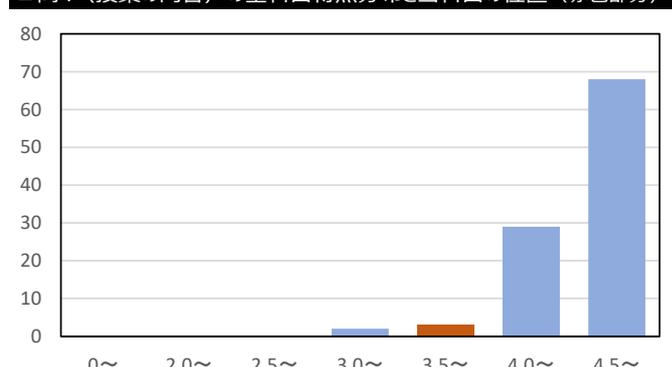


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

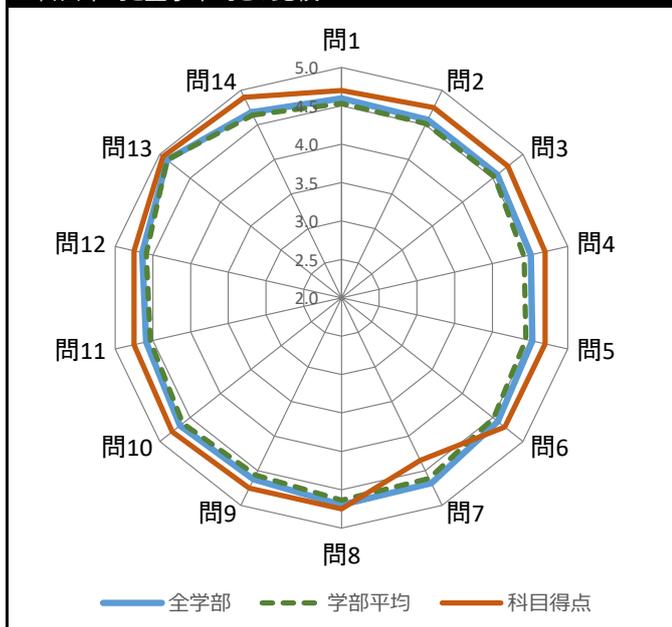


科目名	公衆衛生看護方法論	[2T0030]	履修者数	20	回答率	
教員名	永井 健太		紙	20	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.70	4.53	4.60
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.75	4.52	4.57
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.75	4.53	4.57
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.70	4.42	4.51
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.70	4.44	4.53
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.70	4.52	4.58
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.35	4.61	4.68
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.75	4.64	4.70
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.75	4.56	4.62
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.80	4.62	4.67
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.75	4.53	4.59
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.75	4.59	4.64
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.95	4.88	4.88
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.90	4.64	4.68
<b>問1~14全問平均</b>								4.74	4.57	4.63

■ 科目平均と全学平均との比較

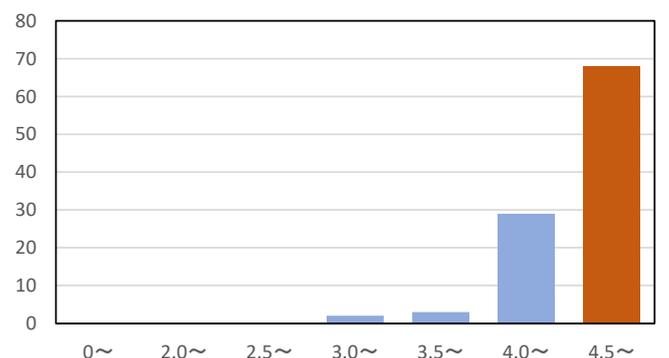


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
2B0010	生命倫理	田村 未希	学生の皆さんからは概ね肯定的な評価（だいたい平均くらい）をいただけただけで安堵いたしました。熱心に参加してくれた学生さんたちに感謝いたします。学生さんが、看護現場のみならず、日常生活の中でも出会う困難な倫理的ジレンマに対応できるようにさまざまな事例（もちろん、多くは臨床のモデル事例ですが）を取り入れることは意識的に工夫しようとしておりましたので、その点について肯定的なコメントも貰えたのは大変嬉しいことでした。一方で、授業のレジュメをもっとわかりやすく作成してほしいという声も見受けられました。この点は引き続き工夫を続けてまいります。
2B0020	哲学と倫理	田村 未希	少人数の授業で、内容も「ケアの現象学」を扱う以上、どうしても内容自体が難しいので、学生さんへの負担は大きかったと思うのですが、それにもかかわらず、非常に真剣に授業に参加して、また優れた理解を示してくださって、学生の皆さんに非常に感謝しております。一緒に学ぶことができ大変幸いでした。
2B0050	教育学概論	渋谷 真樹	全般にたいへんよいフィードバックをいただけて、うれしいです。有意義な学びになるように、引き続き努めます。
2B0070	身体運動理論	白井 美穂	全体的に良く取り組んで、理解して頂いた様子が分かりました。また、身体運動理論ということで、身体に関わるテーマについて講義を行いました。全体的な評価は良い評価でしたが、コメントで、運動と聞いて科目を取らない人がいた、運動より健康理論とした方が良いといった声を頂いたので、来年以降、科目名を中心に考え、運動に特化した内容に変更していきたいと思います。貴重なご意見をありがとうございました。
2C0010	社会学概論	鷹田 佳典	難しい用語も多く出てくる授業だったと思いますが、面白かったというコメントもあり、具体例をいろいろ紹介した点がよかったのではないかと考えています。より社会科学の魅力が伝わるような授業ができるよう、次年度に向けて準備を進めたいと思います。マイクの音量は注意したいと思います。
2C0020	臨床社会学	鷹田 佳典	臨床社会学では、感染者へのバッシングやベットロス、死者との関係などをテーマに、生老病死について、受講者の対話を中心にみんなで考えることを目的に授業を行いました。その点が評価してもらえたのではないかと思います。どれも一度では語り切れない深み（奥行）を持ったテーマですので、議論し足りないという部分はあったと思います。それらについては、Glexa上で授業のディスカッションの続きができるような工夫などを考えていきたいと思います。
2C0040	日本国憲法	川口 かしみ	・質問16のコメントです。 「時々マイクの音量が小さくて、声がきこえなかった」という意見については、今年はマイクの機器についての状態や授業で説明するときの声を大きくするように意識したいと思います。「zoomではなく、オンデマンドか、対面がよかった」という意見に対しては後者は不可能ですので、オンデマンドについては考えさせていただきます。「オンライン授業はやる気がない」という意見がありましたが、それは私の態度に対してでしょうか。もしそのように学生に感じさせていたのであれば残念です。私としては、授業を楽しみにしており、むしろわくわくして授業をやらせていただいております。今年度の授業では、学生に上記のように感じさせないように授業をしていきます。 ・質問15のコメントです。 「裁判例などを出しながら話して下さったのでわかりやすかった」という意見や「プリントがわかりやすかった」という意見をいただきました。このような意見をいただけて、とても嬉しく思います。この意見を授業の励みにして今年度の授業も頑張ります。
2C0050	生活環境論	永井 健太	授業の内容や地区踏査に興味を持ってもらえたこととても嬉しいです。授業の構成上、地区踏査が寒い時期になってしまいました。そのような中でも、地区踏査をすることの意義を理解し、グループメンバーと力を合わせ、熱心に取り組む姿は素晴らしいです。授業時間を超過することがあったため、余裕を持って終了できるようにし、引き続き、皆さんが興味を持てるよう、実験など取り入れながら分かりやすい授業を心掛けていきます。
2D0010	数学	岩田 光弘	集計数が14ではあるものの、全体的にはほぼすべての項目で全学部を上回ることができたことは授業の目標がある程度達成できたと考え得るひとつの評価材料になると捉えた。一方で「授業の内容に興味があるものだった」という項目に関して、科目得点が4.36であり全学部の4.53を下回っていた点に関しては課題があると考え。またコメントでは1件「看護に関係ある内容をもう少し入れてほしい」というものがあり、看護学部の入門として扱うことのできる数学的な内容を蓄積していく必要があると考えた。
2E0010	情報学概論	鷹田 佳典	授業改善アンケートへのコメントありがとうございます。具体例を取り上げた点や受講生の発言の機会を設けた点、臨床場面での情報の取り扱いについてふれた点などを評価してもらい、次年度もこれらの点を意識しながら授業を行っていききたいと思います。リアクションペーパーの提出期日については、時間割も踏まえつつ、検討したいと思います。
2E0020	情報科学	川崎 洋平	大変よい授業評価をいただきました。今後は資料を見やすくしていく事が今後の課題だと考えております。よりよい授業を目指していきたいと思います。
2F0031	英語RWII	川崎 修一	過分な評価をありがとうございました。ご意見をもとに授業改善させていただきます。
2F0032	英語RWII	遠藤 花子	やや難しい内容のテキストだったかもしれませんが、みなさん、よく取り組んでいいと思います。これからも頑張ってください。
2H0030	人体の構造と機能III	白井 美穂	全体的に良い評価をありがとうございます。授業プリントですが、学生の皆さんからの声で、配布プリントが両面だと見にくいという意見で両面から片面にしたところ。アンケートで、持ち運びが大変なので、両面にしてほしいというご意見もあったので、学生の皆さんと情報の共有をして今後どのようにすればいいか検討していきます。

科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
2H0040	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	白井 美穂	全体的に良い評価をありがとうございます。オムニバスの授業で講師によって授業のやり方、内容に差があったことのご指摘がありました。分かりにくかった授業については、講師に皆さんの意見をできる限りお伝えし、改善をしたいと思います。
2H0070	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	岡田 彩子	貴重な御意見をありがとうございました。以下、回答します。 ポイントをおさえてわかりやすかったと評価された授業については、嬉しく思います。講義日程について、1コマのために大学に来るのは時間の無駄、オンラインにしてほしいとご意見を頂きました。非常勤講師の方々のスケジュールを考慮して、時間割を組んでおりますのでご理解ください。スライドがわかりにくい授業があったとご意見を頂きました。この科目はオムニバスで展開しております。わかりにくい点があった場合は、講義中・後に質問するか、リフレクションシートで質問してください。講義日のタイミングを逃してしまった場合は科目責任者に問い合わせてください。基本的にわからない点があった時は時間をおかずに確認すると良いかと思います。講義資料の配布について、シラバスにもあるように基本的に補助的なものとして考えてください。授業は教科書の内容を基本として展開されます。各回の該当ページはグレクサに事前に提示しております。スライドのプリントがあると学修が進めやすい意見があることは各講師にフィードバックしております。授業中の声が聞き取りづらい場合は、是非その時に聞こえないことを講師に伝えてください。講義前にマイクの音量は確認するようにします。
2H0100	薬理学	町田 充	この度は、多くのご意見を頂く感謝します。いつも、現場薬剤師による講義に興味をもって頂きありがたく思います。不慣れな講義にも関わらず、高い評価を頂き、うれしく思います。その中で、改善した方がいい点については真摯に受け止めます。 ・授業開始を1限から2限への要望は学生の有効な時間活用の点で理解します。しかし、現場（診療）との関連性があるので、極力2限開催を考慮します。 ・PowerPointの講師差は、是正はします。 ・教科書内容と講義時間は合わないに、講義を早めたり、時間が足らなかったしていることは講師からも聞いています。この問題はカリキュラム、つまり大学側との協議が必要です、早急の解決は難しいことは理解してください。但し、こちらからも大学側に提案してみます。
2H0110	疫学	川崎 洋平	貴重なコメントをありがとうございました。 資料が見やすかったという事で、今後も良い点を維持して、よりよい授業を目指していきたいと思います。
2K0020	看護援助論Ⅱ（生命の維持）	仁昌寺 貴子	授業評価アンケートへのご協力ありがとうございました。この授業では、グループワークを多く取り入れましたが、みなさんが感染予防対策に留意し取り組んでくださったことにより、問題なく無事に終了することができました。ありがとうございました。アンケートの結果では、「この授業は自分にとって価値があった。」、「私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。」の得点が高かったことから、みなさんが関心をもって授業に参加くださったのが伝わり、また実りのある授業になったのかとも嬉しく思っています。自由記述のコメントには、グループワークの人数について少人数がよいという意見があり、その理由として、グループワークへの取り組む姿勢に個人差があるということが挙げられていました。みなさんがグループワークに自主的に取り組める工夫および、人数の調整を加味し、授業内容を検討したいと思います。
2L0030	コミュニティ演習	成木 弘子 他	授業改善アンケートへの回答をしていただきありがとうございます。評価項目の全てで4.24点以上ですが、平均点を上回った項目がありませんでした。大変残念ですが、この科目は4回の外来講師の講義、4コマのフィールドの準備や報告会資料作成、2コマのフィールドワーク、2コマの報告会で構成されており、授業改善アンケートの内容がこの科目の内容を十分に反映できない状態にあることも一因と考えます。自由記載欄では、「フィールドワークでは、当事者の声を直接きけるので臨場感があった。とても良い学びになった」という意見が複数あり、概ね良い評価をいただいていると思います。また、改善して欲しい点として「報告会用の発表原稿への教員の助言が多すぎた」という意見があり、次年度は教員からの助言が適切になるよう改善したいと考えています。
2L0040	コミュニティケアⅠ（地域看護学）	成木、藤川	授業改善アンケートへの回答をしていただきありがとうございます。質問項目14項目の全ての項目が全学平均以上でした。この科目は当学部独特のものなので教える内容を手探りで考えながら取り組んでいます。昨年度の評価の14項目中11項目が平均以上という状況だったので、今年度は昨年よりも画像を取り入れて活動のイメージが湧きやすいようにしたり、資料の分量を2/3に重要な点がわかりやすくなるように工夫したりしました。また、リアクションペーパーの提出締め切りまで数日間確保いたしました。個別意見の中では「実際の映像を見てとても関心があったし、分かりやすかった」など多くの良かった点を回答していただき感謝いたします。来年度以降もより充実した内容になるよう創意工夫を重ねていきたいと存じます。
2L0070	コミュニティケアⅣ（公衆衛生看護活動論）	藤川あや	貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。興味・関心がわくような授業を提供出来るように工夫していきたいと思っております。講義は教員と学生の皆さんとの相互作用でつくられる一面もあると考えます。みなさまの積極的な講義への参加を期待します。
2N0030	発達看護学Ⅰ①	喜多 里己	高い評価をいただき、ありがとうございました。「TBLが良かった」とコメントがありました。これからも継続して行っていきたいと思っております。また「分娩期以降が難しい」ので授業ごとに前回の復習問題やイマキク・スグキクでやってくれると追いついていけるとのご意見がありました。次年度以降検討していきます。
2N0050	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護①）	吉野 純	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ね良い評価をいただきました。事後学修課題については賛否両論ご意見をいただいておりますが、講義の内容を定着させるためには時間を置かずに復習することが肝要ですので、無理のない範囲で取り組んでいただければと思います。遊びの演習では時間が足りず、用意したものが十分にできなかったのは反省点です。今後、時間内に取り組める内容を考えていきたいと思っております。

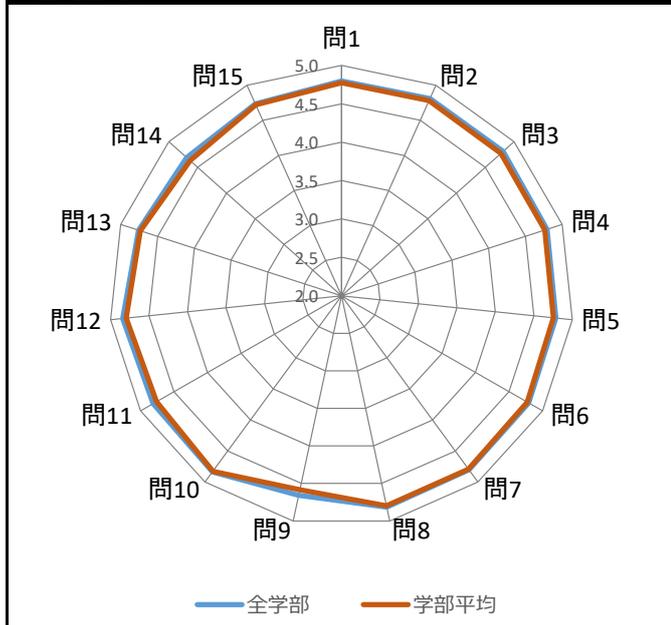
科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
2N0070	発達看護学Ⅲ (老年期の看護①)	太田 喜久子	皆さん、アンケートに熱心に答えていただき、どうもありがとうございます。これからの授業展開に大いに参考にさせていただきたいと思います。特に、本科目最後、事例検討のグループ発表の方法でZOOMを用いたことについて、たくさんのご意見を頂きました。反省して改善していきたいと思います。ありがとうございました。
2O0010	精神保健看護学Ⅰ (理論)	小宮 敬子	この科目で、精神障害や精神看護に興味を持った人が多かったようで、とても嬉しく思います。メンタルヘルスの問題は、誰にとっても避けて通れない、重要なことなので、この授業をきっかけにいろいろと調べたり、話し合ったりしていくと、将来、役に立つと思います。授業で取り扱ったのは、基礎的なことですので、これを土台にして、3年時の精神保健看護学Ⅱや、実習に生かしてってください。
2Q0010	看護管理学	大和田 恭子	アンケート集計結果を受け、学生にとって看護管理学という学問領域は、目の前にある看護実践となかなか結び付けることが難しいのかなと感じています。もっともそれを結び付けることができるよう授業の構成や資料を工夫することが講師に求められているのですが、十分ではなかったようです。教科書の内容を網羅しようとしたあまり伝えたいことが盛りだくさんになり、学生同士のディスカッションの機会をあまり作れませんでした。次年度は毎回その時間を確保できるよう努めたいと考えます。
2Q0020	看護教育学	岡田 彩子	ディスカッションによって理解が深められたこと、本科目が皆さんの今後のキャリアを考えるきっかけになったことを評価してもらい、嬉しく思います。教科書に掲載してある内容の授業スライドは、授業中に掲載ページを示し配布はしませんでした。今後は参考資料として配布もしくはグレクサにアップしていきます。貴重なご意見ありがとうございました。
2S0020	研究方法論Ⅱ	吉野 純	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。研究については3年生になって始まった科目でイメージがなかなかつかめず取り組みが難しかったことと思います。授業がわかりやすい、興味深いなどの得点が低く、意義を感じないという厳しいご意見もいただきました。難しいけど興味深いと思ってもらえるよう授業の工夫を図りたいと思います。また、教員間の指導に差がある点も指摘いただきましたが、それぞれの助言内容や方法に違いはあれど、求めるゴールや評価は共有しながら統一を図っております。ぜひ教員と対話しながら学びを深めていきましょう。
2T0030	公衆衛生看護方法論	永井 健太	公衆衛生看護活動に興味を持ち、意欲的に取り組んでもらえたこととても嬉しいです。担当教員それぞれの専門性を生かし、オムニバス形式で授業を展開しました。教員の熱意が伝わってきた、自分にとって価値があったなどの項目について高い評価となっている一方で、授業内容についてコメントを頂いております。引き続き、教員間で授業内容や構成等について検討しながら、分かりやすい授業を心掛けていきます。

学部名	さいたま看護学部		履修者数	540	回答率	
			紙	501	93%	93%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	401 88						4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	394 76						4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	405 76						4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	391 83						4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	406 72 19						4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	397 77 16						4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	408 65 17						4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	411 61						4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	359 86 32						4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	428 61						4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	410 66 18						4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	417 70						4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	403 75						4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	388 65 31						4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	391 75 27						4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.75	4.78

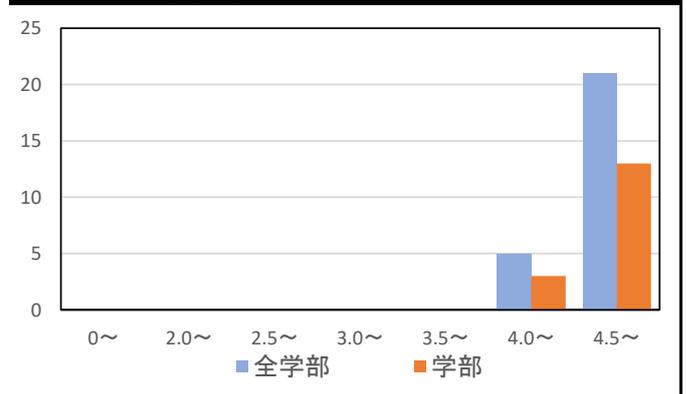
■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	該当なし
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布

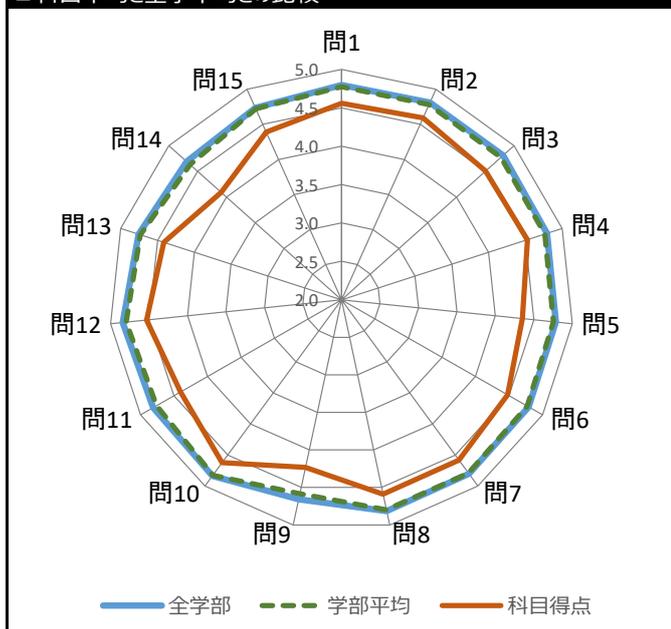


科目名	日本語の表現	[2F0010]	履修者数	83	回答率	
教員名	越後 敬子		回 答 数	紙	77	92.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	92.8%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	49	23	4				4.56	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	49	15	7	6			4.59	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	48	17	10				4.51	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	46	19	6	5			4.53	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	44	20	10				4.35	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	46	19	10				4.48	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	51	15	8	3			4.58	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	49	18	6	4			4.59	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	43	17	11	4			4.23	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	53	19	5				4.62	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	47	16	12				4.40	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	49	21	6				4.53	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	47	22	4	3			4.42	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	40	15	14	5	3		4.09	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	45	15	12	3			4.39	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.46	4.75	4.78

■ 科目平均と全学平均との比較

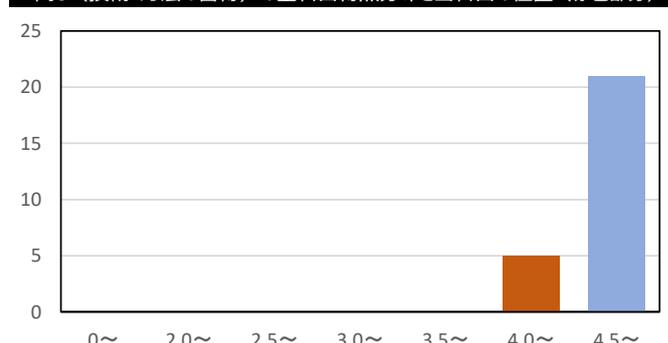


グラフ凡例	配点	問1～15
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Light Orange	1	全くそうは思わない
White	-	該当なし
White	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

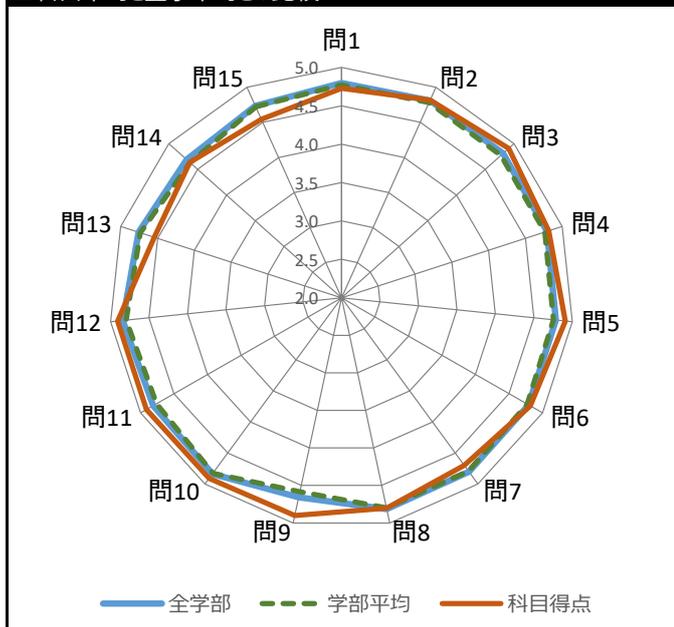


科目名	中国語Ⅱ	[2F0080]	履修者数	13	回答率	
教員名	王 牧		回答数	紙 11	84.6%	84.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB 0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 blue, 1 green, 1 orange]						4.73	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 9 blue, 2 green]						4.82	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 10 blue, 1 green]						4.91	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 9 blue, 2 green]						4.82	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 10 blue, 1 green]						4.91	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 9 blue, 2 green]						4.82	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 1 green, 1 orange, 1 grey]						4.70	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 orange]						4.80	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 9 blue, 1 green, 1 orange]						4.90	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 10 blue, 1 green]						4.91	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 10 blue, 1 green]						4.91	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 blue, 1 green]						4.91	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 7 blue, 3 green, 1 orange]						4.55	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 9 blue, 1 green, 1 orange]						4.64	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 7 blue, 3 green, 1 orange]						4.55	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.79	4.75	4.78

■ 科目平均と全学平均との比較

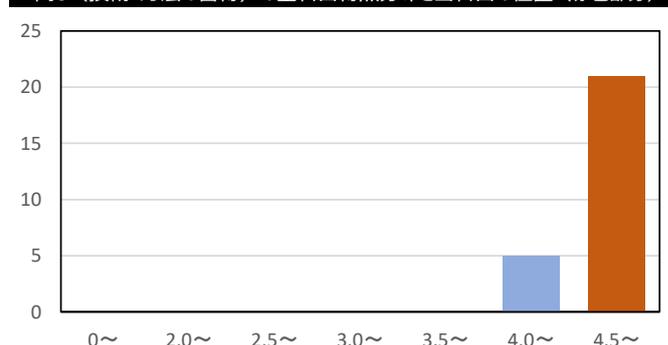


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

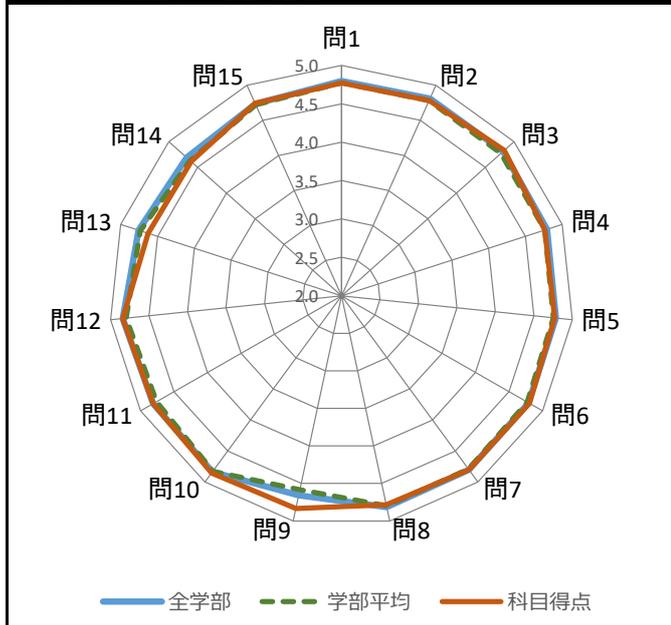


科目名	韓国語Ⅱ	[2F0100]	履修者数	79	回答率	
教員名	高 昌弘		回 紙	70	88.6%	88.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 55 blue, 14 green]						4.77	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 53 blue, 10 green, 5 yellow]						4.78	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 59 blue, 10 green]						4.83	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 53 blue, 14 green]						4.76	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 57 blue, 10 green, 3 yellow]						4.77	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 55 blue, 11 green, 3 yellow]						4.81	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 55 blue, 9 green, 4 yellow]						4.80	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 53 blue, 10 green, 5 yellow]						4.78	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 56 blue, 9 green, 4 yellow]						4.83	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 61 blue, 8 green]						4.86	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 57 blue, 11 green]						4.81	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 60 blue, 9 green]						4.84	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 52 blue, 11 green, 6 yellow]						4.63	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart: 50 blue, 14 green, 5 yellow]						4.61	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 55 blue, 12 green, 3 yellow]						4.74	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.78	4.75	4.78

■ 科目平均と全学平均との比較

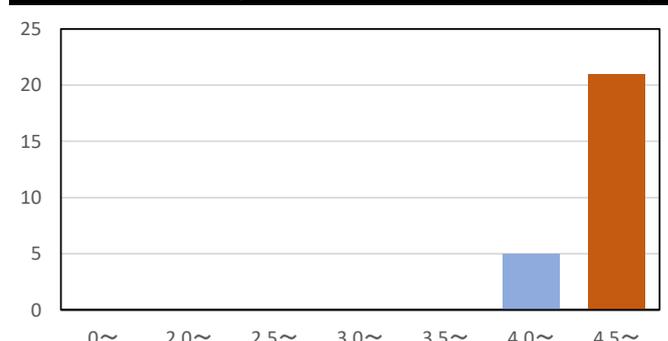


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

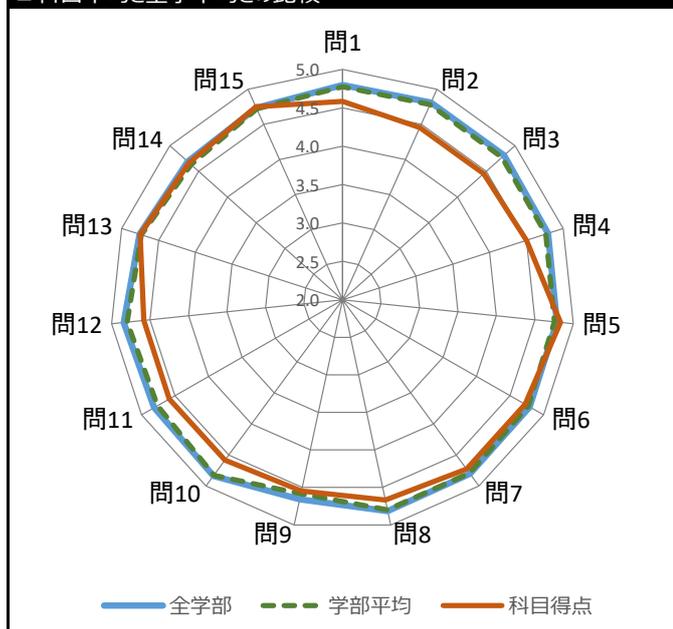


科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0021]	履修者数	12	回答率	
教員名	遠藤 公久		回 答 数	紙	12	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%
						100.0%

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 blue, 2 green, 1 orange]						4.58	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 6 blue, 4 green, 1 orange, 1 white]						4.45	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 7 blue, 3 green, 1 orange, 1 white]						4.45	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 7 blue, 4 green, 1 orange, 1 white]						4.50	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 10 blue, 2 green]						4.83	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green, 1 orange, 1 white]						4.73	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green, 1 orange, 1 white]						4.73	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue, 1 green, 1 orange, 1 white]						4.67	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 orange, 1 white]						4.55	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 9 blue, 2 green, 1 orange, 1 white]						4.58	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 9 blue, 2 green, 1 orange, 1 white]						4.58	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 9 blue, 2 green, 1 orange, 1 white]						4.58	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 9 blue, 3 green]						4.75	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 9 blue, 2 green, 1 orange, 1 white]						4.67	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 9 blue, 3 green]						4.75	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.63	4.75	4.78

■科目平均と全学平均との比較

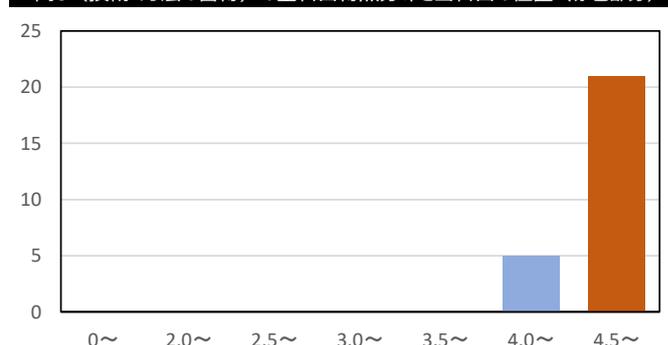


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

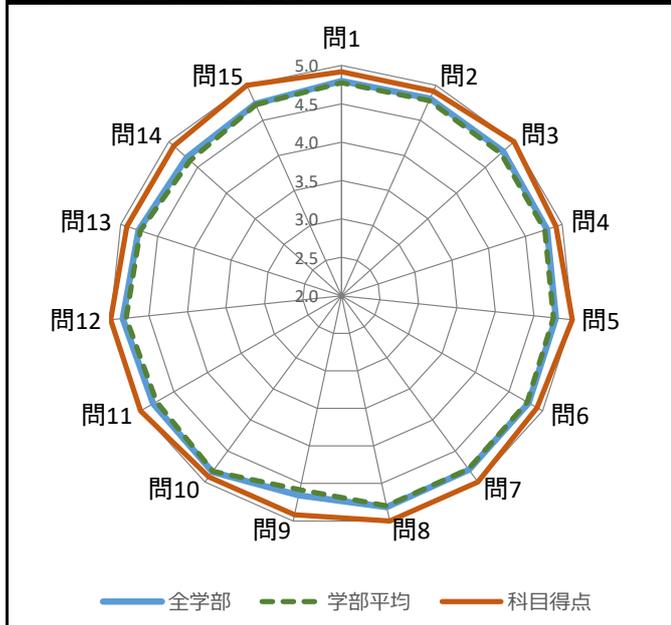


科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0022]	履修者数	12	回答率	
教員名	鷹田 佳典		回 紙	12	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 11 responses at 4.92]						1	4.92	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 11 responses at 4.92]						1	4.92	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 12 responses at 5.00]							5.00	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 11 responses at 4.92]						1	4.92	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 12 responses at 5.00]							5.00	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 11 responses at 4.92]						1	4.92	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 12 responses at 5.00]							5.00	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 12 responses at 5.00]							5.00	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 11 responses at 4.92]						1	4.92	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 11 responses at 4.92]						1	4.92	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 12 responses at 5.00]							5.00	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 12 responses at 5.00]							5.00	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 11 responses at 4.92]						1	4.92	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 11 responses at 4.92]						1	4.92	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 12 responses at 5.00]							5.00	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								<b>4.96</b>	<b>4.75</b>	<b>4.78</b>	

■科目平均と全学平均との比較

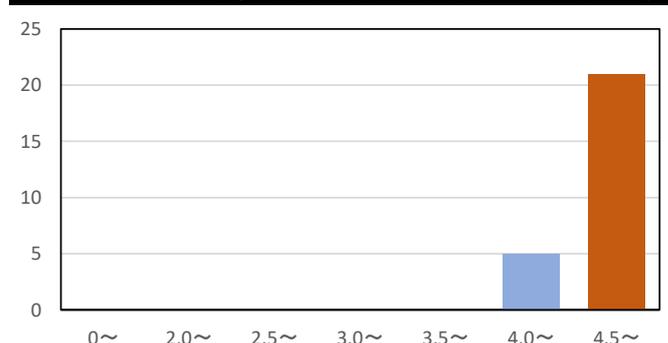


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらでもない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

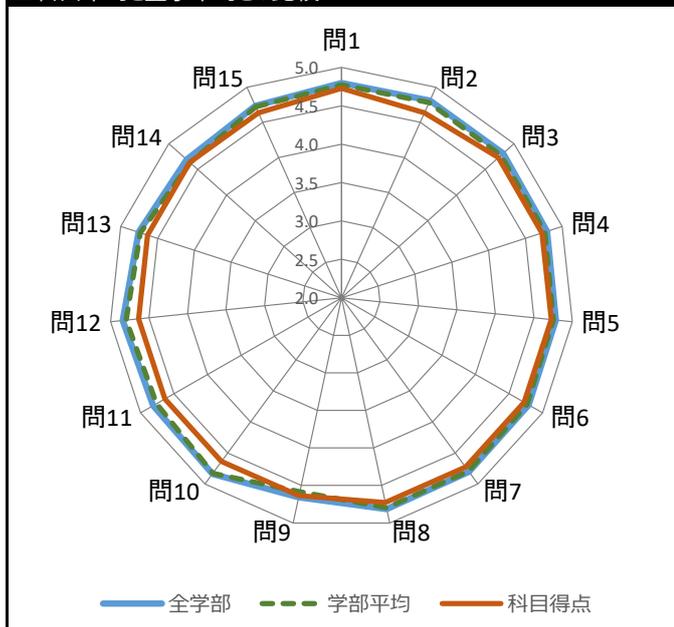


科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0023]	履修者数	12	回答率	
教員名	白井 美穂		回答数	紙	11	91.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
91.7%						

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green]						4.73	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green]						4.73	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green]						4.73	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green]						4.73	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green]						4.73	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green]						4.73	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 3 green]						4.73	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 8 blue, 2 green, 1 yellow]						4.64	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.68	4.75	4.78

■科目平均と全学平均との比較

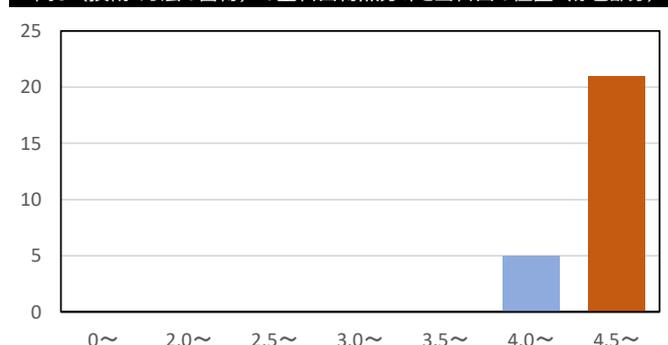


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

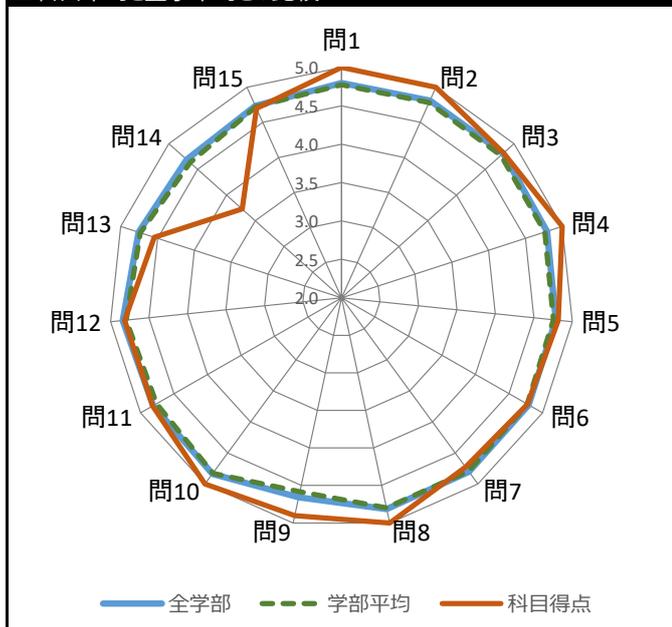


科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0024]	履修者数	11	回答率	
教員名	角田 敦彦		回 答 数	紙	11	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	0.0%
						100.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11						5.00	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	7 4						5.00	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	10 1						4.82	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	7 4						5.00	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	10 1						4.82	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	8 1 1 1						4.78	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	9 1 1						4.73	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	10 1						5.00	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	9 1 1						4.90	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	11						5.00	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9 2						4.82	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9 2						4.82	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	9 1 1						4.55	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	7 1 3						3.73	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	8 1 1 1						4.70	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.78	4.75	4.78

■ 科目平均と全学平均との比較

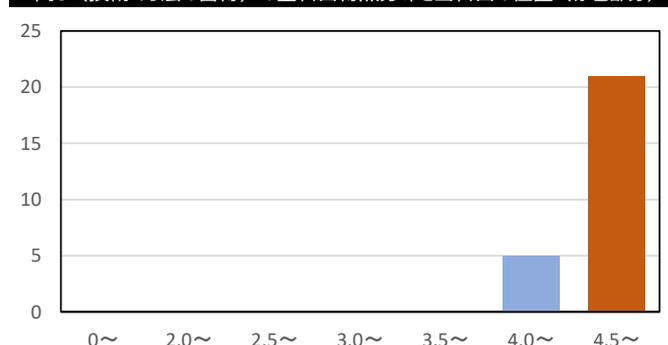


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

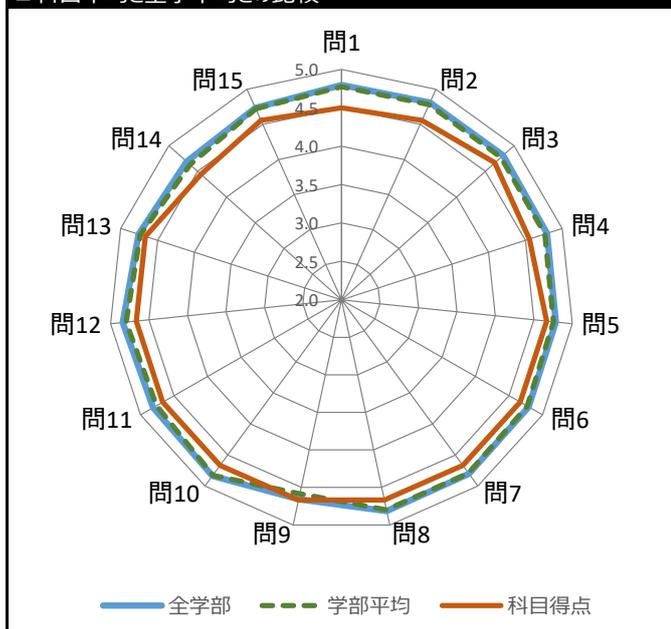


科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0025]	履修者数	9	回答率	
教員名	渋谷 真樹		回 紙	9	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4		4			1	4.50	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5		4				4.56	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	6		3				4.67	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5		4				4.56	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	6		3				4.67	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	6		3				4.67	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	6		3				4.67	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	6		3				4.67	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	6		3				4.67	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	6		3				4.67	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6		3				4.67	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6		3				4.67	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	6		3				4.67	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	4		5				4.44	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	5		4				4.56	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.62	4.75	4.78

■ 科目平均と全学平均との比較

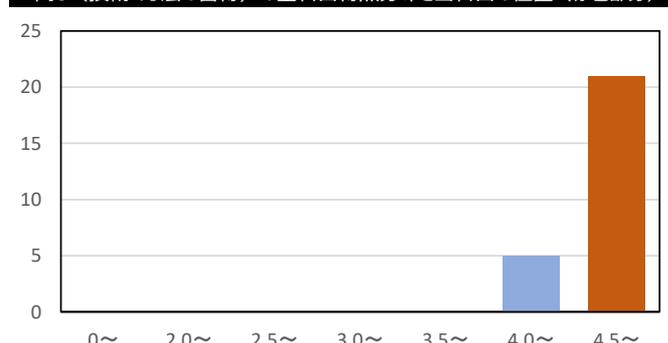


グラフ凡例	配点	問1～15
<span style="color: blue;">■</span>	5	強く思う
<span style="color: green;">■</span>	4	そう思う
<span style="color: yellow;">■</span>	3	どちらともいえない
<span style="color: orange;">■</span>	2	そうは思わない
<span style="color: red;">■</span>	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

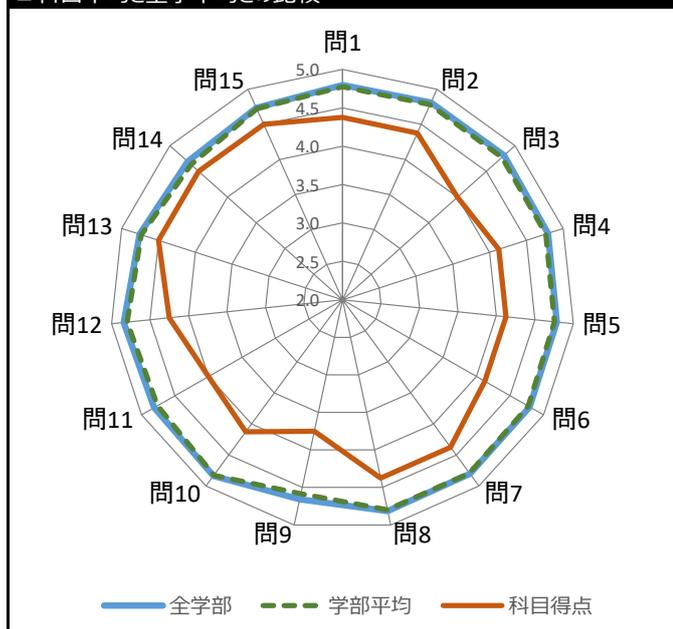


科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0026]	履修者数	9	回答率	
教員名	逸見 功		回 紙	8	88.9%	88.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 5 blue, 2 green, 1 orange]						4.38	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 5 blue, 2 green, 1 orange]						4.38	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 2 orange]						4.00	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow, 1 orange]						4.13	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow, 1 orange]						4.13	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow, 1 orange]						4.13	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 5 blue, 2 green, 1 orange]						4.38	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 5 blue, 2 green, 1 orange]						4.38	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 4 blue, 1 green, 1 yellow, 1 orange, 1 red]						3.75	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 1 yellow, 1 orange]						4.13	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 4 blue, 2 green, 2 orange]						4.00	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 4 blue, 3 green, 1 orange]						4.25	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 6 blue, 1 green, 1 orange]						4.50	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 6 blue, 1 green, 1 orange]						4.50	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 6 blue, 1 green, 1 orange]						4.50	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.23	4.75	4.78

■ 科目平均と全学平均との比較

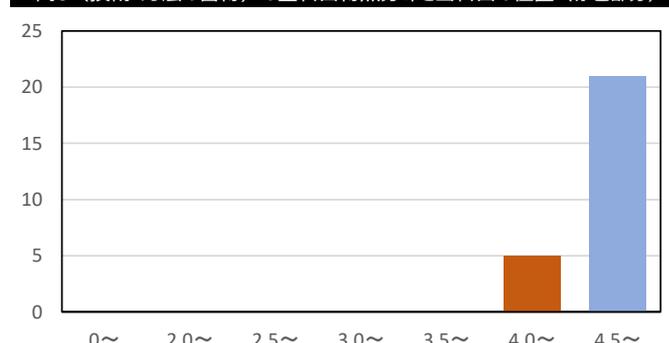


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

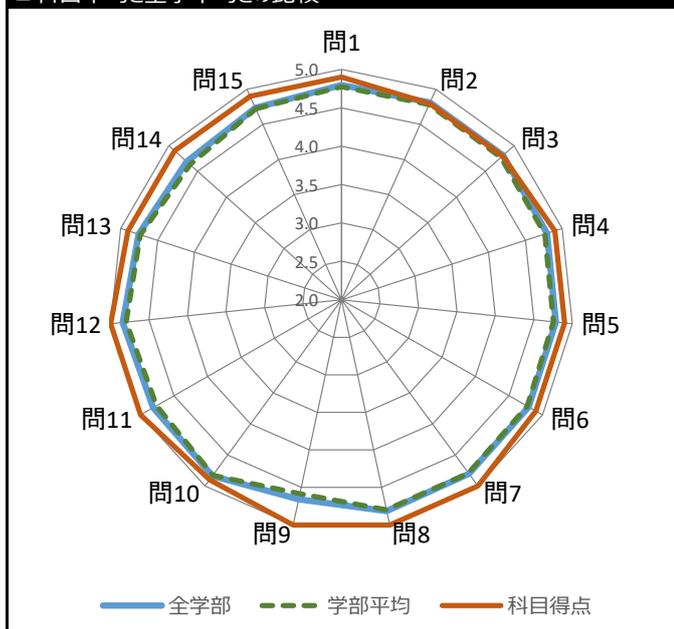


科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0027]	履修者数	11	回答率	
教員名	有賀 早苗		回答数	紙	10	90.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
					90.9%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 9 blue and 1 green segments]						4.90	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 8 blue and 2 green segments]						4.80	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 8 blue and 2 green segments]						4.80	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 9 blue and 1 green segment]						4.90	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 9 blue and 1 green segment]						4.90	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 9 blue and 1 green segment]						4.90	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue segments]						5.00	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue segments]						5.00	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 10 blue segments]						5.00	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 9 blue and 1 green segment]						4.90	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 10 blue segments]						5.00	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 10 blue segments]						5.00	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 9 blue and 1 green segment]						4.90	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 9 blue and 1 green segment]						4.90	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 9 blue and 1 green segment]						4.90	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.92	4.75	4.78

■科目平均と全学平均との比較

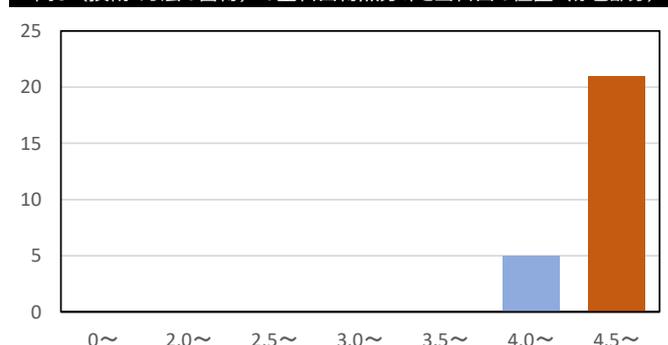


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

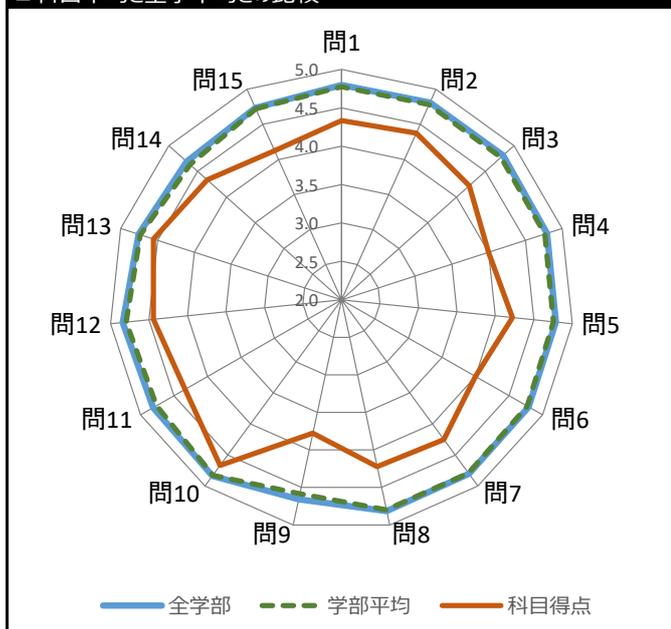


科目名	基礎ゼミⅡ	[2G0028]	履修者数	11	回答率	
教員名	越後 敬子		回答数	紙	9	81.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
81.8%						

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3	6					4.33	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	3	5	1				4.38	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	3	5	1				4.22	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	2	4	2	1			4.00	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5	1	3				4.22	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	2	3	2	2			4.00	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5	3	1				4.25	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	6	2	1				4.22	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	3	2	3	1			3.78	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	7	1	1				4.67	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5	2	2				4.33	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5	3	1				4.44	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	6	2	1				4.56	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	6	3					4.33	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	4	1	3	1			4.13	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.26	4.75	4.78

■科目平均と全学平均との比較

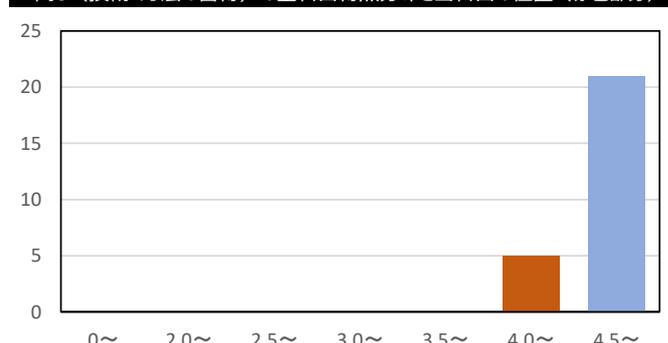


グラフ凡例	配点	問1～15
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Light Orange	1	全くそうは思わない
White	-	該当なし
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

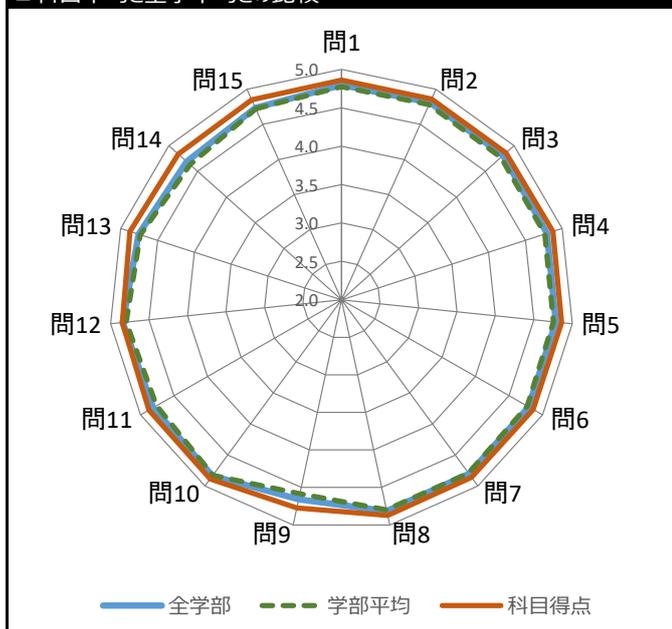


科目名	看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)	[2J0020]	履修者数	87	回答率	
教員名	中村 滋子		回 紙	79	90.8%	90.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 68% blue, 11% green]						4.86	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 68% blue, 11% green]						4.86	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 68% blue, 11% green]						4.86	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 69% blue, 10% green]						4.87	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 68% blue, 11% green]						4.86	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 68% blue, 11% green]						4.86	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 68% blue, 11% green]						4.86	4.79	4.80
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	[Bar chart showing 68% blue, 10% green]						4.87	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 63% blue, 14% green, 3% yellow]						4.77	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 70% blue, 9% green]						4.89	4.83	4.84
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 69% blue, 10% green]						4.87	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 68% blue, 10% green]						4.85	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 69% blue, 10% green]						4.87	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	[Bar chart showing 69% blue, 8% green, 3% yellow]						4.84	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 67% blue, 12% green]						4.85	4.72	4.73
<b>問1~15全問平均</b>								4.86	4.75	4.78

■科目平均と全学平均との比較

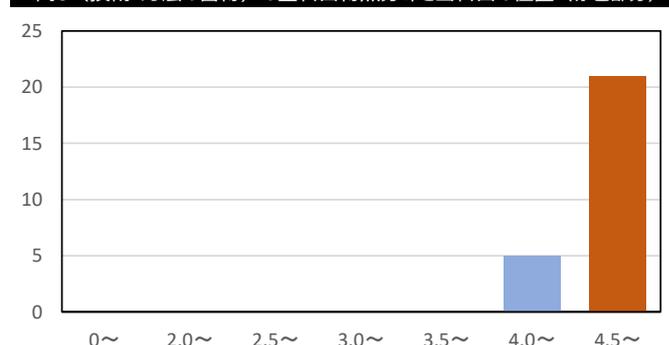


グラフ凡例	配点	問1~15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

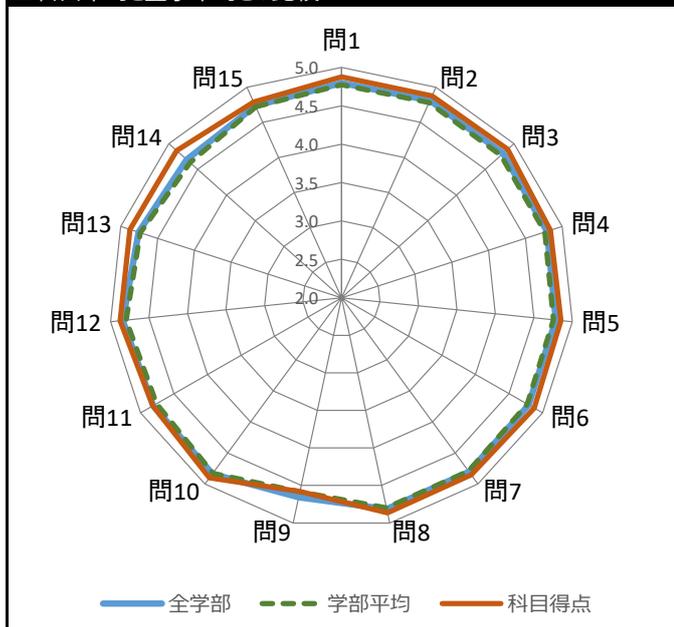


科目名	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)	[2J0050]	履修者数	86	回答率	
教員名	殿城 友紀		回 紙	81	94.2%	94.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部		
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	71						10	4.88	4.77	4.80	
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	71						10	4.88	4.78	4.81	
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	72						9	4.89	4.77	4.81	
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	69						11	4.84	4.76	4.79	
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	69						12	4.85	4.75	4.79	
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	71						10	4.88	4.77	4.79	
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	70						10	4.85	4.79	4.80	
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	71						9	4.86	4.80	4.81	
9	演習の時間配分は適切だった。	54						22	3	4.58	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	73						8	4.90	4.83	4.84	
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	69						10	4.81	4.76	4.81	
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	71						10	4.88	4.80	4.84	
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	72						8	4.88	4.73	4.76	
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	71						9	4.86	4.63	4.69	
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	66						13	4.79	4.72	4.73	
<b>問1~15全問平均</b>								4.84	4.75	4.78		

■科目平均と全学平均との比較

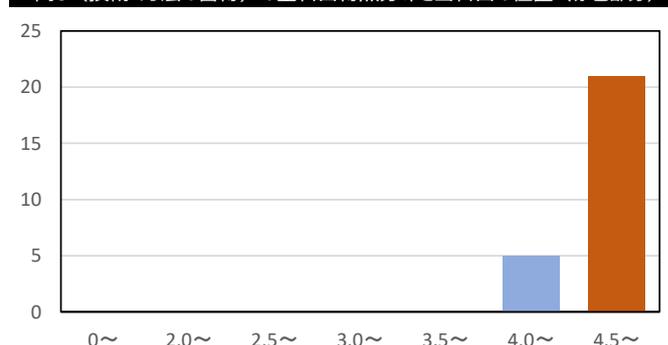


グラフ凡例	配点	問1~15
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Light Orange	1	全くそうは思わない
White	-	該当なし
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

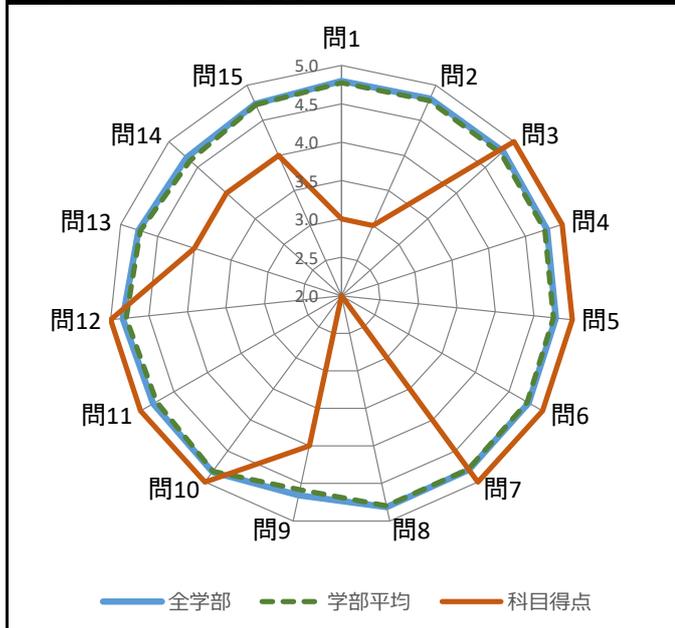


科目名	国際看護学演習	[2P0020]	履修者数	1	回答率	
教員名	織方 愛		紙	1	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1						3.00	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	1						3.00	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	1						5.00	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	1						5.00	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	1						5.00	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	1						5.00	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	1						5.00	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	1						2.00	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	1						4.00	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	1						5.00	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	1						5.00	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1						5.00	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	1						4.00	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	1						4.00	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	1						4.00	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.27	4.75	4.78

■科目平均と全学平均との比較

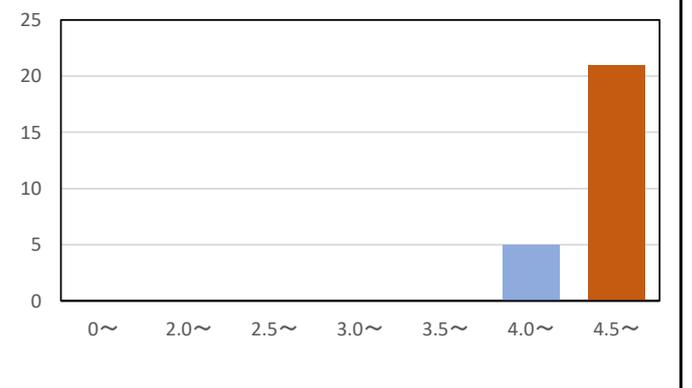


グラフ凡例	配点	問1～15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

＜質問別回答内訳と得点＞

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

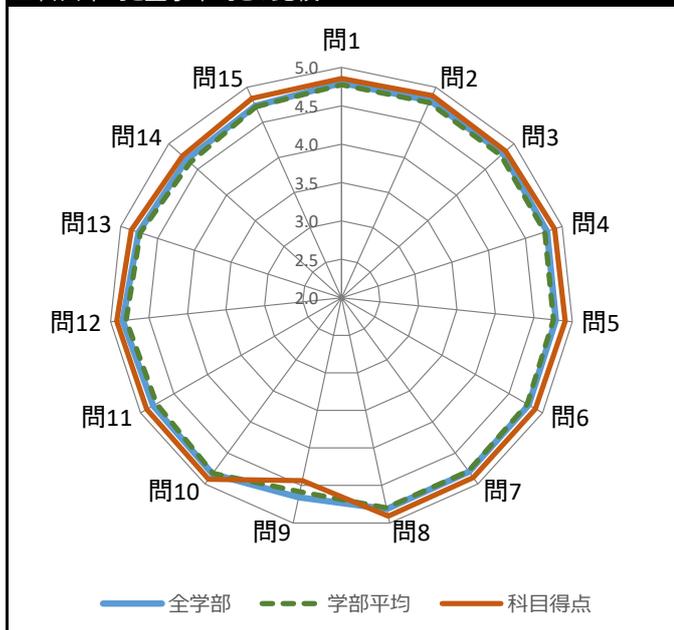


科目名	災害看護活動論 I	[2P0040]	履修者数	76	回答率	
教員名	織方 愛		回 紙	76	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	66						9	4.86	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	68						7	4.88	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	66						9	4.86	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	69						6	4.89	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	70						5	4.91	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	69						6	4.89	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	69						6	4.89	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	71						3	4.91	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	53				9	9	4	4.43	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	71						4	4.92	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	70						5	4.91	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	71						4	4.92	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	68						6	4.86	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	66				4	4	4	4.76	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	67				6	3	4.84	4.72	4.73	
<b>問1～15全問平均</b>								4.85	4.75	4.78	

■ 科目平均と全学平均との比較

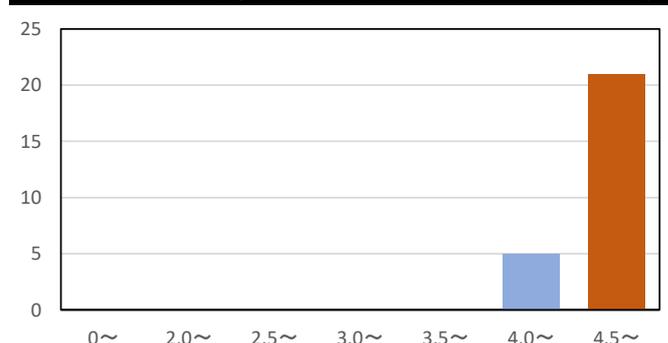


グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらでもない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	該当なし
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

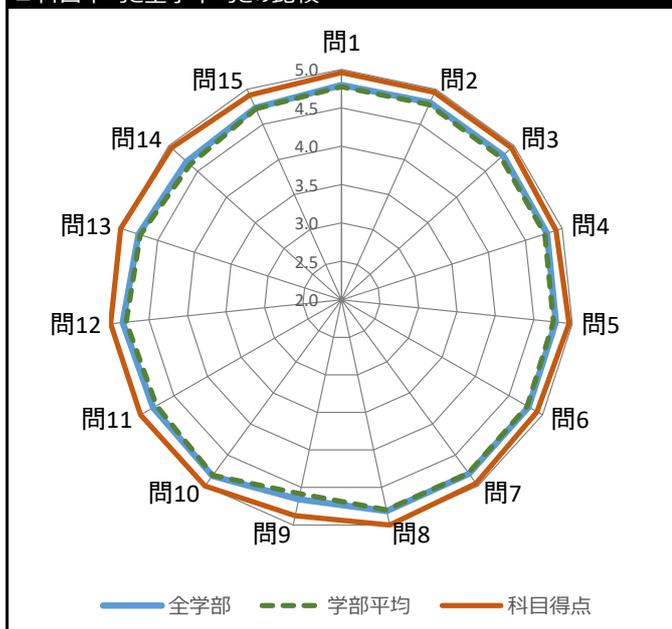


科目名	災害看護活動論Ⅱ	[2P0050]	履修者数	28	回答率	
教員名	織方 愛		回 紙	24	85.7%	85.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	23						1	4.96	4.77	4.80
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	23						1	4.96	4.78	4.81
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	23						1	4.96	4.77	4.81
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	22						2	4.92	4.76	4.79
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	23						1	4.96	4.75	4.79
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	22						2	4.92	4.77	4.79
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	23						1	4.96	4.79	4.80
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	24							5.00	4.80	4.81
9	演習の時間配分は適切だった。	22						11	4.88	4.59	4.66
10	教員の熱意が伝わってきた。	24							5.00	4.83	4.84
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	24							5.00	4.76	4.81
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	24							5.00	4.80	4.84
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	24							5.00	4.73	4.76
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	23						1	4.96	4.63	4.69
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	23						1	4.92	4.72	4.73
<b>問1～15全問平均</b>								4.96	4.75	4.78	

■科目平均と全学平均との比較

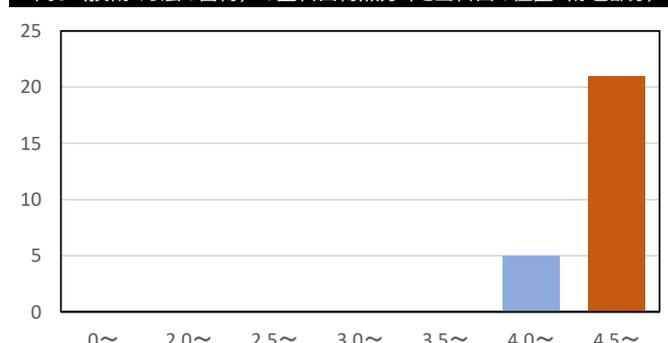


グラフ凡例	配点	問1～15
<span style="color: blue;">■</span>	5	強く思う
<span style="color: green;">■</span>	4	そう思う
<span style="color: yellow;">■</span>	3	どちらともいえない
<span style="color: orange;">■</span>	2	そうは思わない
<span style="color: grey;">■</span>	1	全くそうは思わない
<span style="color: grey;">■</span>	-	該当なし
<span style="color: grey;">■</span>	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
2F0010	日本語の表現	越後 敬子	敬語を学ぶ機会となったことについてコメントがありました。改めて敬語を学ぶ時間をとるということはなかなかないと思いますので、今後役に立つと思います。スピーチの授業で終了時間を少し延長したのですが、本来の持ち時間を守った上でのスピーチであれば時間内に収まるはずですが、みなさんの発表が少しずつ押し過ぎてしまいました。時間配分は次年度の参考にします。
2F0080	中国語Ⅱ	王 牧	アンケートの集計結果とご意見について、担当教員からコメントを述べさせていただきます。まず、本授業の回答率は13名中11名(84.6%)であり、おおよそクラスの総意を反映していると考えられますが、得点としては全15問中4問が学部平均を下回るという評価となりました。この結果に基づき、以下に反省点や改善点を確認したいと思います。学部平均の得点を下回った4つの質問は、それぞれ「演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った」「学生への指示・安全の配慮は適切だった」「私は事前学習をして演習に臨んだ」「私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった」でした。いずれにも1名「どちらとも言えない」という回答がありました。また、個別のコメントとして「先生が作成した資料は見やすかったが、テキストの説明が不足であり、単語リストに品詞がついているともっとわかりやすい」「最初に基本文型などについてもっと詳しく説明してもらえるとわかりやすい」という意見もいただきました。私は教員として、このような回答が出てしまったことを非常に遺憾に思っております。心から深くお詫び申し上げます。今後はテキストの選択や授業資料の作成についてより慎重に考えるべきですし、学生の要望に応え、より理解しやすく受け入れやすい教材の内容や授業方法を提供する必要があると考えています。また、学生への指示や安全の配慮において不適切な点があったことについて、心から反省しております。今後はより注意深く指示を行い、学生の安全に対する適切な配慮を怠らないよう努めます。ただ一方では、「先生の授業が楽しかった」「非常に勉強になった」「スライドが見やすかった」という個別のコメントもいただきました。専門科目の学習がますます忙しくなる中で、「中国語Ⅱ」を選択してくださった学生からこのような回答をいただけたことは、非常に嬉しい限りです。学生の皆さんが授業を楽しんでいただき、有益な学びを得られたというお声をいただけたことは、私にとって大変喜ばしいことです。最後に、「中国語Ⅱ」の授業が円滑に進むよう、毎週ご協力くださり、熱心に取り組んでくださったことに心より感謝申し上げます。また、学生の皆さんからの積極的な参加や貴重な意見にも心から感謝しております。今後も学生の皆さんが一層成長できるような授業を提供するために、さらなる改善に取り組んでまいります。フィードバックや要望を参考にし、授業の内容や教材を最適化していきます。学生の皆さんの学びと成果を最大限に引き出すために、より分かりやすく、魅力的な教育内容を提供するために全力を尽くしてまいります。また、学生の皆さんとのコミュニケーションを大切にし、相互の学びの場を作り続けていきたいと考えております。
2F0100	韓国語Ⅱ	高 昌弘	皆さん一年間、スゴハショッスムニダ(お疲れ様でした)。授業では韓国語のことだけではなく、韓国の文化など、韓国について色々お話しさせていただいたのですが、皆さんの反応も良く、興味深く聞いてくれる学生が多かったのととても嬉しかったです。全く韓国語がわからなかった皆さんがすらすら韓国語が読めるようになった姿を見て非常に教え甲斐を感じました。とても嬉しかったです。残念ながら韓国語Ⅰ・Ⅱの上の授業はありません。でも語学の勉強って教科書以外にも学べる材料がたくさんあるのです。せっかく1年間頑張って韓国語を勉強したので、これからも韓国ドラマやK-POPなど、生の教材を活用し、韓国語の勉強を続けてほしいです。赤十字看護大学の皆さん、チェゴ(最高)!カムサハムニダ!
2G0022	基礎ゼミⅡ	鷹田 佳典	それまで私が担当する基礎ゼミⅡでは、「平成」をテーマにしていますが、昨年度は「ジェンダー」をテーマに授業を行いました。まず、ジェンダーに関する基礎文献を読み、後半は受講生自らがジェンダーに関連するテーマを設定し、資料を調べ、問いを提起し、みんなで議論するというスタイルを進めました。毎回興味深いテーマが設定され、安易に納得せず、議論を深めていこうとする意識が全体に共有されていたことで、全体を通してとてもよいディスカッションができたように思います。今年度も引き続き「ジェンダー」をテーマに、現代社会のありようを考えていきたいと思っています。
2G0023	基礎ゼミⅡ	白井 美穂	全体的に全学部の評価と比較し、9、演習の時間配分に以外は低い傾向にあったので、次回から全体的に授業の見直しを行い、よりよい授業にしていきたいと思っています。
2G0024	基礎ゼミⅡ	角田 敦彦	授業全体の評価としては、概ね肯定的な評価であったようです。ゼミを通じて、自ら課題を設定し、深め、他者に伝えることの重要性を感じていただけたことは良かったです。一方、事前学習や復習に課題を感じる学生も一定数いたことから、授業時間外のフォローについて次年度以降考えていく必要があります。広尾と大宮の距離を、心の距離にしないような働きかけをどのように進めていくか、今後の私の課題としたいと思います。
2G0025	基礎ゼミⅡ	渋谷 真樹	全般によりフィードバックでうれしいです。毎回事後課題もありましたので、復習について「強くそう思う」でなく「そう思う」と回答した人が多かったのは意外です。もう少し復習の観点がわかりやすい課題を課すなど、よりよい学びになるように、引き続き努めます。
2G0026	基礎ゼミⅡ	逸見 功	授業改善アンケートへの回答をありがとうございました。次年度も、説得力のある意見を発表するため、および意見が対立する他者を理解するために、論理的思考を育めるように授業を進めていきたいと思っています。
2G0028	基礎ゼミⅡ	越後 敬子	授業前半は主に差別についての講義、後半が各自の調査と発表という形でしたが、もっと学生が話に参加したいというコメントをいただきました。今後の授業ではさらに学生による発表を増やすなど、参考にします。
2J0020	看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)	中村 滋子	授業へのご意見をありがとうございました。楽しく学んでいただきよかったです。デモンストレーションは、皆さんの理解の助けとなりように、これからも努めていきます。授業時間が延長しないように努力しておりますが、延長することが多く課題です。時間配分を再度見直します。持ち物の提示が遅いことがあったことのご意見をいただきました。前週に提示できるようにします。血圧測定がまだ不安な方もいるようです。どうぞいつでも相談に来てください。お待ちしております。

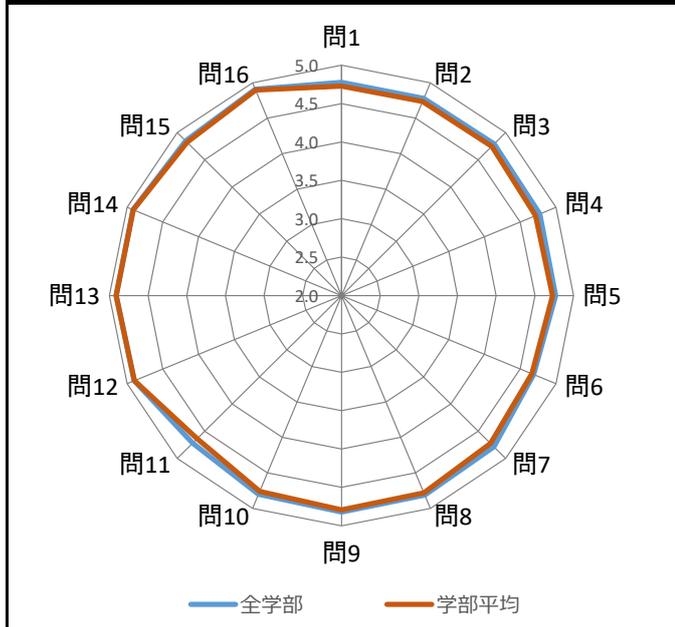
科目コード	科目名	教員名	コメント (1000文字以内)
2J0050	看護技術論Ⅲ (基礎看護技術②)	殿城 友紀 他	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後も、分かりやすいデモンストレーション、質問しやすい教員配置と雰囲気大切に演習を展開していきたいと思ひます。事前課題と授業と演習のつながりを実感しながら演習で学ばれているとのこと、今後もつながりを意識した授業構成を継続していきます。時間がない中での発表が不安とご意見をいただきました。演習後の振り返り時間がとれるよう、時間配分の工夫をしてみたいと思ひます。
2P0020	国際看護学演習	織方 愛	学生の皆さんが主体的に発表、議論、討論を通じて理解を深めたことが伝わってきて嬉しく思ひます。また、ルワンダと同時双方向でオンライン演習を実施したことで、なかなか行けないような現地の方々をお会いできたこと、インタビューを通じて暮らしを伺うことができたことなどの感想を頂き、ルワンダ赤十字社の方々と調整をした効果があつてよかったと思ひます。ぜひ、将来国際活動にチャレンジしてみてください。ハイブリッド授業では音声に不具合があつた様子で申し訳ありません。スピーカーマイクを購入し改善していきます。私も多くのことを学ばせて頂きました。ありがとうございました。
2P0040	災害看護活動論Ⅰ	織方 愛	学生の皆さんが主体的に発表、議論、討論を通じて理解を深めたことが伝わってきて嬉しく思ひます。また、実技を多く取り入れた演習を実施したことで、赤十字の救護技術を体験できたとの感想を頂き、日本赤十字社埼玉県支部の方々と調整をした効果があつてよかったと思ひます。ぜひ、将来赤十字の救護活動にチャレンジ、もしくは派遣される方を応援してください。私も多くのことを学ばせて頂きました。ありがとうございました。
2P0050	災害看護活動論Ⅱ	織方 愛	災害時のこころのケアという、心理的負担が多めの授業でしたが、学生の皆さんが主体的に発表、議論、討論を通じて理解を深めたことが伝わってきて嬉しく思ひます。また、教員のこころのケア経験談が良かったとの感想を頂き、深谷赤十字病院の看護師の先生に依頼した効果があつてよかったと思ひます。ぜひ、将来赤十字の救護活動にチャレンジ、もしくは派遣される方を応援してください。私も多くのことを学ばせて頂きました。ありがとうございました。

学部名	さいたま看護学部		履修者数	698	回答率	
			紙	440	63%	63%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 355 responses for 'Strongly agree' and 63 for 'Agree']						4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart showing 356 responses for 'Strongly agree' and 61 for 'Agree', 16 for 'Disagree']						4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 359 responses for 'Strongly agree' and 59 for 'Agree', 15 for 'Disagree']						4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 357 responses for 'Strongly agree' and 58 for 'Agree']						4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 362 responses for 'Strongly agree' and 51 for 'Agree', 15 for 'Disagree']						4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart showing 330 responses for 'Strongly agree' and 76 for 'Agree', 28 for 'Disagree']						4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart showing 351 responses for 'Strongly agree' and 62 for 'Agree', 17 for 'Disagree']						4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart showing 367 responses for 'Strongly agree' and 52 for 'Agree', 14 for 'Disagree']						4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart showing 369 responses for 'Strongly agree' and 51 for 'Agree', 14 for 'Disagree']						4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart showing 364 responses for 'Strongly agree' and 51 for 'Agree']						4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart showing 335 responses for 'Strongly agree' and 65 for 'Agree', 22 for 'Disagree']						4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart showing 398 responses for 'Strongly agree' and 35 for 'Disagree']						4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart showing 404 responses for 'Strongly agree' and 32 for 'Disagree']						4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart showing 405 responses for 'Strongly agree' and 28 for 'Disagree']						4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求められることができた。	[Bar chart showing 377 responses for 'Strongly agree' and 46 for 'Disagree']						4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart showing 405 responses for 'Strongly agree' and 22 for 'Disagree']						4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.78	4.81

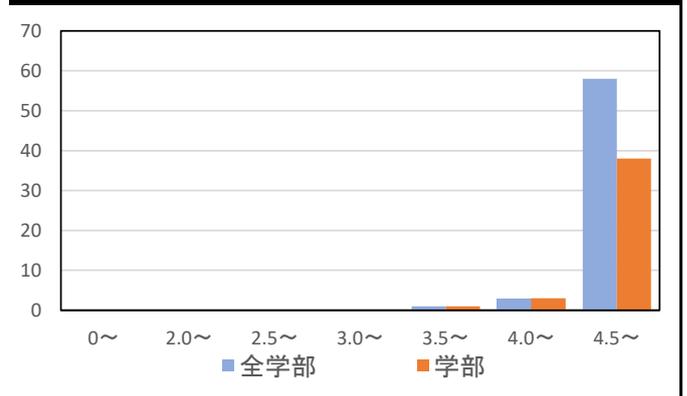
■ 学部平均と全学平均との比較



グラフ凡例	配点	問1～16
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>  
・グラフ内数字は回答数  
(3%未満は非表示)

■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布 (全学/学部)

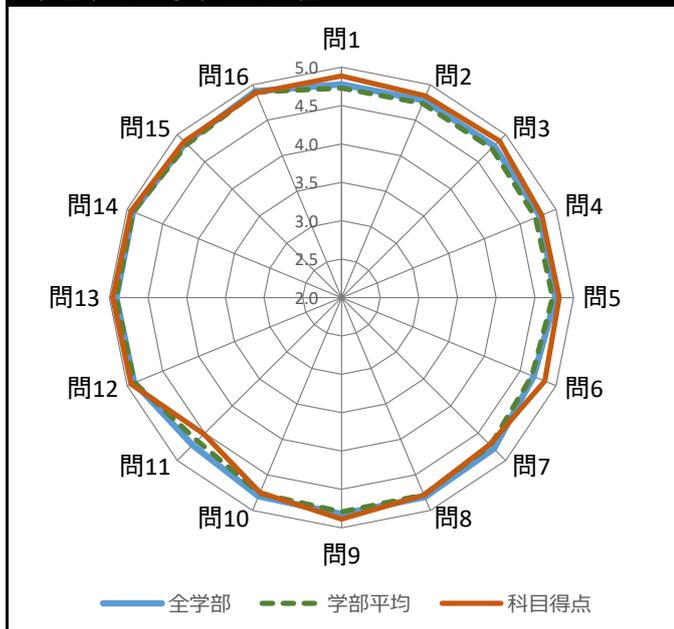


科目名	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	[2R0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	岡田 彩子		回 紙	70	80%	80%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 64 blue, 5 green]						4.89	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 63 blue, 5 green]						4.84	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 64 blue, 4 green]						4.89	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 60 blue, 8 green]						4.80	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 61 blue, 6 green]						4.81	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 59 blue, 11 green]						4.84	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 56 blue, 8 green, 3 orange]						4.71	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 58 blue, 9 green, 3 orange]						4.79	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 63 blue, 6 green]						4.89	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 57 blue, 7 green]						4.75	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 52 blue, 7 green, 4 orange, 3 red]						4.51	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 66 blue, 4 green]						4.94	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 67 blue, 3 green]						4.96	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 66 blue, 4 green]						4.94	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求められることができた。	[Bar chart: 62 blue, 7 green]						4.87	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 65 blue, 3 green]						4.89	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.83	4.78	4.81

■ 科目平均と全学平均との比較

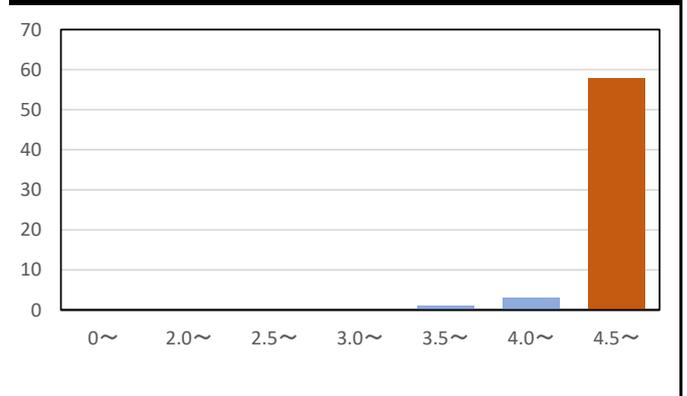


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

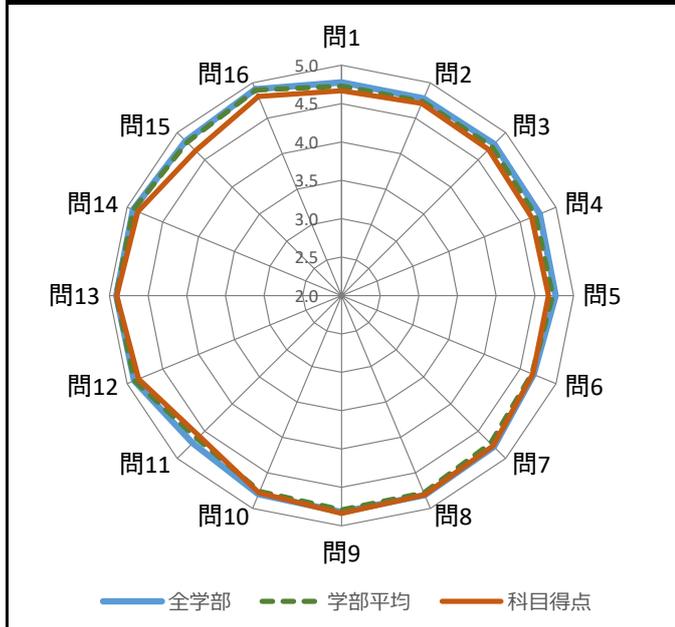


科目名	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	[2R0020]	履修者数	88	回答率	
教員名	岡田 彩子		紙	75	85%	85%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 57% blue, 15% green]						4.67	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 58% blue, 14% green]						4.71	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 58% blue, 12% green]						4.69	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 59% blue, 10% green]						4.66	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 59% blue, 11% green]						4.68	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 56% blue, 15% green]						4.68	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 60% blue, 12% green]						4.77	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 63% blue, 9% green]						4.81	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 63% blue, 10% green]						4.84	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	[Bar chart: 61% blue, 11% green]						4.78	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 53% blue, 16% green, 3% orange]						4.59	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 62% blue, 12% green]						4.84	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 67% blue, 7% green]						4.91	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 63% blue, 9% green]						4.85	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求められることができた。	[Bar chart: 54% blue, 13% green, 4% orange, 3% red]						4.67	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 64% blue, 5% green, 3% orange]						4.81	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.75	4.78	4.81

■ 科目平均と全学平均との比較

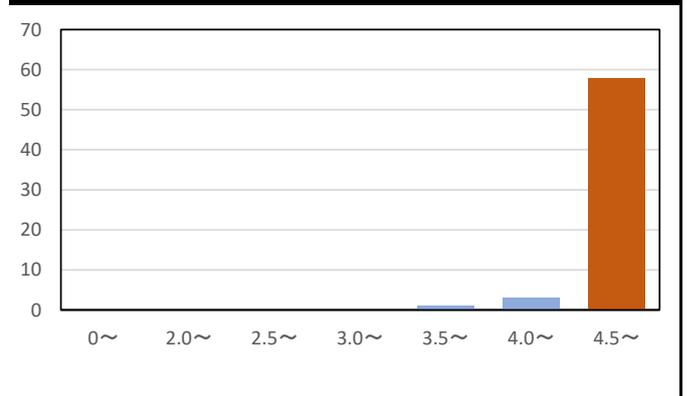


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



# 授業改善アンケート【実習】科目別集計

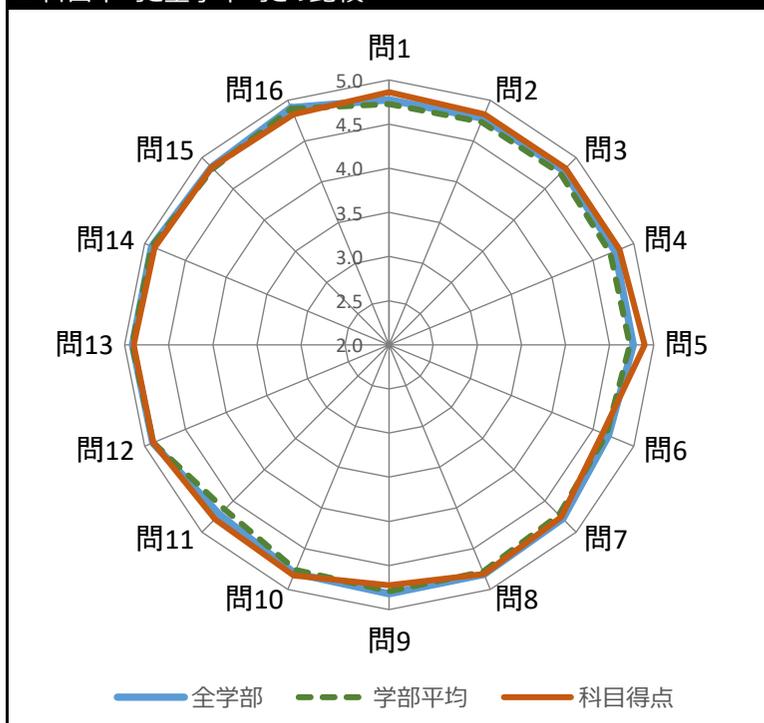
日本赤十字看護大学  
2022年度後期

科目名	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕		[2R0030]	履修者数	87	回答率	
教員名	小宮 敬子			回答数	紙 58	67%	67%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB	0	0%	

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	51 (Blue), 6 (Green)						4.86	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	49 (Blue), 8 (Green)						4.83	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	49 (Blue), 8 (Green)						4.83	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	49 (Blue), 8 (Green)						4.83	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	53 (Blue), 4 (Green)						4.90	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	42 (Blue), 11 (Green), 4 (Yellow)						4.62	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	47 (Blue), 8 (Green), 3 (Yellow)						4.76	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	50 (Blue), 5 (Green), 3 (Yellow)						4.81	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	46 (Blue), 9 (Green), 2 (Yellow)						4.72	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	52 (Blue), 4 (Green), 1 (Yellow)						4.83	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	49 (Blue), 7 (Green), 1 (Yellow)						4.79	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	54 (Blue), 2 (Green), 2 (Yellow)						4.90	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	53 (Blue), 4 (Green)						4.90	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	52 (Blue), 5 (Green)						4.88	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	51 (Blue), 5 (Green), 2 (Yellow)						4.84	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	50 (Blue), 6 (Green), 2 (Yellow)						4.83	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.82	4.78	4.81

## ■ 科目平均と全学平均との比較

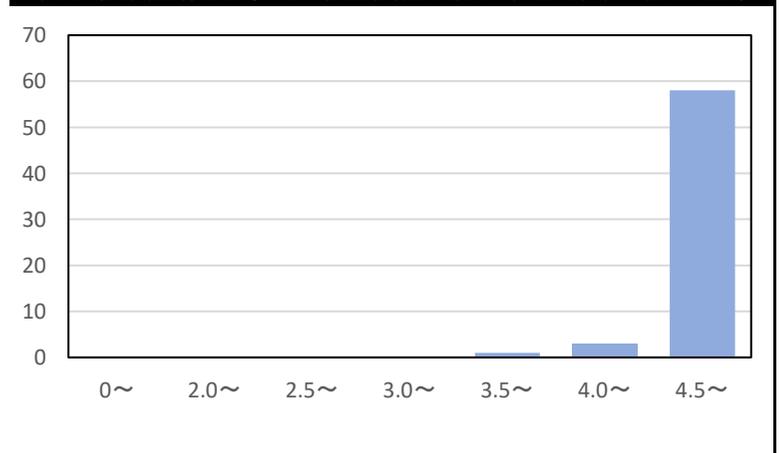


グラフ凡例	配点	問1～15
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	そう思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Light Orange)	1	全くそうは思わない
(White)	-	該当なし
(Grey)	-	無回答/不明

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

## ■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



# 授業改善アンケート【実習】科目別集計

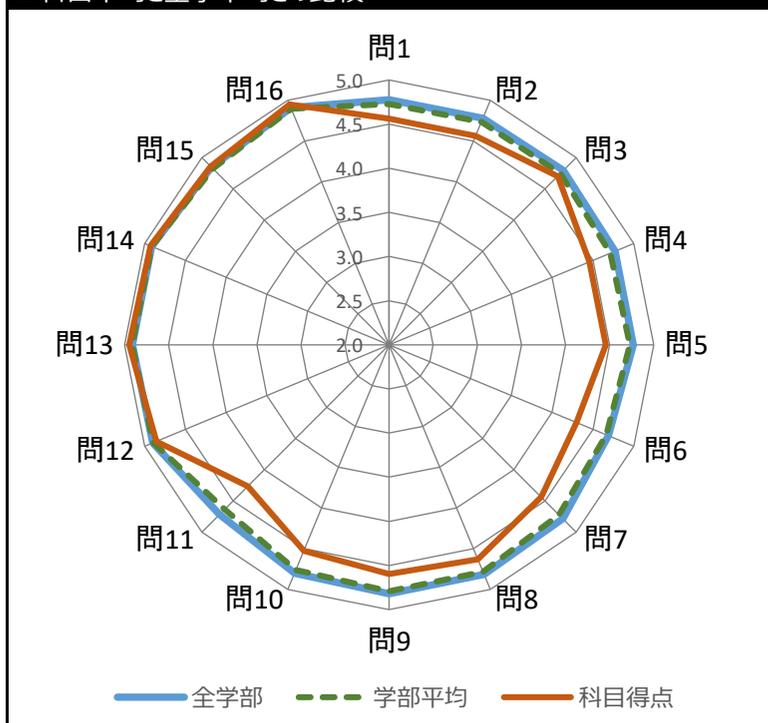
日本赤十字看護大学  
2022年度後期

科目名	発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護)実習[レベルⅢ]	[2R0040]	履修者数	87	回答率	
教員名	喜多 里己		回答数	紙 57	66%	66%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 40 (blue), 11 (green), 4 (yellow), 2 (orange)]						4.56	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 39 (blue), 12 (green), 5 (yellow)]						4.56	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 42 (blue), 13 (green), 2 (yellow)]						4.70	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 37 (blue), 14 (green), 2 (yellow), 3 (orange)]						4.46	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 37 (blue), 12 (green), 6 (yellow), 1 (orange)]						4.46	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 31 (blue), 13 (green), 12 (yellow)]						4.30	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 36 (blue), 14 (green), 4 (yellow), 2 (orange)]						4.44	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 42 (blue), 12 (green), 3 (yellow)]						4.63	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 41 (blue), 11 (green), 3 (yellow), 2 (orange)]						4.60	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 39 (blue), 13 (green), 2 (yellow), 2 (orange)]						4.53	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 33 (blue), 12 (green), 6 (yellow), 3 (orange), 2 (red)]						4.27	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 50 (blue), 5 (yellow)]						4.86	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 54 (blue), 3 (yellow)]						4.95	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 53 (blue), 4 (yellow)]						4.93	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 50 (blue), 6 (yellow)]						4.86	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 54 (blue), 3 (yellow)]						4.95	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.63	4.78	4.81

## ■ 科目平均と全学平均との比較

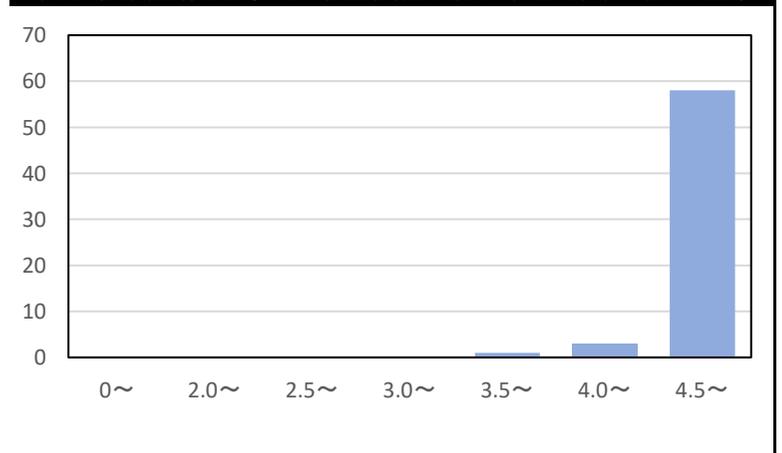


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

## ■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



# 授業改善アンケート【実習】科目別集計

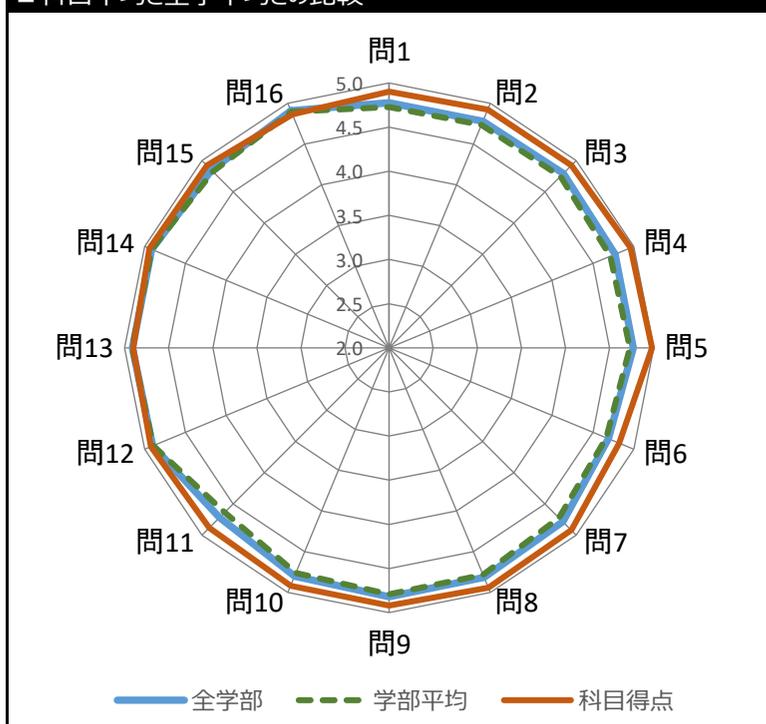
日本赤十字看護大学  
2022年度後期

科目名	発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習[レベルⅢ]	[2R0050]	履修者数	87	回答率	
教員名	吉野 純		回答数	紙 51	59%	59%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 46 blue, 5 green]						4.90	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 47 blue, 4 green]						4.92	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 47 blue, 4 green]						4.92	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 49 blue, 2 green]						4.96	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 50 blue, 1 green]						4.98	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 43 blue, 7 green]						4.82	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 48 blue, 2 green]						4.92	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 47 blue, 3 green]						4.94	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 47 blue, 2 green, 1 orange]						4.92	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 46 blue, 4 green]						4.92	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 46 blue, 4 green]						4.88	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 47 blue, 4 green]						4.92	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 47 blue, 3 green]						4.90	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 49 blue, 1 green, 1 orange]						4.94	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 48 blue, 2 green]						4.92	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 47 blue, 3 green]						4.86	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.92	4.78	4.81

## ■ 科目平均と全学平均との比較

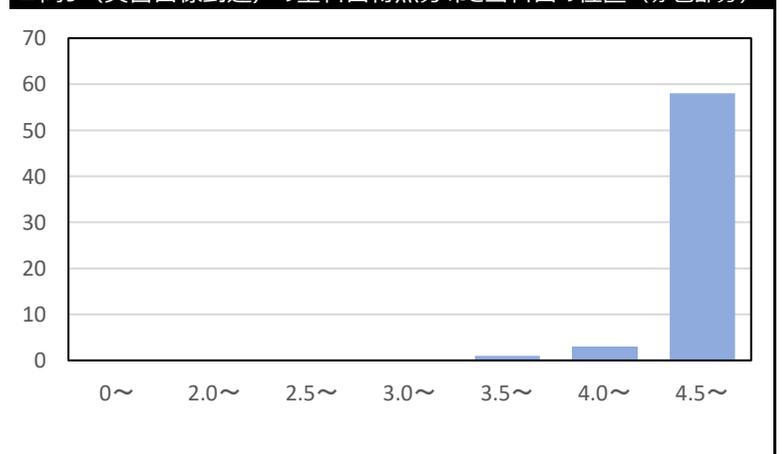


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

## ■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



# 授業改善アンケート【実習】科目別集計

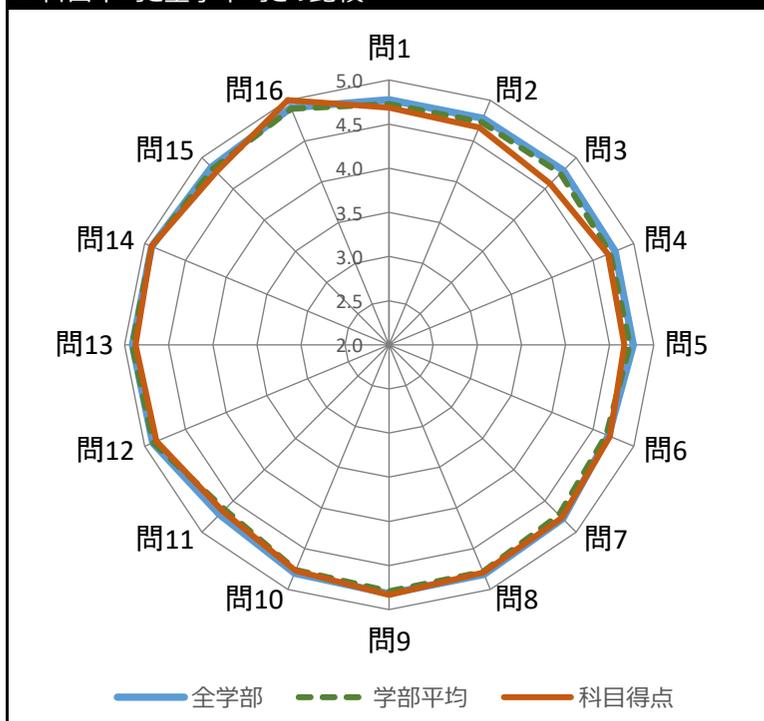
日本赤十字看護大学  
2022年度後期

科目名	発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習[レベルⅢ]	[2R0060]	履修者数	87	回答率	
教員名	太田 喜久子		回答数	紙 48	55%	55%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 38 blue, 7 green, 2 orange]						4.69	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 38 blue, 6 green, 2 orange]						4.67	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 36 blue, 7 green, 3 orange]						4.58	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 39 blue, 6 green, 1 orange]						4.69	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 39 blue, 5 green, 2 orange]						4.67	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 38 blue, 6 green, 4 orange]						4.71	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 40 blue, 6 green, 1 orange]						4.77	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 40 blue, 6 green, 2 orange]						4.79	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 42 blue, 4 green, 2 orange]						4.83	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 41 blue, 4 green, 2 orange]						4.77	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 37 blue, 6 green, 5 orange]						4.67	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 42 blue, 5 green, 1 orange]						4.85	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 43 blue, 4 green, 1 orange]						4.88	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 45 blue, 2 green, 1 orange]						4.92	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 41 blue, 5 green, 2 orange]						4.77	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 48 blue]						5.00	4.89	4.91
<b>問1~16全問平均</b>								4.77	4.78	4.81

## ■ 科目平均と全学平均との比較

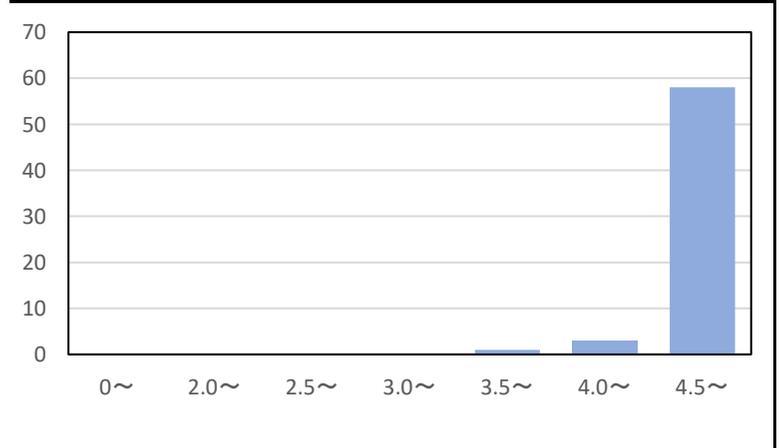


グラフ凡例	配点	問1~15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

## ■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



# 授業改善アンケート【実習】科目別集計

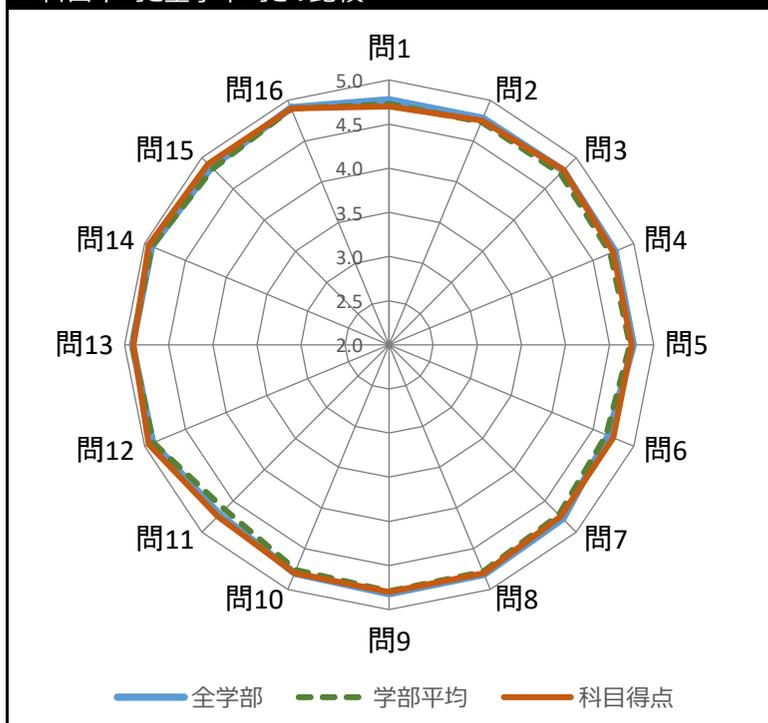
日本赤十字看護大学  
2022年度後期

科目名	コミュニティケア実習 I [レベルIV] (精神保健看護学)	[2R0080]	履修者数	44	回答率	
教員名	小宮 敬子		回答数	紙 20	45%	45%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 15 blue, 4 green, 1 orange]						4.70	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 16 blue, 3 green, 1 orange]						4.75	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 17 blue, 2 green, 1 orange]						4.80	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 16 blue, 3 green, 1 orange]						4.75	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 16 blue, 3 green, 1 orange]						4.75	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 16 blue, 3 green, 1 orange]						4.75	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 15 blue, 5 green]						4.75	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 16 blue, 4 green]						4.80	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 16 blue, 4 green]						4.80	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 16 blue, 4 green]						4.80	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 15 blue, 5 green]						4.75	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 19 blue, 1 orange]						4.95	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green]						4.90	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 19 blue, 1 orange]						4.95	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green]						4.90	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green]						4.90	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.81	4.78	4.81

## ■ 科目平均と全学平均との比較

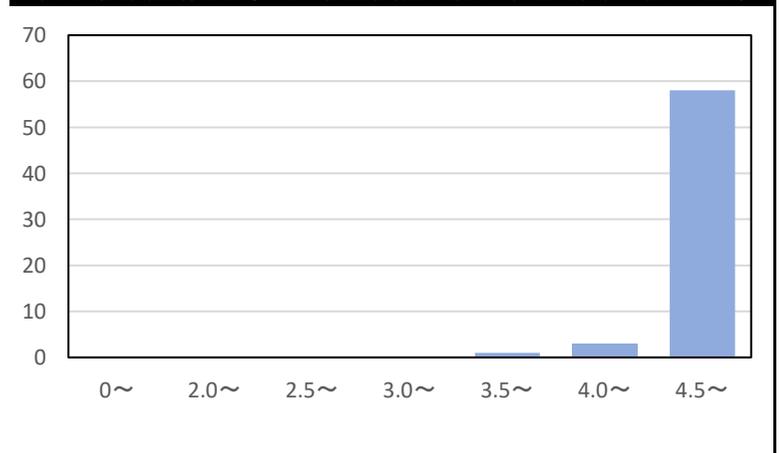


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

## ■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



# 授業改善アンケート【実習】科目別集計

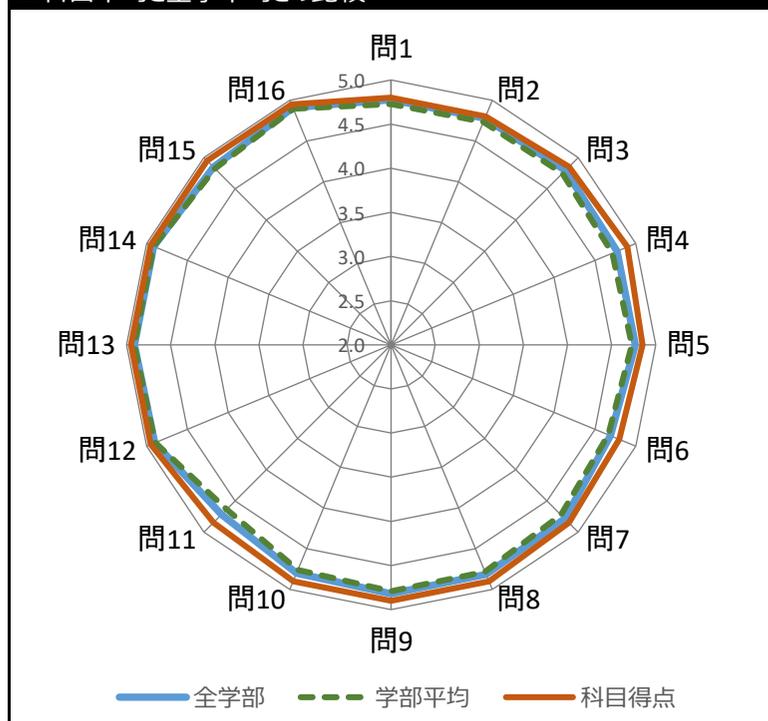
日本赤十字看護大学  
2022年度後期

科目名	コミュニティケア実習 I [レベルⅣ](母性看護学)	[2R0080]	履修者数	43	回答率	
教員名	喜多 里己		回答数	紙 20	47%	47%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 16 blue, 4 green]						4.80	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 16 blue, 4 green]						4.80	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 17 blue, 3 green]						4.85	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green]						4.90	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 17 blue, 3 green]						4.85	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 16 blue, 4 green]						4.80	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 17 blue, 3 green]						4.85	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green]						4.90	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 18 blue, 2 green]						4.90	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green]						4.90	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 17 blue, 3 green]						4.85	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 19 blue, 1 green]						4.95	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 19 blue, 1 green]						4.95	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 19 blue, 1 green]						4.95	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 19 blue, 1 green]						4.95	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 19 blue, 1 green]						4.95	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.88	4.78	4.81

## ■ 科目平均と全学平均との比較

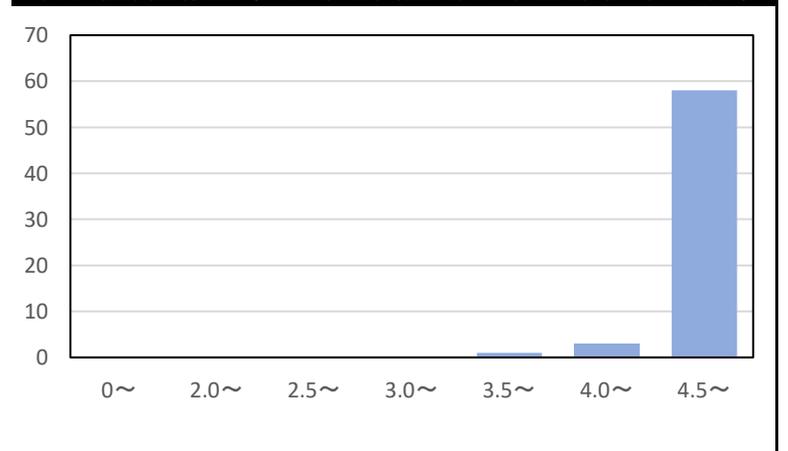


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

## ■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



# 授業改善アンケート【実習】科目別集計

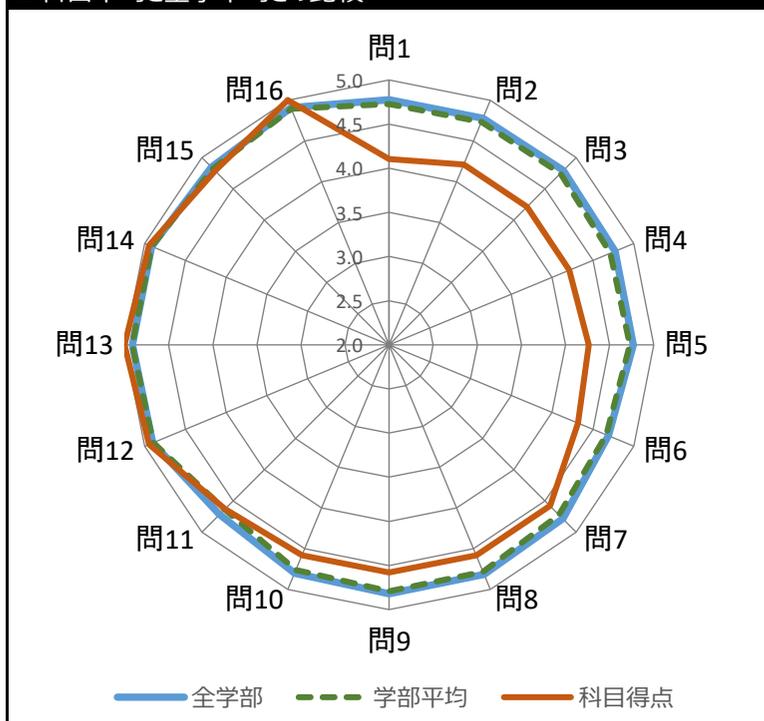
日本赤十字看護大学  
2022年度後期

科目名	コミュニティケア実習 I [レベルⅣ](老年看護学)	[2R0080]	履修者数	43	回答率	
教員名	太田 喜久子		回答数	紙 19	44%	44%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 11 blue, 3 green, 3 orange, 2 red]						4.11	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 11 blue, 4 green, 2 orange, 1 red]						4.21	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 12 blue, 3 green, 2 orange, 2 red]						4.21	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 12 blue, 3 green, 2 orange, 2 red]						4.21	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 12 blue, 4 green, 2 orange, 1 red]						4.26	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 11 blue, 4 green, 3 orange, 1 red]						4.32	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 14 blue, 3 green, 1 orange, 1 red]						4.58	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 15 blue, 1 green, 2 orange, 1 red]						4.58	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 15 blue, 1 green, 2 orange, 1 red]						4.58	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 15 blue, 1 green, 2 orange, 1 red]						4.58	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 15 blue, 2 green, 1 orange, 1 red]						4.63	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 18 blue, 1 green]						4.95	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 19 blue]						5.00	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 18 blue, 1 green]						4.95	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 16 blue, 2 green, 1 red]						4.79	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 19 blue]						5.00	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.56	4.78	4.81

## ■ 科目平均と全学平均との比較

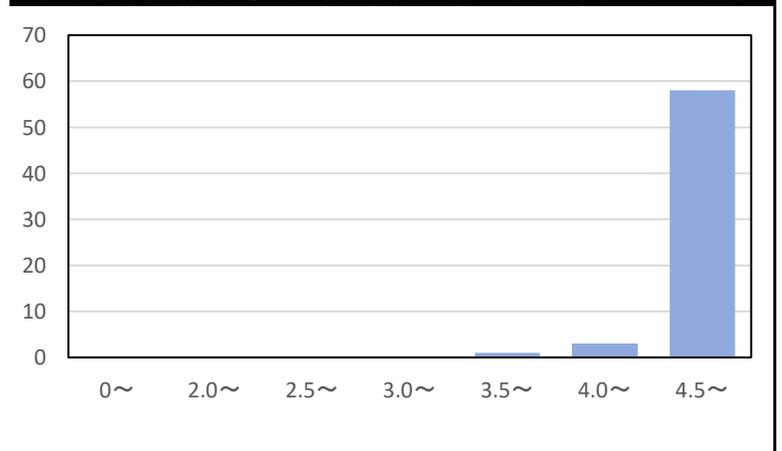


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

## ■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



# 授業改善アンケート【実習】科目別集計

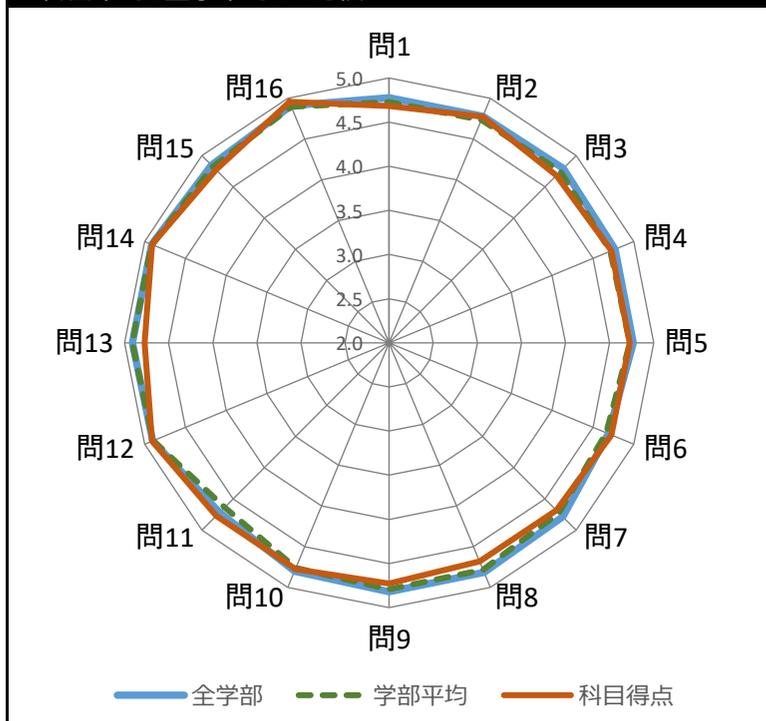
日本赤十字看護大学  
2022年度後期

科目名	コミュニティケア実習 I [レベルⅣ](小児看護学)	[2R0080]	履修者数	44	回答率	
教員名	吉野 純		回答数	紙 22	50%	50%
学部	さいたま看護学部	授業形態	実習	WEB 0	0%	

## ■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 17 blue, 3 green, 2 yellow]						4.68	4.73	4.78
2	教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	[Bar chart: 19 blue, 1 green, 2 yellow]						4.77	4.73	4.78
3	教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 17 blue, 3 green, 2 yellow]						4.68	4.75	4.79
4	教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green, 2 yellow]						4.73	4.72	4.77
5	教員は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 18 blue, 2 green, 2 yellow]						4.73	4.73	4.77
6	教員と実習指導の連携が取れていた。	[Bar chart: 18 blue, 2 green, 2 yellow]						4.73	4.66	4.69
7	実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	[Bar chart: 18 blue, 1 green, 3 yellow]						4.68	4.72	4.79
8	実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	[Bar chart: 18 blue, 1 green, 3 yellow]						4.68	4.78	4.81
9	実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	[Bar chart: 18 blue, 2 green, 2 yellow]						4.73	4.79	4.82
10	実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	[Bar chart: 19 blue, 1 green, 2 yellow]						4.77	4.76	4.80
11	実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	[Bar chart: 18 blue, 3 green, 1 yellow]						4.77	4.64	4.72
12	学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	[Bar chart: 21 blue, 1 yellow]						4.91	4.89	4.90
13	学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	[Bar chart: 17 blue, 5 green]						4.77	4.91	4.91
14	学生は、実習目標に到達できるよう努力した。	[Bar chart: 21 blue, 1 yellow]						4.91	4.91	4.92
15	学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	[Bar chart: 18 blue, 3 green, 1 yellow]						4.77	4.82	4.85
16	学生は、体調管理に努めた。	[Bar chart: 21 blue, 1 yellow]						4.95	4.89	4.91
<b>問1～16全問平均</b>								4.77	4.78	4.81

## ■ 科目平均と全学平均との比較

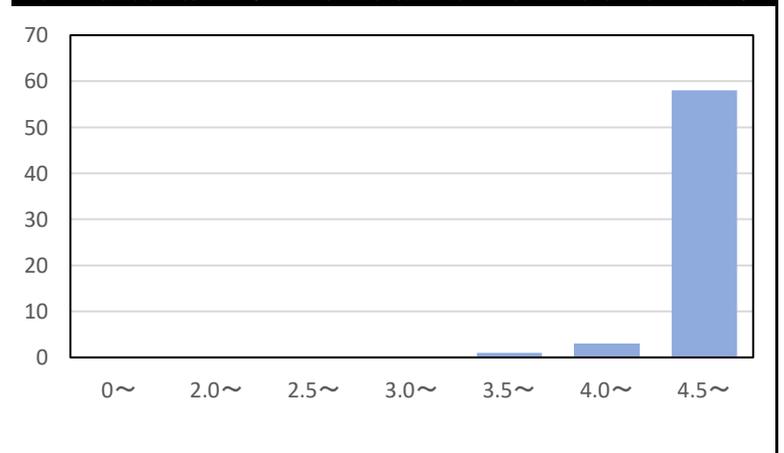


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

## < 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 < 全体平均

## ■ 問9 (実習目標到達) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2R0010	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	岡田 彩子	<p>1.カンファレンスで悩みが解決できた、今後の課題を見つけることができた等の実習ならではの学びができたとのご意見をいただきました。次年度以降もこのような学びができるよう進めていきたいと思ひます。また今回の実習が次の学びのモチベーションになったことも大変うれしく思ひます。これからも頑張ってください。</p> <p>2.担当教員によって落差が大きい、非常勤の場合は他の学生と比べると正当な評価ではないというご意見を頂きました。実習の目的・目標は共通しておりますが、それらを達成するために様々な状況の中で学修するのが臨地実習です。個々の状況を踏まえて対応を考慮するように努めております。しかしながら、様々な状況の中でも教員間の齟齬がないように、実習準備から実習終了時までの体勢を今後検討していきたいと思ひます。また評価については複数人で評価を検討しており、科目責任者が最終的に確認をしております。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>3.病院の指導者さんが毎日異なり、誰の言っていることを信じれば良いかわからない、というご意見を頂きました。指導者さんは勤務の都合上、複数人で担当をさせていただいております。本実習の目的・目標はあらかじめご理解いただけるよう事前の準備をし、実習中は日々の学修状況について教員、指導者間で連携をとりながら進められるように努めております。しかしながら指導者さんによって色々な表現の仕方や伝え方があるので、助言の内容が前の指導者さんと異なると感じたときは、是非そのことをその場で質問してみてください。新たな発見があるかも知れません。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>4.実習先の決定について、皆さんの通学時間と病院の受け入れ枠を総合的に考慮して配置を決定しております。一人暮らしについて負担があるとのことですが、実習を重ねるごとに実習中の生活のリズムをつかんでいってください。貴重なご意見をありがとうございました。</p>
2R0020	看護援助論実習〔レベルⅡ〕	岡田 彩子	<p>1.教員からの支援や指導者からのアドバイス等が皆さんにとっての実り多き実習に繋がったコメントをととても嬉しく読みました。これからも充実した学びのある実習が展開できるように努めていきたいと思ひます。</p> <p>2.電車の路線を多く使う人ほど遅延のリスクがあるので、遅れたことで減点されるのは、とても不快です、というご意見を頂きました。基本的に公共交通機関の乱れで遅延証明書がある場合は考慮されます。しかしご自身の都合、もしくは通学時間の見積もりが適切にできていない場合の遅刻は、実習の準備が不十分という事で減点となります。今回どちらの状況かわかりませんが、個々の状況を踏まえて出発の時間も考慮してください。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>3.午後の実習の日にうけもち患者さんのオベがありました。実習の目的と合わないという少し納得のいかない理由で見学できませんでした。そういう場面に臨機応変に対応していただき、より良い学びができるように改善してほしい、というご意見を頂きました。2022年度の実習はコロナ感染症対策をとりながらの半日実習でした。午後実習は多職種連携のカンファレンス参加等の機会を持てるために組み込んだ日程になります。そのために実習の目的と合わないという対応になったのかと思ひます。しかしながら、皆さんの実習における学修機会は、なるべく多く持てるように、今後事前の調整から努めていきたいと思ひます。貴重なご意見をありがとうございました。</p>
2R0030	精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕	小宮 敬子	<p>学生の皆さんが、非常に深い学びをしていたことがわかりました。今回は、残念ながら、コロナの影響で病棟での実習ができなかった人も多かったのですが、学内での実習でも貴重な体験ができたように思ひます。実習場では、思わぬ出来事にも遭遇していたようですが、実習指導者や教員をよく活用して何とか乗り切っていたと思ひます。ここで体験したことの意味は、すぐにはわからないかもしれませんが、それも含めて、次の実習に生かしていってください。</p>
2R0040	発達看護学Ⅰ（リハビリ・ヘルスと看護）実習〔レベルⅢ〕	喜多 里己	<p>授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。得点が低かった項目は「教員と実習指導者との連携」、「実習指導者の相談しやすい雰囲気」でした。指導者との連携については現在、検討しているところです。相談のしやすさについても指導者にフィードバックして検討していきます。コメント欄では、授業・演習から実習へのつながりについて建設的なご意見をいただきました。グループワークの時期など検討していきたいと思ひます。</p>
2R0050	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護）実習〔レベルⅢ〕	吉野 純	<p>授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ね良い評価をいただき、大変実習しやすかった、終始楽しく取り組めたとの声もいただきました。一方で、COVID19の感染防止対策を行いながらの実習でしたので、患者様やご家族と思うように関われないもどかしさや、予定されていた実習スケジュールが変更になり戸惑うことも多かったかと思ひます。また、記録提出期限や実習場所に対するご意見もいただきましたので、皆さんが最大限の力を発揮できる実習方法について、今後も検討していきたいと思ひます。</p>
2R0060	発達看護学Ⅲ（老年期の看護）実習〔レベルⅢ〕	太田 喜久子	<p>回答いただいた皆さん、ありがとうございます。回収率が高くなかったことは残念ですが、コロナの影響がある中、よく頑張って実習されたと思ひます。質問別回答状況では全体的に肯定的な反応をいただき、自由記述では通学時間の長さなど課題はありますが、充実した実習環境や実習指導者・教員の関わりをとおして、レベルⅢ実習における学びが深まったようで良かったです。今回いただいたコメントは、今後の実習指導の参考にしていきたいと思ひます。皆さんも実習という一期一会の体験からの学びを、これからも主体的に積み重ねていってください。</p>
2R0080	コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕（母性看護学）	喜多 里己	<p>授業改善アンケートへのご協力をありがとうございました。高評価をいただき、自由記述からも充実した学修をされていたことがわかりました。一方、ペア実習の際の実習記録への評価にご意見をいただきましたので、次年度は検討していきたいと思ひます。</p>
2R0080	コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕（小児看護学）	吉野 純	<p>授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。概ね良い評価をいただきました。皆さんが良い学びができるよう、今後も実習施設と連携を取りながら実習の体制を整えていきたいと思ひます。</p>

科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2R0080	コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕 （老年看護学）	太田 喜久子	回答いただいた皆さん、ありがとうございます。しかし、回収率が低いのが気になっています。 質問別回答状況と自由記述のコメントをとおして、本実習では各施設の実習指導者の協力を得ながら、カンファレンスを中心とした教員の関わり・指導により、皆さんがレベルⅢ実習での学びを踏まえて主体的に実習に取り組まれていたことがわかりました。また、今回いただいたコメントは真摯に受け止め、今後の実習計画に活かしていきたいと思います。
2R00800	コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕 （精神保健看護学）	小宮 敬子	コミュニティケア実習は、コロナの影響を受けることなく、現場で実施できたので、学ぶことも多かったことと思います。地域の中で、精神障害を抱えた方が生きている姿に触れて、刺激を受けたのではないのでしょうか。また、指導者が看護職でないことも多く、ケアのあり方も多様であることを知れたのはよかったです。ここでの体験を、今後の学修に活かして行ってください。